

1. 市町村が主体となって取り組んでいる事例
(1) 食育推進協議会等の設置状況

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
空知	芦別市 芦別市食育推進会議 平成18年6月19日	・食育推進計画の作成及びその実施を推進すること ・食育の推進に関する重要事項についての審議及び食育の推進に関する施策に実施を推進すること	(1)学識経験者 (2)食育の推進に関係する機関(食育関係団体、医療関係機関、栄養関係団体、教育関係団体) (3)公募に応じた市民	【時期】必要に応じて会長が招集し開催する 【場所】市役所会議室等 【内容】案件に対し審議し食育の実施を推進する。 (R3年度は2回開催予定) 【構成人数】11人 【任期】2年	市民福祉部健康推進課健康推進係
空知	滝川市 滝川市食育推進市民会議 平成19年5月25日	滝川市における食育推進行動計画を策定し、その食育を推進する。	・農業生産関係、教育関係、ボランティア団体、PTA 等 ・公募による市民	・年1回から2回開催 ・第三次食育推進行動計画の進捗状況に関する審議	健康づくり課
空知	南幌町 南幌町食育推進計画策定委員会 平成27年10月8日	南幌町食育推進計画に住民や食育に関係する機関・団体の意見を反映させた計画を作成し、より充実した食育の推進を図るため。	町・JA・普及センター・農業関係者・保健福祉関係者・教育関係者	○会議 2回(令和2年度実績) ○委員 13名 ○任期 3年	産業振興課
石狩	札幌市 札幌市食育推進会議 平成19年7月1日	食育推進計画を作成し、その実施を推進する。	学識経験者、食育推進関係団体の役員又は職員、その他(小学校校長会、医師会、歯科医師会、調理師団体連合会、私立保育園連盟等)	令和2年度 1回開催(書面開催) 第3次札幌市食育推進計画の進捗状況に関する審議	保健福祉局 保健所 健康企画課
石狩	札幌市 各区食育ネットワーク会議	関係団体が連携・協力して、一体的な食育推進運動を展開する。	教育、保健・栄養、農業、消費者、食品産業などの関係団体や、NPO、ボランティア団体など	令和2年度 計13回開催(書面開催も含む) ネットワークで連携・協力してレシピ集の作成やイベントの開催などを行った。	各区 保健福祉部 健康・子ども課
石狩	江別市 江別市食育推進協議会 平成17年5月30日	「食」に関する情報を正しく理解し、望ましい食行動を実践する市民を増やすため、地域の特性を生かした食育活動により一層連携して取り組む。	農業生産者、食品事業者、消費者、行政(農業・教育・保険分野)、農業関係団体、ボランティア団体、栄養士会	時期:3月 内容:総会(文書報告) 当年度における協議会主催の活動、構成団体の活動報告、次年度の活動予定の報告、江別市を取り巻く食に関する問題について意見交換し、解決につながる取組等について話し合う。	経済部農業振興課
石狩	恵庭市 恵庭市食育推進協議会 平成24年6月1日	恵庭市における食育推進計画の策定および総合的な食育の推進を図る。	保健所、農商工等連携推進ネットワーク、消費者協会、石狩農業改良普及センター、商工会議所、食品関連事業者、大学、幼稚園、教頭会、栄養教諭、恵庭地域福祉事務所、地域FM放送、老人クラブ連合会、市教委、市経済部、市子ども未来部	回数:年2回 場所:えにあす 概要 恵庭市の食育推進計画の策定に関する事。食育の推進と評価に関する事。関係機関・関係団体等との連携に関する事。	保健福祉部保健課
胆振	苫小牧市 苫小牧市食育推進協議会 平成29年1月23日	食育基本法第18条第1項に基づき食育推進計画の策定および総合的かつ効果的な推進にあたり、広く市民及び関係者の意見を反映させるため。	苫小牧市中学校長会、苫小牧市小学校長会、苫小牧商工会議所、(公社)北海道栄養士会苫小牧支部、胆振総合振興局保健環境部苫小牧地域保健室、苫小牧消費者協会、苫小牧市法人保育園協議会、苫小牧市農業委員会、苫小牧地方食品衛生協会、(一社)苫小牧観光協会、北海道私立幼稚園協会苫小牧・日高支部	開催時期:令和2年7月31日(書面会議) 開催場所:苫小牧市役所	健康子ども部健康支援課
胆振	白老町/R2年度白老町食育推進会議(書面会議)/R3.3.24	第2次白老町食育推進計画の進行管理について、関係課の取り組み状況を確認・情報共有し、連携した食育を進めていくことを目的とする。	庁内関係課(11課)	年1回(2月頃)庁内関係課で食育の取組状況について情報共有を行い、今後の取組みに向けた意見交換を行っていたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、書面評決(3月)としている。	健康福祉課
胆振	白老町/R2年度白老町食育推進会議(書面会議)/R3.3.24	第2次白老町食育推進計画の進行管理について、関係課の取り組み状況を確認・情報共有し、連携した食育を進めていくことを目的とする。	庁内関係課(11課)	年1回(2月頃)庁内関係課で食育の取組状況について情報共有を行い、今後の取組みに向けた意見交換を行っていたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、書面評決(3月)としている。	健康福祉課
日高	日高町 日高町食育推進検討会 平成29年8月22日	日高町食育推進計画に基づき、食育推進に関わる内部部署での情報交換・共有及び連携して食育推進活動に取り組む	農務課・経済観光課・保育所・教育委員会管理課・教育委員会社会教育課・地域住民課・生涯学習課・健康増進課	令和2年度 R3.2月<書面開催> 各課部署で行っている食に関する事業の情報共有及び、来年度取組に関する意見の集約	健康増進課

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
渡島	函館市/函館市食育計画策定推進委員会/令和2年3月18日	函館市における食育計画(食育基本法(平成17年法律第63号)第18条に規定する市町村食育推進計画をいう。)を策定し、および推進するに当たり、市民の意見等を反映させることを目的として、函館市食育計画策定推進委員会を設置する。	函館保育協会、函館市私立幼稚園協会、函館市小学校長会、函館市中学校長会、北海道高等学校長協会道南支部、函館市栄養教育研究会、函館市PTA連合会、函館市子育て支援ネットワーク、函館市食生活改善協議会、北海道歯科衛生士会函館支部、北海道栄養士会函館支部、函館食品衛生協会、函館市亀田農業協同組合、南かやべ漁業協同組合、公募委員	第1回 書面会議 (日時)令和2年6月19日 第2回 書面会議 (日時)9月30日 第3回 (日時)10月30日 (場所) 函館市総合保健センター	函館市保健福祉部健康増進課
檜山	江差町	減塩レシピの考案	江差町食生活改善推進協議会	毎月1回、調理実習、学習会を行いレシピの試作等、行っている。	健康増進課
檜山	今金町 今金町学校給食食育推進委員会 平成19年7月1日設立	学校給食を通して学校・家庭・地域の連携を深め、地域の良さを農林水産業を理解し、学校給食が『生きた教材』として「食に関する知識と食を選択する力」を身につける事により、子供達の望ましい食習慣の形成や食に関する理解を促進し、今金町の学校給食の更なる食育活動の推進を図る事を目的とする。	学校関係者・今金町PTA役員及び母親代表・生産者団体・団体関係者(農協青年部、商工青年部、農協女性部、商工女性部、農協) 計27名	○食育推進委員会(コロナの為書面決議) 第1回目 ・開催日・令和2年7月16日(木) ・概要等・会長・副会長選出 ①今金食材サプライチームの選任 ②令和2年度食育推進事業計画について ③ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日について 第2回目 ・開催日・令和2年10月7日(水) ・概要等・①食育推進事業計画(変更案)について ②ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日の実施方法について 第3回 ・開催日・令和3年2月22日(月) ・概要等・①令和2年度事業報告について ②ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日事業報告について	今金町学校給食センター
檜山	今金町 今金食材サプライチーム 平成21年7月16日設立	現在の地場産物流通ルート維持し、地産地消の推進や地場産物を活用した献立を作成し、児童生徒が地域を学ぶ機会とする。	JA、広域連及びJA各部会で組織し、食育推進委員会内に設置 計14名	○今金食材サプライチーム会議 第1回目 ・開催日・令和2年10月28日(水) ・概要等 地場産物流通ルートの維持及び「ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日」の食材提供等を専門的に協議。(価格、納入方法、規格、支払先、安全性の確保、年間を通じた安定供給(保管の工夫)等)	今金町学校給食センター
檜山	今金町 今金町健康増進計画推進協議会 平成28年4月1日	今金町が生涯にわたって健康で豊かな生活を実現するため、食を通じた町民の心と体の健康を支える食育活動について、各関係機関団体が共通認識を持ち、自主的かつ連携しながら食育の推進に取り組むことを目的として、今金町食育推進計画及び実践計画を策定するとともに、町民への普及啓発を図ることを目的とする。	学識経験者、教育関係者(今金町校長会)、自動福祉関係者(認定こども園いまかね)、保護者関係者(今金町PTA連合会)、実践団体関係者	コロナのため令和2年度協議会中止 →担当部課職員が構成機関・団体へ取組状況の聞取りの実施	今金町保健福祉課
上川	士別市 士別市食育推進市民会議	第3次士別市食育推進計画にもとづき、市民が健康で豊かな食生活を実践し、生涯にわたっていきいきと暮らすことができるよう、様々な主体が連携し、協力して食育を推進するため	一般市民・幼稚園教諭・栄養教諭、教頭会、高等学校校長・教頭、食生活改善協議会、農業者団体・調理師会・消費者協会、農業改良普及センター、名寄市立大学、名寄保健所	会議(書面)により食育推進計画の進捗状況の把握、検討、評価を実施	士別市健康福祉部保健福祉センター食育推進係
上川	名寄市/名寄市食育推進協議会/平成20年9月	名寄市食育推進計画に基づき、市民が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を形成できるよう総合的な食育の推進を図るため	市関連部局、市立大学、小学校校長会、高校、消費者協会、食育推進団体、保健推進委員会、食生活改善協議会、栄養士会、農協、グリーンツーリズム推進団体等	・名寄市における食育を推進するための諸活動・年に数回会議開催し、各団体での毎年の活動状況や予定等について報告を行っている。	経済部農務課
上川	鷹栖町(食育推進協議会の設置無し)	鷹栖町産給食の日として、地元の食材を使った給食の提供を行い地産地消を推進するとともに、自分たちの周りで見られる食材を知り、食への知識と関心を深める		実施日及び場所 令和元年8月4日及び10月1日 鷹栖町立鷹栖保育園、鷹栖町立北野保育園 令和元年10月13日 鷹栖町立鷹栖小学校、鷹栖町立北野小学校、鷹栖町立鷹栖中学校	保育園 健康福祉課子育て支援係 小学校 教育課総務係
上川	東川町/東川町社連携推進協議会体験農園専門部会/平成27年3月4日	給食用として町内の小中学校に食材を提供、農業体験や農業教育及び食育の機会を児童に提供、余剰生産物の販売を通して流通を学ぶ機会の提供及び各事業実施を通して多世代交流を推進する。	農業者、農業協同組合(青年部、女性部)及び本部会の目的に賛同する方々で組織	町から委託されている水田・畑・果樹園の管理・運営について、農産物・食育事業の実施等についての協議及び実施	東川町教育委員会生涯学習推進課

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
宗谷	稚内市 地場産提供事業	学校給食を活用した食育の推進	稚内市	給食の材料として地元で生産された食材を学校給食に活用し、地域の食文化・食に関する産業、自然の恵みに対する児童生徒の理解を図り、食への感謝と郷土を愛する心の取り組みを行う 通年	学校給食課
宗谷	稚内市 小中学校食育指導事業	栄養教諭による食育授業	稚内市	生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目標し、児童生徒一人ひとりに望ましい食生活の基礎基本を身に付けさせることを目標とする。 また、楽しい食事や給食活動を通じて豊かな心を育成することを目標とする。	学校給食課
十勝	帯広市 食育推進会議・食育推進部会 平成19年度	帯広市食育推進計画や帯広市学校教育指導の重点等に基づき、学校における指導資料や保護者への啓発資料を作成し、児童生徒が健やかに生きるための基礎を培う食育の一層の推進を図ること。	市内小中学校教員、養護教諭、教育委員会指導主事及び食育指導専門員にて構成しているもの	① 食育推進部会を3回開催した。 ② 食育啓発リーフレット及び食育啓発パンフレットを作成し、配付した。 ③「帯広らしい食育プログラム」を活用した食育指導を行った。	学校教育部 学校指導室 学校教育指導課
十勝	帯広市/ 帯広市食育推進委員会/ 平成24年6月5日	帯広市食育推進計画に定める施策を総合的に推進し、すべての市民が生涯にわたって「食」に関心を持ち、健全な「身体」と豊かな「心」を育み、食の魅力があふれる元気な「地域」を目指すため、帯広市食育推進委員会を設置するもの。	【帯広市】地域福祉課、介護高齢福祉課、こども課、健康推進課、学校給食センター、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館、農政課 ※必要に応じて、委員以外の関係者の出席や関係者からの資料の提出を求めることができる。	令和2年度は2回、書面開催。 第1回(令和2年11月5日(木)) (1)令和元年度に実施した各課の取組及び決算額について (2)令和元年度食育推進計画指標数値について (3)第3次食育推進計画の期間延長について 第2回(令和3年3月9日(火)) (1)令和3年度食育事業に係る予算額及びコロナによる主な影響について (2)食育推進サポーター事業について (3)令和3年度「おひる市民学」について (4)次期帯広市食育推進計画について	農政部農政室農政課
十勝	音更町/ 音更町食のモデル地域実行協議会 /平成25年6月14日	食育と地産地消に取り組み、農作物の需要拡大と地域住民の健康で豊かな食生活の実現、地域外に向けた発信による消費拡大を促す先進的な活動を行うことにより食のモデル地域の構築を図る。	音更町、音更町農業協同組合、木野農業協同組合、音更町商工会、音更町十勝川温泉観光協会	1食を広げる取組 ○おとふけ食のフォーラムの開催 ○おおそでくキッチンの実施 ○おおそでくキッチンサポーター研修会の開催 ○町内外イベントとの連携 2地場食材を広げる取組 ○学校給食における新たな生産・供給システムの構築に向けた取組 ○学校給食における関係者の相互理解を図る取組 ○学校給食における調理技術の向上を図る取組 3特産品の研究開発 ○オリジナル家庭料理メニュー開発 ○地域ブランド化の取組	経済部ふれあい交流館 経済部産業連携課
十勝	更別村/ 更別村食育推進計画策定委員会／平成22年1月22日 (R1.10.28より名称変更)	消費者の食の安全・安心の確保及び健全な食生活を実践する力を育む「食育」の重要性が高まる中、本では、豊富な食資源を活かし様々な食育に係る取組が進められてる。今後もこの動きを広め、より効果的なものとしていくため、関係者が一体となった体制の充実を図る目的から設立。	更別村役場内各関係部署(産業課(農政係)・教育委員会(社会教育係)・学校教育係)・学校給食センター・保健福祉課(保健推進係)・子育て応援課(子育て応援係・母子保健係)	・更別村食育推進計画(第1次:H22～26及び第2次:H27～31、第3次:R2～6)策定。	更別村産業課農業振興係
十勝	市町村名:幕別町 名称:幕別町6次産業化・地産地消推進協議会 設置年月日:平成31年2月4日	幕別町6次産業化・地産地消推進協議会の目的:幕別町内の農林業者と食品産業の事業者、商工業者、金融機関、関係する行政機関等が連携し、町内における6次産業化、農商工連携、地産地消の取組みに関する市町村戦略を策定し、関係機関が連携して戦略に基づき事業等を推進することを目的とする。 ※以下6次産業化等推進戦略 抜粋 (4)食農教育・食育活動の推進:地産地消を推進するにあたって重要と考える「食育」を農業と絡めた食農教育として、幼稚園や保育所の幼児から小学校の児童に対する農作業体験等の機会を通じて進めます。また、健康づくり教室等との連携を図り、食に密接に関わる健康とあわせて食育を進めます。さらに、学校給食等への地場産品への取り入れ等を通じて、地元の農畜産物への理解や親しみを感面を創出します。	幕別町農業協同組合 営農部長 幕別町農業協同組合 施設管理・食品開発課長 札内農業協同組合 農産部長 忠類農業協同組合 営農部長 帯広大正農業協同組合 営農振興部長 幕別町商工会 事務局長 6次産業化などに取り組む実践者又は団体 十勝農業改良普及センター 東部支所 支所長 十勝農業改良普及センター 南部支所 支所長 北洋銀行幕別支店 支店長 幕別町経済部農林課長 幕別町経済部商工観光課長 幕別町忠類総合支所経済建設課長 幕別町学校給食センター所長	時期:3/24 場所:幕別町役場3階会議室 内容:幕別町6次産業化・地産地消等戦略の点検及び評価について ※毎年3月に点検及び評価について行うこととしている。令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止としていた。	経済部農林課

振興局名	市町村名／名称／設置年月日	目的	構成機関・団体	概要(時期、場所など)	担当部課名
釧路	釧路町/釧路町食育推進ネットワーク会議/平成29年7月1日	食育基本法の趣旨に基づき、釧路町における食育を推進するため、食育推進事業に関する検討協議、食育に係る各種団体等の実施状況の掌握及び情報交換、食育推進に必要な事項の検討協議を行う。	釧路町健康福祉部こども健康課・介護高齢課、経済部産業経済課、教育部社会教育課、釧路町学校給食センター、釧路町公民館、釧路町生活改善協議会、釧路町在宅介護支援ふきのとうの会、特定非営利活動法人ゆめのき、標茶町農業協働組合、昆布森漁業協働組合、社会福祉法人遠矢七五三会、グループホームめぐみ野、グループホームはなしのぶ、釧路町老人クラブ連合会、釧路町女性連絡協議会、釧路町富原小学校、北海道釧路東高等学校、学校法人釧浦学園白梅幼稚園、学校法人釧路キリスト教学園釧路めぐみ幼稚園	◎令和2年9月8日/第1回食育推進ネットワーク会議書面開催	健康福祉部こども健康課健康推進係
釧路	弟子屈町/食育推進計画(二次)を健康増進計画「元気でしかが21計画(二次)」/平成27年4月	健康増進計画と一体化し、総合的な健康づくり施策を推進する。	医師、歯科医師、保健所、小中学校長会、学校保健協議会、高校、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、商工会青年部・女性部、農協青年部、健康づくり推進委員	弟子屈町役場にて R2.8.3に推進会議開催	健康こども課
根室	中標津町地産地消推進協議会設立:2007(平成19)年5月7日	この組織は、地元で生産される新鮮で、安全・安心な農畜産物を利用した学校給食を提供し、将来を担う子ども達の地域農畜産物への理解と地域農業への関心を高めるとともに、地域農産物の児童生徒及び家庭、地域に求められている食育の推進、地域農畜産物のPR活動に取り組むことを目的とする。	中標津町農業協同組合計根別農業協同組合根室農業改良普及センター北根室支所根室振興局産業振興部中標津町教育委員会中標津町		農林課農務係

(2) 食育の啓発に関わる事例

ア 農林漁業体験・料理教室などの体験を通じた事例

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
空知	岩見沢市	自宅でエコを意識したクッキングに取り組めるため	新型コロナウイルス感染症の影響により、料理教室を開催するのが困難なため、自宅でエコを意識したクッキングに取り組めるよう、調理方法やメニューを記載したチラシを作成し、配布した。 設置枚数 5,475枚		市民環境部 環境保全課
空知	岩見沢保健センター/フードデイ	すべてのライフステージにおいて健康的な食生活を提案することにより、市民の食生活に対する意識を向上させ、健康を考える機会とする。	時期:月1回開催(4~6月中止、9回実施) 場所:いわみざわ健康ひろば 内容:管理栄養士講話、地場産品を使った健康料理のレシピ紹介 ①一般市民対象:6回(糖尿病、高血圧、骨粗しょう症予防など) ②乳児対象:3回(離乳食の作り方、取り分け離乳食の紹介など)	92名	健康福祉部健康づくり推進課
空知	滝川市内全保育所5か所 カミカミ給食	しっかり噛んで食べる習慣を身につけることや、噛むことの大切さを知る。	実施日 11月6日 内容 11月8日のいい歯の日にちなみ、噛み応えのある給食を提供するとともに、リーフレットを配布し、保護者への啓発も併せて行う。 メニュー ごはん・ソイの衣焼き・切り干し大根カレー煮・カミカミごぼうサラダ・みそ汁・オレンジ	400名	健康づくり課 子育て応援課 学校運営課
空知	滝川市内全保育所5か所 和食の日給食	だしのうま味に慣れ親しみ、和食の食習慣を形成することで、日本食のよさを知る。	実施日 11月24日 内容 和食の基本である昆布や鰹節の「ダシ」を使用したメニュー及び「ま・ご・わ・や・さ・し・い」の食材を取り入れた給食を提供する。 メニュー ごはん・サツマ芋天ぷら・大豆の含め煮・ごま人参・みそ汁・りんご	400名	健康づくり課 子育て応援課 学校運営課
空知	深川市 ヘルシーマザーズクラブ	家庭を持ち子育ての時期にある母親が、自分や家族の健康課題を発見し、望ましい生活習慣を身につけることができるよう支援する。	○「子どもと家族の健康」講話・グループワーク 令和2年9月10日 健康福祉センター「デ・アイ」 母12名 子11名 ○「栄養バランスについて」バッククッキングで時短料理」講話・調理実習 令和2年10月8日 健康福祉センター「デ・アイ」 母14名 子10名	母親延26名 子延21名	健康福祉課
空知	深川市 ウエストスリムセミナー	特定健診を受診した結果、生活習慣の改善が必要と判断された市民や家族に対し、集団での支援を行うことにより、生活習慣の発症及び重症化を予防する。	○「血糖対策」講話・調理実習 令和2年8月21日 健康福祉センター「デ・アイ」 8名 ○「血圧対策」講話・調理実習 令和2年10月15日 健康福祉センター「デ・アイ」 5名 ○「生活習慣病対策」講話・調理実習 令和2年11月20日 健康福祉センター「デ・アイ」 6名 ○「生活習慣病対策」講話・演習 令和3年2月10日 健康福祉センター「デ・アイ」 6名	延25名	健康福祉課
空知	南幌町 南幌町体験ツアー	南幌町で食育を実践することで、「農業が身近な食を育むまち」としての知名度向上及び生産者等の食育推進への関心を高めるため	○対象 札幌市及び札幌市近郊の親子 ○内容 地元産採れたとうもろこしの収穫体験、ブルーベリー収穫体験、ブルーベリージャム作り体験	18名	産業振興課
空知	南幌町 男の料理教室	男性が買い物、料理などの手段的日常生活動作の自立を目指すほか、運動や趣味の発見を図り、介護予防につなげるため	○対象 男性 ○内容 1回(コロナウイルス拡大防止のため調理を休止。講話のみ1回実施。) ・生活習慣病重症化、介護を要する健康障害の予防を目的とした講話	107名	保健福祉課
空知	栗山町 栗山キッズクラブ「農園収穫祭」	収穫体験することで作物の大切さを学ぶ。	□時期:令和2年9月27日(日) □場所:ハサンベツ里山 □対象:キッズクラブ会員(小学4~中学生) □概要:稲刈り、はさがけ、イモ掘り	15名	教育委員会
空知	栗山町 栗山キッズクラブ「脱穀作業」	手作業での脱穀を体験することで作物の大切さを学ぶ。収穫を体験し収穫したジャガイモを活用した食を作ることで、調理の楽しさを体感する。	□時期:令和2年10月11日(日) □場所:ハサンベツ里山 □対象:キッズクラブ会員(小学4年生~中学生) □概要:餅米の脱穀、収穫したジャガイモの実食	14名	教育委員会
空知	栗山町 バクモグ相談「芋掘り体験」	幼児期に親子で自然体験を楽しむことで良い親子関係が築けるとともに、食に対して興味・関心を持ち地産地消を意識してもらおう。	■芋掘り体験 □時期:令和2年9月4日(金) □場所:ハサンベツ里山 □対象:親子(乳幼児) 7組 □概要:じゃがいもの栄養・レシピ(ミニ講話)、芋掘り体験	16名	住民保健課・ 産業振興課
空知	栗山町 離乳食講座	保護者が乳児にあった離乳食をすすめられるよう支援する。	□時期:5月・7月・9月・11月・1月・3月(5月11月1月はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止) □場所:子育て支援センター スキップ □対象:離乳食初期(5~7ヶ月頃)の乳児と保護者 □参加人数:9組 □内容:講義・調理実習(すりつぶし)・試食	19名	住民保健課
空知	栗山町 乳幼児栄養相談バクモグ相談	保護者が乳幼児にあった食生活を考えることができるように支援する。	□時期:毎月第3金曜日(5月6月11月12月1月2月はコロナウイルス感染症拡大のため中止) □場所:子育て支援センター スキップ □対象:乳幼児の保護者 □参加人数:42組 □内容:調理体験・レシピ紹介豆知識・試食・個別相談	89名	住民保健課
空知	栗山町 ぶちママサロン(知っておきたい食事のこと栄養のこと)	妊娠・出産・育児に関する知識・情報を提供し、安心して妊娠期を送り、出産を迎えることができる。	□時期:8月(栄養講座のみ) □場所:子育て支援センター □対象:妊娠中の方 □内容:講義・調理実習・試食	1名	住民保健課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
空知	雨竜町 取り組みの名称 ヘルスアップ教室 栄養管理編	ヘルスアップ教室全7回開催の中で、栄養管理編として実施。運動することも、バランスよく食べることも、どちらも大事にすることが健康づくりにつながることを知り、実践できることを目的としている。	○対象者 町内在住の成人男女 ○日時 令和2年12月7日 ○場所 雨竜町公民館 大ホール ○内容 講和「かむ力」でいつまでも元気に体づくりをしよう」及び口腔体操	18名	教育委員会 住民課
空知	北竜町 子育て食育支援事業 にこにこベビーズ(離乳食教室)	乳・幼児を持つ保護者が栄養に関する知識を学び、食育の大切さを考えることができるよう支援する。	【開催時期】4/30(木)のみ中止、6/15(火)・9/16(木)9/17(金)・11/29(金)午前、午後・2/7(金) 【場所】すこやかセンター 【対象】1歳未満の乳児と保護者 【内容】講話・調理・試食(大人の食事からのとりわけ) 試食 ○親子どんぶり ○フレンチトーストとミネストローネ ○筑前煮 ○クリームシチュー ※料理実習を行わず、栄養士が調理した物を試食して量や味を確認。参加人数を少なくし、その分回数を増やして対応。初期の対象者のみ簡単な調理をして試食。	延べ 24組	住民課保健指導係 子育て支援センター
空知	北竜町 子育て食育支援事業 ピカピカキッズ(幼児教室)	乳・幼児を持つ保護者が栄養に関する知識を学び、食育の大切さを考えることができるよう支援する。	【場所】すこやかセンター 【対象】乳幼児とその保護者 【開催時期・内容】 OR2/8/21(金)親子でおやつ作り紹介(簡単スコーンとカルピスゼリー) OR2/11/13(水)てづくりおやつ試食持ち帰り(かぼちゃクッキー) OR3/2/12(金)講話「食量と野菜の目安」、試食持ち帰り(ケーキサレ) OR3/3/1(月)てづくりおやつ試食(桃色カップケーキ) ※集団の調理作業・試食は行わず、レシピを紹介しおやつを持ち帰りとした。	延べ 22組	住民課保健指導係 子育て支援センター
空知	北竜町 健康増進事業 ヘルシー講座	望ましい生活習慣を身につけるために学習することで、生活習慣病予防を実行することができる	【場所】すこやかセンター 【対象者】健康作りに興味を持つ北竜町民(概ね30～74歳) 【開催時期・内容】 第1回11月16日(月) 講話「骨粗しょう症の予防について」保健師/骨密度測定 第2回12月14日(月) 運動講座「ヨガで骨粗しょう症を予防しよう」ヨガインストラクター 第3回 1月18日(月) 講話「カルシウムを多く含む食品を知ろう」栄養士 献立紹介(ひじきの炊き込みごはん・アサリのチャウダー ・切り干し大根と桜エビの塩昆布和え・ミルク ず餅) 第4回 2月17日(月) 講話「バランスのよい食事、食品の目安を知ろう」栄養士 献立紹介(しらすとわかめの混ぜご飯・高野豆腐のオランダ 煮 ・小松菜の納豆和え・切り干し大根のはりはり 漬け) ※集団の調理実習は行わず、講話と献立紹介を行い、材料を2品程度配布。	延べ 45名	住民課保健指導係
石狩	札幌市/ 札幌市農業体験交流施設(サッポロさとらんど)での各種体験メニューの提供	農業に関する体験実習の実施、情報の提供を通じて農業や食の大切さについての理解関心を深める。	市民農園、収穫体験等、子ども学習農園等、バターなどの手作り体験、農畜産物加工講座	62,049人 (農業体験者数)	経済観光局 農政部 農政課
石狩	江別市 えべつの逸品!お弁当&レシピコンテスト	食に対する意識が薄くなっている中学生に、地産地消の観点や食を選ぶ力、調理技術を養ってもらおう。	対象:市内中学校(1・2年生) ・事前学習(6～7月) 家庭科の授業を使い、江別の農畜産物や地産地消の利点についての学習 講師:野菜ソムリエ、生産者、企業 ・課題(夏休み) 江別産食材を使ったレシピの作成 ・審査等(9～10月) 優秀な作品について審査・表彰 協賛:市内生産者、直売所、食品事業者	507	経済部農業振興課
石狩	江別市 小学生向け農業体験及び調理体験	次代を担う小学生が、食の大切さを感じ、地域農業に対する理解を深めてもらう。	対象:市内小学校 ①稲刈り体験学習(10月頃) お米を作る大変さや生産者の思いに直に触れてもらう。 協力:生産者、農業改良普及センター、土地改良区 ②小麦追跡学習(10月) 調理体験をし、小麦の「生産、加工、消費」の一連の流れを学ぶ。 協力:江北まちづくり会 ③酪農体験学習(8月) 酪農家の仕事を体験し、酪農の仕事に対する思いや牛のからだについて学ぶ。 協力:生産者 ④野菜の学習(8月) 野菜の収穫体験や農業施設見学を通して、野菜の栽培や流通について学ぶ。 協力:生産者	411	経済部農業振興課
石狩	千歳市 健康づくり教室 「健康的な食事の秘訣 ～基礎編～」	参加者が生活習慣病を引き起こす肥満を予防し、適正体重を保つための食事の適量と栄養バランスの整った食事について理解し、家庭での実践に取り組む機会とする。	【実施日時】 令和2年8月6日(木) 10時30分～12時30分 【実施場所】 千歳市総合福祉センター 307号室 【対象者】 74歳未満の市民 【実施内容】 1 管理栄養士講話「ベスト体重を保つ食事の適量とバランス食のポイント」 2 ヘルシーメニューの試食 【試食メニュー】 梅と炒り黒豆ごはん、豚肉とブロッコリーの中華風炒め、コーンのオムレツ、小松菜の明太子おろしあえ ※試食メニューの調理については、食生活改善推進員に協力を依頼 【参加者の感想、意見】 参加者より「栄養バランスがよく、野菜を多く摂れるメニューが参考になった。」「減塩メニューであったが、薄味に感じず美味しい味つけであった。」などの感想が聞かれ、食事の適量や栄養バランス、調理法の工夫などについて理解し、実践に向けての意識づけに繋がったと考える。	3人	保健福祉部 健康づくり課

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
石狩	千歳市/ ちとせっこ子育て塾 げんきっこ子育て塾 「離乳食講座」	地域子育て支援センターで、子育てを楽しむために提供しているプログラムのひとつとして実施	管理栄養士による離乳食に関する講座及び離乳食の形状の確認、作り方の紹介 【日時・場所】 ①11月26日 子育て総合支援センター(ちとせっこセンター) ②8月27日 北新子育て支援センター(げんきっこセンター) ③R3年1月27日 北新子育て支援センター(げんきっこセンター) 【内容】①5~8か月児向けの離乳食に関する講座(形状の確認あり) ②9か月児~1歳頃向けの内容の講座 ・前半と後半で月齢を分けた内容で講座を実施(両講座受講可) 【形状の確認】 メニュー~10倍粥、人参ペースト、鶏ささみのすり潰し 【参加者の感想・意見】 ・味付け(薄味)の目安がわからなかったのが、塩分量が知れてよかった。 ・次の段階に進むたびに、いろいろ気になることがあったので、話を聞いてよかった。	①27人 ②27人 ③19人	子ども福祉部 子育て総合支援センター
石狩	千歳市/ 児童館連携型地域子育て支援センター事業 「離乳食講座」	地域子育て支援センターで、子育てを楽しむために提供しているプログラムのひとつとして実施	管理栄養士による離乳食に関する講座及び離乳食の試食、作り方の紹介 【日時・場所】 6月25日(火) しのの子育て支援センター(しの児童館) 【内容】・【試食メニュー】上記と同じ	22人	子ども福祉部 子育て総合支援センター 児童支援係
石狩	千歳市/ クッキング体験	園児が自ら育てた野菜(米)を使い、調理に携わり、楽しみながら食への関心を高める。	時期:随時 場所:公立認定こども園(2園) 内容:栽培した野菜等を使い、園児とクッキング体験を実施 (大根餅・ピーマンのおひたし・カレーライス、おにぎり等)	230人	子ども福祉部 認定こども園
石狩	恵庭市/ えにわ大好き!食の体験ランド	当該事業は平成21年度から22年度まで石狩管内社会教育共同事業として実施され、平成23年度以降については当市主催事業として実施。第3次恵庭市食育推進計画(領域:食をとおして地域をつくる)の対象事業としても位置付けられ、食育に関する理解の促進や地産地消の推進を図る。	時期:R2.10.18 場所:オンライン(ZOOM)開催 共催:北海道文教大学、ルーキーズカンパニー 内容:食育体験学習 (1)農畜産物の紹介 メイン野菜(南瓜)収穫の様子や、豚の飼育の様子、生産者の声などを動画で配信。 (2)お野菜クイズ! メイン野菜(南瓜)について、北海道文教大学学生より参加者へクイズを出題。 (3)調理の体験♪ メイン野菜(南瓜)とサブ野菜を使用し、オンラインで調理室と家庭を結び調理実習。 (4)お家で挑戦! 毒の苗をプランターへ植栽する手順や、ハロウィンカボチャのランタンを作成する手順について、動画で配信。	親子7組	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	恵庭市/ 日曜趣味講座	「そば打ち」をテーマにし、気軽に受講していただく。平日の講座に参加できない人への参加機会とする。	時期:R2.10.18 場所:島松公民館 内容:そば打ち基礎講座	15名	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	恵庭市/ 親子ふれあい教室	子どもたちに創作や遊びの技術を学ばせるとともに、作業を通して親子が触れ合う機会を創出する。	時期:R3.2.20 場所:島松公民館 内容:ひなまつりケーキづくり	21名	恵庭市教育委員会 社会教育課
石狩	当別町 ばくばく教室(離乳食教室)	食習慣の基礎となる離乳期に適切な食事についての知識と実践方法を普及することで健やかな成長を支援するとともに育児に関する総合的な支援を行うため	対象:生後4~1歳までの乳幼児とその保護者 時期:年6回 場所:当別町総合保健福祉センター ゆとろ 内容:月齢に応じた離乳食の進め方等についてのミニ講話と離乳食調理体験。希望者には個別相談も対応。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、試食は未実施。	26人	福祉部保健福祉課
石狩	当別町 食事サポート教室	当別町の健康課題である肥満対策として実施	対象:おおむね30~60歳代でBMI23以上を対象とした「測って100日チャレンジ」事業参加者 時期:年2回 場所:当別町総合保健福祉センター ゆとろ 内容:町管理栄養士からの食事の適量に関する講話と、主食の計量を行いながら量を確認。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、試食は未実施。	9人	福祉部保健福祉課
胆振	室蘭市子育て支援課 クッキング保育	農業体験・料理体験により楽しく食べる事を通じて、食を営む力を育む	保育所の畑で育てた野菜を使って調理体験をして 楽しく食べる。(カレー・芋団子・おにぎり等)通年実施している。今年度は個別に容器を用意するなど特に安全面に注意して活動した。	3~5歳 児544名	保健福祉部 子育て支援課子ども育成係
胆振	苫小牧市 アスリートフードマイスター養成支援事業	大会・合宿等の誘致推進に向けた環境整備の一環として、身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援する。	①苫小牧市特産品を使ったレシピコンテスト実施 募集期間:令和2年9月1日~10月5日 受賞レシピを苫小牧市HPで紹介 ②アスリートフードマイスターセミナー動画配信	16作品応募 動画視聴回数:958回	産業経済部 産業振興室 観光振興課
胆振	苫小牧市 児童センターおべんとうタイム	異年齢の子ども達と会食することにより、食事のマナーや食生活の大切さを学ぶ。	市内児童センター7館(住吉・日新・沼ノ端・あさひ・錦岡・大成、北栄)で合計974回実施	6,560人	健康こども部青少年課
胆振	白老町 離乳食教室		子どもふれあいセンターで開催される赤ちゃん広場にて、1才未満児を対象とし、10回実施。例年、離乳期の食事について、試食と講話を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、試食は中止し、作り方を実演した。	26人(延べ)	健康福祉課
胆振	白老町 幼児食教室		子ども発達支援センターで開催される「ビスビス」のおたのしみひろばにて、幼児期の食事について例年、試食と講話を行っていたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、試食は中止し、レシピ紹介と講話を行った。1歳から未就学児を対象に、2回実施した。(例年の2回減となる。)	6人(延べ)	子ども発達支援センター(子育て支援室) 健康福祉課

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
胆振	厚真町 子育て講座「すくすく教室」	幼児期における望ましい食生活についての知識を普及し、生活習慣を見直すきっかけを与える。	【時期】①令和2年9月11日 ②令和2年12月11日 【場所】厚真町総合ケアセンターゆくり 【対象者】子育て支援センター利用者で希望する親子 【実施内容】個別相談、栄養士講話・デモンストレーション	①3組6名 ②3組6名	厚真町住民課健康推進グループ
胆振	厚真町 研修農場健康教育	厚真町の傾向を踏まえ、自身の健康を維持するための生活習慣について理解する。	【時期】令和3年度2月26日 【場所】総合ケアセンターゆくり 【対象者】研修農場研修生 【実施内容】保健師・栄養士講話、運動、味噌汁の試食	7名	厚真町住民課健康推進グループ
胆振	厚真町 米作り体験	厚真町の特産物である米について、田植えから稲刈りまでを体験することで食べ物の大切さ、興味、関心を持ち、食べることを楽しくという気持ちの芽生えを支援する。	【時期、実施内容】 ①5月29日:田植見学 ②9月30日:稲刈り ③10月29日:脱穀体験 ④11月6日:籾摺り作業体験 ⑤11月12日:精米作業体験、新米試食 【場所】厚真町錦町水田(田植見学・稲刈り)、こども園つみき(脱穀、籾摺り、精米体験・新米試食) 【対象】こども園つみき・年長児17名	延べ100人	厚真町教育委員会
日高	平取町 「ニシバラランチ～保育所～」	町内保育所・園へ地域の食材・加工品を提供し、安心安全そして地域の食文化への理解(旬を知る)を深める。	日時:①令和2年7月21日(火) ピラトマハヤン(平取高校生考案メニュー) ※平取高校「トマトクラブ」との連携事業・小中学校給食と同日・同メニュー実施 ②令和3年2月19日(金) 平取和牛の厚揚げ巻き・平取寒締めほうれん草のナムルほか ※平取町職域栄養士連絡会メンバー考案メニューを実施 ・常設保育所4か所(給食メニューの試食) ・へき地保育所2か所(おやつ提供のみトマトアイス等) ・例年夏の実施は関係者との試食会も同時開催。 (R2はコロナ対策で試食会は中止している)	400	保健福祉課
日高	平取町 地産地消を学ぶ料理教室	地元食材を活かした美味しい料理で地元農産物の良さを知ってもらい地産地消につなげる。また、簡単美味しい料理の実践・調理法を学ぶ。	日時:令和3年2月21日(日)10:00-13:00 場所:ふれあいセンターひらとり 定員10名 対象:中高生・一般町民 内容:『赤ちゃんオンライン料理教室～ひらとりの食材を食べて免疫UP～』 講師 フードプロデューサー青山則晴氏	8	保健福祉課
日高	新冠町 食育事業	望ましい食習慣の基礎を形成する。	◇給食訪問 対象者:全園児 時期:年3回 内容:食事状況の把握、食べ方指導、保護者向け食育資料の配布 様子等:完食できたことを報告してくれる児が多く、担任より「普段より意識し頑張って食べている子が多い」との感想がありました。	174人×3回	保健福祉課
日高	新冠町 離乳食教室	成長や機能の発達に合わせて、離乳食を進めることができる	時期:年3回(6月中止・10月・2月) 対象者:3～6か月の保護者 内容:離乳食の基礎知識を習得し、離乳食作りの不安や負担を軽減できるよう講話、調理を実施。特に5～6か月の進め方を重点的に説明しながら離乳食を作り、適量やかたさについて確認してもらいました。	10月4人 2月3人	保健福祉課
日高	新冠町 おやこの楽しい料理教室	望ましい食習慣や知識を習得することができる	◇料理動画 時期:8月 対象者:小学生と保護者 内容:新冠産食材を使った料理動画の配信 紹介メニュー:新冠産ピーマン入りマーボー豆腐、きやべつの梅マヨあえ、おぐらのきらきらスープ、グレープフルーツゼリー 課題等:インターネット環境や機材がなく動画を視聴出来ない方やアンケートから動画より料理教室の希望多数であったことが動画配信の課題となりました。 ◇食育教室 時期:12月 内容:講話で朝食の大切さを伝え、朝食レシピの紹介とその食材キットを配布することで家庭での調理、朝食摂取につながるよう実施。 講話:かんたんにつつまよう朝ごはん 紹介メニュー:ほうれん草とチーズの卵炒め、さばとにんじんのトマトスープ 感想等:改めてバランスの良い食事や朝食の大切さを学べて良かった、との声がありました。	動画再生417回、食育教室6人	保健福祉課
日高	様似町 離乳食講習会	離乳食を月齢や発達に合った調理法や形体、適量を確認し、進めることができる。	【実施日】令和2年11月26日、令和3年2月24日 【場 所】様似町保健福祉センター 【対 象】4～6か月の第一子を持つ保護者又は希望者 【内 容】①歯のおはなし ②食事のおはなし ③アンケート	4	保健福祉課
日高	様似町 男性料理教室	男性高齢者が、健康な生活を維持・管理するために、基本的な調理法や食生活に関する知識を普及し、自立して食事を作る力を身に付ける。	【実施日】令和2年9月2日、10月21日、11月18日 【場 所】様似町保健福祉センター 【対 象】町内65歳以上の男性 【内 容】講話、調理実習(お持ち帰り)、アンケート 1回目:ホタテ缶と塩昆布の炊き込みご飯、えびと野菜の卵とじ たつぷりきのこの味噌汁、なすのボン酢サラダ 2回目:さんまの蒲焼き丼、切り昆布と大根の和え物 きゅうりの味噌わさび和え、懐かしのフルーツミルク 3回目:チーズ餃子、春雨スープ、もやしとほうれん草、わかめのナムル 牛乳きなこもち	14	保健福祉課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
日高	様似町 ヘルシーアップ教室	活動量の低い冬場に適した運動習慣を身につけ、食習慣を見直し、体重増加を防ぐことや生活習慣病の予防や改善の実施に取り組むことができる。	年12回の運動教室のうち、2回を調理実習、栄養講話を含めた教室として実施。 【実施日】令和2年12月15日、令和3年3月23日 【場所】様似町保健福祉センター 【対象】30歳以上の町民 【内容】調理実習、試食、講話、運動教室、アンケート 1回目:切り干し大根の肉もそびんぱ丼、なめこのサンラータンスープ 水菜と人参の黒ゴマサラダ 2回目:ひじきと青じその混ぜご飯、鶏ももとかめの酒蒸しねぎソース ブロッコリーの柚子胡椒和え いちごとホエーカスタードのミニパフェ	8	保健福祉課
日高	新ひだか町 楽しいばくばく食育教室	①間食を含む自身の食事の適量を知る ②買うばかりではなく、自分で調理する楽しみを知る ③肥満からくる疾患を予防する ④子供自身で健康な口腔維持ができる	対象:児童館・学童保育を利用する小学生 場所:町内4か所の児童館 内容:講話、実習(ジュースの砂糖量計量)、歯磨き指導などを実施 回数・各施設年間3回(歯科衛生士1回、保健師1回、栄養士1回)	138	保健福祉部健康推進課
渡島	函館市 乳児期のはこだてげんきな子食育教室(離乳食教室)	「授乳・離乳の支援ガイド」に基づき、具体的な離乳食の進め方や内容等を学習するとともに、初めての離乳食づくりからだしのとりになど、離乳食の試食・試飲を通じて「食」の大切さを知ること等を目的に開催する。	対象者:教室開催日時点でこれから離乳食を始める4～6か月の第一子を持つ親 実施時期:令和2年4月10日、6月12日、8月14日、10月9日、12月11日、令和3年2月12日(6月、12月、2月中止) 内容 ・デモンストレーションおよび試食「離乳初期食(5～6か月食)」(中止) ・講話「離乳食の進め方について」 場所:函館市総合保健センター	26名	保健福祉部健康増進課
渡島	福島町/ 健康料理教室	町民一般を対象にした健康的な食生活の普及・啓発	成人一般を対象に年5回開催。 保健師、管理栄養士が講話や調理実習などを実施した。 地産産の食材(黒米、いちご)使ったレシピの紹介と試食を行い、地産地消に努めた。 時期/テーマ/参加人数 令和2年6月11日(木)「貧血予防の食事」6人参加 令和2年10月14日(水)「骨太クッキング」6人参加 令和2年11月26日(木)「フレイル予防の食事」9人参加 令和3年1月28日(木)「高血圧予防・減塩レシピ」5人参加 令和3年2月25日(木)「血液サラサラクッキング(脂質異常症予防)」8人参加	34	福祉課
渡島	福島町/ 広報誌「広報ふくしま」による普及啓発	健康及び食育の普及・啓発	福島町の広報誌「広報ふくしま」に、牛乳チャレンジ・フードレスキュー、夏太り・夏やせ、がん征圧月間、食品ロス削減月間、食生活とメンタルヘルスなど健康や食育に関する記事を掲載した。	—	福祉課
渡島	福島町/ 社会教育事業 第3回福島学ジュニア チョコお菓子づくりレシピ動画配信	・町内の小学生を対象に、福島町の様々な体験学習を通じて、児童の情操教育に対する意識の高揚を目的としている。	動画配信の対象者:福島学ジュニア参加受講生 撮影日:令和3年2月2日(火) 場所:福島町健康づくりセンター 調理室 主催:福島町教育委員会 内容:新型コロナウイルス感染拡大の影響で、調理実習を中止。代わりに動画配信をおこなった。 メニュー:4種のトリュフ、チョコアイス	スタッフ2人	・福島町教育委員会事務局(生涯学習) ・福祉課
渡島	福島町/ 教育ファーム 黒米の収穫 福島町立吉岡小学校	・小学校の総合学習の時間を活用し、当町の主要作物である水稲、ブルーベリーなど田植えから収穫までの一連の作業を実施し、農業に対する興味を持ってもらい将来の担い手候補の育成及び、食育に対する意識の向上、農業の良さを発見させることを目的としています。	対象者:町内の2校の小学校のうちの1校 吉岡小学校:4～6年生 時期:黒米の稲刈り(9/24) 内容:新型コロナウイルス感染拡大防止のため、収穫のみ開催。	小学生7人 スタッフ9人	・産業課(農林)
渡島	八雲町/ 放課後子ども対策事業 体験プログラム「SUNSUN」	園児を対象とした食育の普及・啓発	放課後、小学生におやつやジュースに含まれている「砂糖」をテーマに講話を行ったあと、「カルピスシャーベット」を手作りして試食した。	15	熊石総合支所住民サービス課
渡島	八雲町/ 放課後子ども対策事業 体験プログラム「SUNSUN」	地産産食材を使い、食に関する知識、食に関する感謝の念と理解を含め、食文化の継承を促す。	放課後、小学生に蒸しパン作りと「食育講話～お箸の話～」をテーマに箸の持ち方、マナーについて講話した。	15	熊石総合支所住民サービス課
渡島	八雲町/ 放課後子ども対策事業 体験プログラム「SUNSUN」	地産産食材を使い、食に関する知識、食に関する感謝の念と理解を含め、食文化の継承を促す。	小学生対象に地域でとれた食材「じゃがいも」「かぼちゃ」を使って、いももちとかぼちゃ団子を作って食べた。	27	熊石総合支所住民サービス課
渡島	八雲町/ 子育てサロンおやつ作り教室	簡単にできる捕食とおやつとの与え方を学ぶ、家庭で実践する。	子育てサロンに通う母親を対象に、望ましいおやつ(補食)の与え方と内容について学び、家庭で実践することを目的におやつ作り教室を実施した。	11	保健福祉課
檜山	江差町/農業体験型交流推進事業(町内保育園児・幼稚園児対象)	子供たちが自然の恩恵を感じながら、収穫作業を通じて食料の大切さや食べ物への感謝の気持ちを育む。	開催日:令和2年7月6日 内容:スナッフエンドウの収穫体験(参加費無料) 場所:江差町字越前町 ※収穫した農作物は、後日保育園の給食にも利用された。	77名	産業振興課
檜山	江差町/畑作	野菜の栽培や収穫を通して、興味や関心を持ち、全ての命を大切にすることを学ぶ。	実施時期 ○苗植え:令和2年5月～6月頃 ○収穫:令和2年7月～10月頃 野菜の種類:オクラ、トマト、とうきび、えだまめ、きゅうり、ナス、ピーマン、じゃがいも など 場所:各保育園の畑 ※収穫した農作物は、後日保育園の給食にも利用された	約50名	町民福祉課・かもめ保育園・日明保育園・水堀保育園
檜山	江差町/親子クッキング ※令和2年度は、親子クッキングが中止となり、子どもたちだけのクッキング開催となりました。	自分たちで収穫した野菜を使って、調理をしたり、美味しく味わう場を作る。	(1)畑で収穫した野菜や江差の農家さんの協力をいただき収穫体験を行った野菜を使って、保育園の給食で提供。 (2)自分たちで収穫した野菜を使い、クッキング(行事)を開催。(11月)	約50名	町民福祉課・かもめ保育園・日明保育園・水堀保育園

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
檜山	江差町／サツマイモ植え・掘り	野菜の栽培を通し、生育の様子を知ること。 栽培や収穫を通し、食材への感覚を豊かにする。 地域で収穫されたものを食し、感謝の気持ちを育む。 (地産地消の取り組み)	実施時期 ○苗植え: 令和2年6月9日 ○収穫(芋掘り): 令和2年10月19日 対象: 町立かもめ・日明・水堀保育園 くま組(4歳児)、らいおん組(5歳児) 場所: 江差町宇越前町 ※収穫した農作物は、後日保育園の給食・子ども達のクッキングにも利用しました	約50名	町民福祉課・かもめ保育園・日明保育園・水堀保育園
檜山	今金町 ゆうゆうクラブ (通所型サービスC: 栄養講話)	生活機能を改善するための運動機能向上などを目的とした複合的なプログラムを3ヶ月間の短期間で行い、1年間に3クール実施している。複合的なプログラムの中に栄養改善や口腔機能の向上プログラムが含まれており、1クール10回のうち1〜2回栄養講話を組み込みフレイル予防(低栄養予防)をテーマとして実施している。	実施日(年6回) ①令和2年 6月29日(月) ②令和2年 8月 3日(月) ③令和2年10月19日(月) ④令和2年11月16日(月) ⑤令和3年 2月15日(月) 場所: あったからんど 和室 対象: (1)65歳以上の要支援認定者で介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーションを利用していない者 (2)65歳以上の基本チェックリスト該当者 概要: ①健康相談②ドミン・リハ体操③講話 ④筋力トレーニング⑤バランススティック スタッフ: 管理栄養士、保健師、歯科衛生士、作業療法士、理学療法士 ・低栄養の概要と予防(BMI、アルブミン、指輪つかテスト) ・低栄養予防の食事(10食品群チェックシート、たんぱく質摂取、手ばかり法) ・参加者は食に関する話への関心が高く、質問や自分の食事内容、工夫していることを参加者間で共有し、自分の食事を振り返る機会となっている。	①5名 ②6名 ③3名 ④4名 ⑤5名	今金町地域包括支援センター
檜山	今金町 もぐもぐ赤ちゃん教室 (離乳食教室)	保護者が離乳食の重要性を理解し、離乳食に関する不安が軽減されることで、子育ての意欲を高め、乳児の健全な成長と親子の適切な食生活形成の一助となるよう支援することを目的とする。	実施日・参加数(年3回) ①令和2年 6月16日(火) ②令和2年10月27日(火) ③令和3年 2月16日(火) → 悪天候のため中止 場所: 今金町総合福祉としべつ 保健センター 対象: 生後1〜15ヶ月の親子 概要: ①ミニ講話②試食③身体計測④相談 ※調理実習はコロナのため実施しなかった。 スタッフ: 保健福祉課 管理栄養士、保健師、歯科衛生士 ・講話と試食により月齢で変化する形状や味付け、量を確認している。 ・4ヶ月児未満では離乳食の準備を始める機会となっている。	①3名 ②6名 ③中止	今金町保健福祉課
檜山	今金町 こども歯みがき教室 (第2回栄養編)	幼児期からの虫歯予防に対する意識の向上や、発達段階に合わせたブラッシング方法の定着を目指す。	実施日 ①令和2年10月20日(火) ②令和2年10月29日(木) 場所: ①認定こども園いまかね ②種川へき地保育所 従事: 認定こども園いまかね 栄養士・保育士 種川へき地保育所 保育士 保健福祉課 栄養士・歯科衛生士・保健師 概要: 1. 栄養教育(紙芝居、パネルシアター) 2. ブラッシング指導(第1回目歯みがき教室の振り返り) ・内容は、おやつと虫歯の関係について、おやつに含まれる砂糖の含有量、時間を決めて食べることについてとした。経年の実施で、どのようなおやつ、食べ方が虫歯のリスクとなるのか理解し、おやつのでき方を気をつけようとして行動するきっかけとなっている。 ・家庭では好きな量や時間におやつを食べる園児もあり、家庭での実勢に繋がるよう継続していく。	①年長児 21名 年中児 33名 ②全園児 4名	今金町保健福祉課
檜山	今金町 いまかね減塩大作戦 (としべつ健康づくり教室)	減塩を含む食育を実践することで、高血圧等の生活習慣病を予防する人や重症化しない人が増えることを目的とする。	実施日 令和3年 1月28日(木) 場所: 今金町総合福祉としべつ 保健センター 対象: 減塩を取り組みたい、又は減塩に興味を持って今金町民 今金町食育サポーター 概要: ①塩分チェックアンケート②健康教育③教室参加後アンケート スタッフ: 保健福祉課 管理栄養士、保健師 ・今金町食育サポーターのフォローアップ講座を兼ねて実施 ・みそ汁の飲み比べで普段の味付けの傾向と塩分チェックアンケートでの食習慣の傾向、健診の尿検査による推定1日食塩摂取量の傾向を比較することができる機会となった。 みそ汁の飲み比べでは薄味を心がけているが、アンケートからの食習慣では塩分を摂取する機会が多い傾向があった。	一般 6名 食サポ 11名	今金町保健福祉課

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
檜山	せたな町 ヘルシー料理教室	生活習慣病と食習慣の関係を知り、生活習慣病を予防・改善するための食習慣の実践に取り組むことができる。	各区1回実施。年度ごとにテーマを決めて、講話や調理実習を行う。今年度は「コレステロール」をテーマに実施。旬の食材を使用したバランスの良いメニューを調理。 ○ 対象 特定保健指導対象者・生活習慣病の方・健康と食事に関心のある方 ○ 講話内容 コレステロールを上げない食品・調理法について ○ 1回目【瀬棚区実施】令和2年8月5日 ■ 実施場所:瀬棚町民センター ■ 参加人数:10名 ■ 調理実習:夏野菜キーマカレー・豆腐のサラダ・彩りナムル ○ 2回目【北檜山区実施】令和2年9月8日 ■ 実施場所:せたな町民ふれあいプラザ ■ 参加人数:7名 ■ 調理実習:タコライス・かぼちゃの豆乳ポタージュ・きのこのホイル焼き ○ 3回目【大成区実施】令和2年10月7日 ■ 実施場所:大成町民センター ■ 参加人数:5名 ■ 調理実習:鮭ときのこの豆乳クリームパスタ・コンソメスープ 大根と水菜のサラダ	22名	保健福祉課
上川	名寄市食育推進協議会主催事業/いもほり体験 協力:名寄市食育推進ネットワーク	収穫体験を通して、名寄の農産物に関心を持ってもらうとともに、地産地消に繋げる	じゃがいもほり体験(芋持ち帰り) 名寄のじゃがいもについてのお話(芋の種類、おいしい食べ方など) 「じゃがいも世界料理」弁当持ち帰り(市内の料理家に世界5か国のじゃがいも料理をセットにしたお弁当作成を依頼)	20	経済部農務課
上川	愛別町 あいべつ体験農園	作物の種まきから収穫までの一連作業体験を通じて、食文化の理解、世代間交流を通じて人を敬う心、思いやる心を学び豊かな情操の育成を図ることを目的とする。	対象:町内、町外の方、町内の幼児センター等 (作付から収穫までの一連の作業)実施期間:5月上旬~10月上旬 実施場所:愛別町農村公園内体験農園管理棟前 作付面積:1区画30㎡ 作付作物:じゃがいも(キタアカリ、メークイン、レッドムーン)、にんじん、かぼちゃ、玉ねぎ、トマトなど	146名	産業振興課
上川	愛別町 離乳食教室	味覚の形成、咀嚼の発達に応じた食べ物の固さなど、これからの食生活の基本となることを学ぶ	日時:令和2年5月22日、12月4日 対象:一歳までの乳児を持つ保護者 概要:例年はサンライズの調理室で講話と調理実習を行っているが、今年はコロナウイルス感染症の感染防止の観点から対象者へレシピの郵送を行った。	11名	保健福祉課
上川	美瑛町/各種スポーツイベント	地場産品のPR	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、町内で開催される各種スポーツイベント(※)が中止となった。 ※丘のまちびえいヘルシーマラソン(6月)、丘のまちびえいセンチュリーライド(9月)、丘のまちびえい宮様国際スキーマラソン(2月)		文化スポーツ課
上川	和寒町 離乳食教室	離乳食の意義を理解し、発達に適切な進め方ができる。月齢にあった調理法や形態、適量を確認することができる。 母親同士の交流の場として、育児全般の意見交換や仲間づくりができる。	実施回数:年9回 場所:保健福祉センター 対象:概ね3~16ヶ月児とその親 内容: 栄養講話~月齢に添った離乳食の進め方と栄養の学習。 調理実習と試食~離乳食の調理実習をし児へ与えてみる 保健師講話~育児に関する疑問・悩みを支援する。 特記事項:コロナ禍による育児中の母子の孤立を防ぐため、感染症対策(調理実習のマニュアル作成)をとり少人数で実施。離乳食の供与は単なる栄養補給にとどまらず、楽しく食事し食べる意欲が増す環境づくりが大切である。参加者同士が離乳食を児へ与える様子を確認することで、子の発達や離乳食の疑問や不安の解決の場となっている。	29組/年9回	和寒町保健福祉課保 健係
上川	和寒町 幼児食教室	幼児食の意義を理解し、成長や発達に適切な進め方ができる。 家庭での調理法や食事量と、適正量との比較確認ができる。 子供の間食の意義を理解できる。 母親同士の交流を通して、育児全般の意見交換や仲間づくりができる。	実施回数:年4回 場所:保健福祉センター 対象:1~4歳児とその親 内容:栄養講話~幼児期の栄養、適正量の学習とともに、家族の食を振り返ることのできる内容。 調理実習と試食~離乳の完了期からの幼児食づくりを体験。 保健師講話~育児に関しての問題を解決できるよう支援する。 特記事項:コロナ禍による育児中の母子の孤立を防ぐため、感染症対策(調理実習のマニュアル作成)をとり少人数で実施。	11組/年3回	和寒町保健福祉課保 健係
上川	東川町/東川町学社連携推進協議会体験農園専門部会	食育の機会を児童に	管理・運営している農園で収穫した米、新鮮な野菜・果樹を活用し、親子で収穫体験し、この食材を活用しての食育事業をも実施。7月の下旬に数種の小果樹を使ってのジャム作り、11月上旬にマルメロのジャム作り、11月に漬物作り、1月に冷凍果樹を使ったのジャム作り、2月上旬に自前の麺と大豆を使っての味噌作りを行っています。場所は全て東川町地域交流センター ゆめりん	80	東川町教育委員会生涯学習推進課
留萌	苫前町/稲作体験	地域の基幹産業について、自ら体験し、学習する。	実施日:4月23日、5月29日、7月14日、10月16日、12月3日、12月9日 開催場所:町内小学校ほか 対象:小学5年生 運営:社会教育課 協力:苫前町農業協同組合、苫前町農業協同組合青年部、北海道中央農業共済組合留萌支所、苫前土地改良区、留萌農業改良普及センター	26	社会教育課
留萌	苫前町/ホタテ漁業体験	ホタテを育てている人たちの様子や工夫、仕事の様子などを見学し、苫前町の水産業について理解を深める。	実施日:9月9日 開催場所:苫前漁港、(株)加藤漁業 対象:町内小学校3年生 運営:社会教育課 協力:(株)加藤漁業、北るもい漁業協同組合苫前支所、留萌地区水産技術普及指導所	20	社会教育課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
留萌	苫前町／メロン農家見学	作物を育てている人たちの様子や工夫、仕事の様子などを見学し、苫前町の農業について理解を深める。	実施日:9月10日 開催場所:早川 日出利 氏園場 対象:苫前小学校3年生 運営:苫前小学校 講師:早川 日出利 氏	12	社会教育課
留萌	苫前町／酪農体験	物を作る仕事(牛乳生産)についての体験を通して、その苦労や働いている様子などを知る。	実施日:9月24日 開催場所:(株)箱柳牧場 対象:古丹別小学校3年生 運営:古丹別小学校 協力:(株)箱柳牧場	8	社会教育課
留萌	苫前町／酪農体験	物を作る仕事(牛乳生産)についての体験を通して、その苦労や働いている様子などを知る。	実施日:11月10日 開催場所:小林牧場 対象:苫前小学校3年生 運営:苫前小学校 協力:小林牧場 講師:小林博之 氏	12	社会教育課
留萌	苫前町／水産加工場見学	水産加工場や加工品の製造の様子を通して、水産加工場で働く人々の工夫や苦労について理解を深める	実施日:10月20日 開催場所:(株)丸や岡田商店 対象:町内小学校3年生 運営:社会教育課 協力:(株)丸や岡田商店	20	社会教育課
留萌	苫前町／地引き網体験	海にどのような魚や生き物がいるのか、実際に捕獲する体験を通して理解を深める	実施日:7月9日 開催場所:苫前漁港付近 対象:苫前小学校4年生 運営:社会教育課 協力:留萌地区水産技術普及指導所、北るもい漁業協同組合苫前支所、苫前漁協青年部	11	社会教育課
留萌	苫前町／小豆蒔き、収穫、スイーツづくり	自分で植え、収穫した小豆を使ったスイーツづくりを体験する。	実施日:中止、10月3日、2月23日 開催場所:苫前町公民館 対象:少年少女体験教室生徒 運営:社会教育課職員	23	社会教育課
留萌	苫前町／親子料理・料理教室	子供が食への興味関心を高めること及び保護者が食育の大切さについて考える契機とする。	実施日:11月1日、3日 開催場所:苫前町公民館 対象:苫前町少年少女体験教室生徒、幼児及び保護者 運営:社会教育課職員、保健福祉課栄養士、苫前町食生活改善協議会員 メニュー:バナナ入りふんわりパンケーキ、フルーツパバロア	40	保健福祉課 社会教育課
留萌	苫前町／鮭トバ作り	日本海で水揚げされる秋鮭を使い、鮭トバ作りを習い、味わうことで食への興味関心を高め、鮭トバ作りを広める。	実施日:11月26日 開催場所:苫前町公民館 対象:シニアスクール生徒、一般町民 運営:社会教育課職員 講師:磯崎 功 氏	14	社会教育課
留萌	苫前町／筋肉はお金で買えない宝物	バランスのとれた食事とトレーニング方法を習得して筋力アップを図る。	実施日:9月26日 開催場所:苫前町公民館 対象:一般町民 運営:社会教育課 協力:苫前町食生活改善協議会 メニュー:サバ缶のハンバーグきのこあんかけ、カットージチーズの白和え風サラダ、根菜のおからのみそ汁	15	保健福祉課、社会教育課
留萌	苫前町／幸齢セミナー「とまませの食材でおしゃれに美味しく健康に！」	地産産の旬の食材を活かした調理実習を通して高齢者の食生活を改善し肥満や低栄養の回避などを図るとともに健康寿命への興味・関心を高める。	実施日:9月28日 開催場所:苫前町公民館 対象:一般町民 運営:社会教育課職員、保健福祉課栄養士、苫前町食生活改善協議会員 内容:旬の地元食材を活かした調理と盛り付けの工夫 メニュー:鮭ザンギ丼、南瓜の豆乳スープ(冷製) 講師:野口泰臣 氏 共催:北海道農政部食品政策課	12	保健福祉課 社会教育課
留萌	天塩町 こがら児童クラブ「食育教室」	①食べることや料理することに関心を持つ。 ②食事をとることの大切さを学ぶ。 ③食の知識・調理する力を身につけることができる。	児童保育、小学校・行政の栄養士が協働し、平成22年度より継続。 【実施日】10月12日(月) ※振替休日 【場 所】保健ふれあいセンター 多目的ホール・調理室 【対 象】児童保育に通う1～6年生までの児童 【内 容】食育講話・実習:食育クイズ、お箸の持ち方、手洗い指導	児童21名 職員5名	福祉課
宗谷	稚内市/沼川みのり公園	敷地内の市民農園にて収穫された野菜を販売し、市民に秋の爽りを楽しんでもらう。	沼川みのり公園収穫祭 令和2年9月19日 沼川みのり公園	45人	建設産業部農政課
宗谷	稚内市 市民講座 「家庭料理教室」	学びのきっかけづくりとして、気軽に学習活動や仲間づくりを楽しみながら教養を高め、学びの輪が拡大することで生涯学習に対する理解や関心を高める。	【開催日】令和2年6月23日～7月21日 毎週火曜日の18:30～20:30 【参加対象】稚内市民 定員12人 【協力機関】北海道栄養士会宗谷支部 【メニュー】乳和食、お手軽給食メニュー、缶詰活用料理、バッククッキング 【参加者の感想】講座に参加しないと分らなかったホエーの使い方や災害時に役立つ調理法を体験できた事で、実際に必要となった時に役立つと思った。 【問題点・課題】特になし	9人	社会教育課
宗谷	稚内市 市民講座 「そば打ち体験」	学びのきっかけづくりとして、気軽に学習活動や仲間づくりを楽しみながら教養を高め、学びの輪が拡大することで生涯学習に対する理解や関心を高める。	【開催日】令和2年6月12日(金)・13日(土)10:00～12:00 【参加対象】稚内市民(18歳以上) 定員 各8人 【参加者の感想】分かりやすく丁寧に教えてもらってしっかりそばを打つ事が出来た良かった。また作りたいと思えた。 【問題点・課題】特になし	11人	社会教育課
宗谷	稚内市 市民講座 「とら焼き作り」	学びのきっかけづくりとして、気軽に学習活動や仲間づくりを楽しみながら教養を高め、学びの輪が拡大することで生涯学習に対する理解や関心を高める。	【開催日】令和2年10月16日(金)10:00～12:00 【参加対象】稚内市民(18歳以上) 定員 8人 【参加者の感想】生地をひっくり返すのが少し難しかったです。普段やらないものや難しいものの方が達成感があるので良かった。 【問題点・課題】受講者から新型コロナ対策が不十分だったとの指摘があった。	4人	社会教育課
宗谷	稚内市 市民講座 「簡単燻製作り」	学びのきっかけづくりとして、気軽に学習活動や仲間づくりを楽しみながら教養を高め、学びの輪が拡大することで生涯学習に対する理解や関心を高める。	【開催日】令和2年10月10日(土)・11日(日)10:00～12:00、13:30～15:30※1回 【参加対象】稚内市民(親子での参加可) 定員 各5人 【参加者の感想】燻製作りに興味はあってもなかなか踏み出せなかったが、スモーカー作りも簡単に具体的な作り方も話していただけて良かった。簡単に出来て家族みんなで楽しめる内容だった。 【問題点・課題】特になし	18人 (うち親子3組)	社会教育課

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
宗谷	稚内市 子どもの広場 前期 「どら焼き」	子どもたちが物づくりの楽しさや成就感を持つことを目的とする。	【開催日】令和2年8月29日(土)9:30~11:45 【参加対象】小学校3~6年生 定員 8人 【参加者の感想】生地をプレートにのせるところやあんこ詰めが難しかった。 【問題点・課題】電源確保の関係(ホットプレートを使用)から、募集人数の制限をしなければならない。	6人	生涯学習総合支援センター
宗谷	稚内市 子どもの広場 前期 「手打ちうどん」	子どもたちが物づくりの楽しさや成就感を持つことを目的とする。	【開催日】令和2年9月12日(土)・13日(日)9:30~11:45 ※2日日程 【参加対象】小学校3~6年生 定員 8人 【参加者の感想】美味しく作ることができた。色々な料理に挑戦してみたい。 【問題点・課題】2日日程だと一人一人が全行程をしっかりと体験することができるが、参加の都合がつかない子どもも多いと思うので、今後は1日日程で実施できる方法を模索していく。(2日目に使う生地は、指導者側で準備しておくなど)	9人	生涯学習総合支援センター
宗谷	猿払村 ①肉製品製造実習 ②アイスクリーム製造実習	村民自らが食品製造に取り組むことで、食の安心安全や地場の産品への関心を高める。	①開催日:通年(年間約55回) 場所:牛乳と肉の館 参加人数:3~7名程度 内容:肉製品(ベーコン、ソーセージなど)の製造実習 ②開催日:通年(年間1回) 場所:牛乳と肉の館 参加人数:3~6名程度 内容:アイスクリーム(パナラ、コーヒーなど)の製造実習	約1048名	企画政策課
宗谷	礼文町/栄養教育「むし歯予防教室」	う歯に繋がる食生活、食習慣を理解し予防行動をとることでう歯の本数、う歯罹患率の減少につなげる。	実施時期:令和2年6月 場所:香深保育所、船泊保育所 むし歯予防週間を実施した。保健師よりむし歯が起こる仕組みについて説明後、ジュースに含まれる砂糖量を一目で分かるような媒体を使用し、ジュースの摂取がむし歯の原因になりうること、むし歯にならないための飲み方を伝えた。また、ジュースの過剰摂取は、肥満の原因になりうることを伝えた。	全34名 (香深18名、船泊16名)	保健課 保健推進係
宗谷	礼文町/栄養教育「生産者や調理者への感謝の気持ちを持つ」	食事ができるのは、多くの人に支えられていることを理解し、感謝の気持ちを持って食事を味わうとともに「食」に興味、関心を持つ。	実施時期:令和2年9月 場所:香深保育所、船泊保育所 生産現場から消費に至るまでの過程と食材が料理になるまでの過程を示した媒体を用いて、食事はどのような人に支えられているかを学び、身近にいる調理員及び親に対して感謝の言葉をおくれた。また教室では、園児の理解を深めるため園児が育てたじゃがいもを使用したほか、給食にて実際に試食を行った。	全23名 (香深17名、船泊6名)	保健課 保健推進係
宗谷	礼文町/栄養教育「噛むことの大切さについて」	よく噛むことの重要性を理解し、実践することで、園児が自身の健康について興味、関心を持ち、園児が将来自分たちで正しい食生活を身につけることができる。	実施時期:令和3年1、2月 場所:香深保育所、船泊保育所 正しい噛み方やよく噛むことの大切さを学び、実際に、硬いお菓子を用いて30回以上噛む練習をした。	全20名 (香深14名、船泊6名)	保健課 保健推進係
オホーツク	北見市「幼児食教室」	幼児期の食事について正しい知識を身につけることで育児の不安を軽減し、適切な栄養を確保するとともに、心身の健康づくりをすすめる食生活の基礎をつくる。	対象:1歳2か月~1歳4か月児を持つ保護者 場所:北見市保健センター 内容:栄養講話「幼児期の食事と生活リズムについて」 「調理の工夫、簡単レシピの紹介」 開催時期:5月、8月、12月、2月 ※5月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	18名	保健福祉部健康推進課
オホーツク	北見市 北見市食育事業「うち先生 こんにちは！」	食生活に関心を持ち、食と健康に対する意識を高め、心身の健康づくりをすすめる適切な食生活の基礎をつくる。	対象:市内の児童センター、児童館に通う児童 場所:各児童センター、児童館 内容:栄養講話「食べたものがうんちになるまで~元気なからだをつくるための生活のお話し~」 開催時期:10月~12月	567名	保健福祉部健康推進課
オホーツク	北見市 「みんなで守ろう子どもの歯」事業	園児・保護者へのう歯予防の関心を高める	場所:自治区内保育園 対象:保育園児 内容:歯科衛生士による講話 栄養士による講話(むし歯にならないための食生活、おやつ選び方等)	27名 (2回)	端野総合支所 保健福祉課
オホーツク	北見市 「幼児むし歯予防教室」	健康づくりに大切な食生活やう歯予防を理解し、自分の歯や生活に関心を持つことができる。	対象:年長児 場所:自治区内保育園・保育所(3か所で開催) 内容:栄養講話、歯科講話、歯型模型を用いた歯みがき体験 保護者への啓発(リーフレット配布)	25名	常呂総合支所保健福祉課
オホーツク	北見市 食育歯科健康教育「よいこの歯っぴー教室」	健康づくりに大切な、食生活やう歯予防の知識・手法を幼児期に身につける。	対象:年中及び年長児 場所:自治区内全保育園・幼稚園 内容:食生活・う歯予防に関する講話、ブラッシング指導(デモンストレーション)	23名	留辺蘂総合支所 保健福祉課
オホーツク	美幌町 わくわくクッキング教室	食への関心を深め、料理を作る喜び、楽しさを体験する。	対象:小学3~6年生 実施時期:7月27日 場所:しゃきとプラザ 協力:美幌町ヘルスリーダーの会 バランスのよい献立作成の学習(栄養士)と調理実習(美幌町ヘルスリーダー) 実施メニュー:カラダ元気わんぱくたんぱくハンバーグ、ピーマンとじゃがいものきんぴら(カレー風味)イチョのハムサラダ ミルクスープ 寒天プリン *いちごが入荷できずグレープフルーツのハムサラダに変更した。	6名	保健福祉グループ 栄養指導担当
オホーツク	美幌町 プレマクラス へるす dinner	妊娠中の食事生涯を通して健康づくりのための減塩かつバランスのよい食事の必要性を知る。	対象:妊婦教室に参加している妊婦とその夫 実施時期:10月2日 2月5日 協力:美幌町ヘルスリーダーの会 内容:試食会 メニュー:ごはん、納豆ジャージャー丼、あさりのサラダ、ヒラヒラ大根のスープ、ヨーグルトスイーツ 夜間両親学級においてはじめて試食会として取り組み好評。「減塩食でもおいしい、家で作ってみたいと思った。」との感想があった。	15名	保健福祉グループ 栄養指導担当
オホーツク	佐呂間町 グランドペアレンツクッキング(男性の料理教室)	・介護予防のために、高齢男性者の自立した食生活をを目指す。 ・家事援助の基本的な事項である食事づくりの方法を取得する	【対象】シニア世代の男性 【日程】2か月に1回(全5回)※新型コロナウイルスによる影響により、令和2年5月開催中止 【場所】佐呂間町市民センター 【内容】保健師による健康ミニ講話、管理栄養士による料理教室 【参加者反応・意見】料理教室の前に保健師からの講話があり、病気や身体のことを学ぶ機会になっている。	延32名	保健福祉課

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
オホーツク	湧別町 バランス料理教室	主食・野菜・副菜をバランスよく食べることが健康づくりにつながることを知り、日頃の食事作りや料理の選択に生かすことができる。	時期:毎月1回、計7回 ※コロナ感染症対策等により、実施できなかった月あり 場所:保健福祉センター 内容: ・町管理栄養士による、食事のバランスについての講話 ・調理実習(バランス丼ほか1品)	延36名	健康こども課
オホーツク	湧別町/北海道指導漁業士	地元で獲れる魚の生態を知る。	・時期・場所:11月6日 湧別小学校 ・内容:「サケ学習」 ・北海道指導漁業士1名による地元で漁獲されるサケの生態の解説、質疑応答等。 ・参加者 湧別小学校2年生:23名、教諭:3名、指導漁業士:1名、組合員家族:1名	28名	水産林務課
オホーツク	滝上町/鹿肉入りソーセージ体験会	食育・地産地消推進計画に基づき、町民自らつくる楽しさや地域農畜産物の消費拡大を図るほか、食育に対する関心・興味を高めることを目的として、開催した。	開催日時:令和3年1月31日(日)9:00~11:30 開催場所:滝上町農産品加工研究センター	町民15名	滝上町農政課
オホーツク	興部町 幼児学級(調理実習) 興部保育所	・家族のために作ったものを食べてもらい喜んでもらうことで、何かを作ることの喜びをわかってもらい、家で料理をする機会が増える。	対象者:保育所通所児・保護者 時期:年1回(今年度は9月に実施) 場所:興部町福祉保健総合センター(調理室) 内容:調理実習(ポリ袋で「バナナ蒸しパン」)・試食 感想:父親と参加した子から、今度はママと作ってみたい。おばあちゃん、おじいちゃんに作ってあげたい。調理器具や食器も少なく簡単に作れたので家ででも作りたい。楽しかった。美味しかった等の声あり。 結果・課題:今回はコロナ感染症感染予防の為、人数制限、時間を短縮しての実施でしたが、親子が楽しそうに作業していた。実施前と後の掃除や消毒に時間がかかった。	保護者4名・園児4名・保育士5名	福祉保健課健康推進係
オホーツク	興部町 食育(健康教育) 興部保育所・沙留保育所	・子どもの食への関心を育み「食を営む力」の基礎を培い、子ども達が大人になっても健康で質の高い生活を送ることができるように支援する。	対象者:保育所通所1~5歳児 時期:各保育所年1回(今年度は各保育所2月に実施) 場所:興部保育所・沙留保育所 内容:赤・黄・緑の食べ物~何でも食べて元気な体を作ろう~ 手洗い~自分の体を病気から守るために大切な事~ 感想:年齢の幅があるが、話の中で次々と色々な食べ物や、道具が出てきたので未満児も最後までその場にいることができているのでよかった。給食前やおやつの前に手洗いの話を思い出して丁寧に手を洗っていたのでよかった。	興部保育所 園児24名・保育士5名 沙留保育所 園児22名・保育士4名	福祉保健課健康推進係
十勝	帯広市/ 畑づくり(公立保育所)	児童が作物を育てることに興味を持ち、収穫する喜びを味わう。	春~秋にかけて、各公立保育所で実施 育てる作物は保育所ごとに決めている。	不明	市民福祉部 こども福祉室 こども課
十勝	帯広市/プラザ・エンジョイス クール	料理講座を通じて食育を推進し、市民が生涯にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう、啓発していくもの。	・講座名:家庭料理 ・対象:高校生以上 ・時期:年間5回開催(令和2年:7/17、8/15、9/12、11/15、12/15) ・場所:とちかプラザ(帯広市西4条南13丁目1番地)	74人	生涯学習部 生涯学習文化室 生涯学習文化課
十勝	音更町/ おおそでくんキッチン ランクアップおおそでくん 加工教室の開催 音更こども体験隊 幼児家庭教育学級(ママとパパの講座)	1おおそでくんキッチン 地場食材を中心とした「料理」という体験を通じて「食」への関心を高めるとともに、子ども達に自信や達成感を与え、協調性を学ぶ場とすることを目的とする。 2ランクアップおおそでくん 「おおそでくんキッチン」の参加者(卒業生)を対象に、難易度を上げた料理を行い、「もう一つ上」を目指す。 3加工教室 音更産の食材を使った加工教室を開催することで町内産農畜産物を身近に感じてもらうとともに地産地消を推進することを目的とする。 4音更こども体験隊 5幼児家庭教育学級(ママとパパの講座) 生涯学習の一環として、農作業体験を行い、音更町の基幹産業である農業や農産物について学んでもらうことを目的とする。	1おおそでくんキッチン 開催回数:※新型コロナウイルス感染症防止対策の為、中止。 場所:音更町ふれあい交流館 対象:年中児~小学校1年生 2ランクアップおおそでくん 開催回数:※新型コロナウイルス感染症防止対策の為、中止。 場所:音更町ふれあい交流館 対象:小学校2年生~4年生 3加工教室 開催回数:年8回※新型コロナの為、1回中止。 場所:音更町ふれあい交流館加工室 内容:うどん、ソーセージ、チーズタルト、パン、和食 ※一部、教育委員会と共催 4音更こども体験隊 5幼児家庭教育学級(ママとパパの講座) 生涯学習の一環として、「ふれあい農園」においてとうもろこしや音更大豆などの播種、除草及び収穫を行う。	1おおそでくんキッチン:0名 2ランクアップおおそでくん:0名 3加工教室:48名 4音更こども体験隊:19名 5幼児家庭教育学級:10名	1. 2. 3 経済部ふれあい交流館 4. 5 教育委員会教育生涯学習課
十勝	上士幌町 食品加工研究会	食品加工を通じて、地域の食材への理解を高める。	会場:上士幌町食品加工センター(上士幌町) ソーセージ加工(令和2年7月18日) 10名	10名	農林課(上士幌町食品加工センター)
十勝	新得町/転ばん塾・屈足バランス 教室栄養教室	①正しい食生活や健康づくりに関する知識の普及	●内容:高血圧の予防と減塩について栄養講話、試食提供 ●実施日:6/23、6/24 ●対象者:高齢者 ●試食:減塩の味噌汁	15名	保健福祉課在宅支援係・健康推進係
十勝	新得町/離乳食教室	①離乳食の作り方と進め方を理解する。	●内容:離乳食の調理実習、形態の変化、味付け等に関する栄養講話 ●実施日:6/25 6/26 1/28 ●対象者:3ヶ月~10ヶ月児と保護者 ●試食:初期・中期・後期・完了期の離乳食	12組	保健福祉課健康推進係

振興局名	市町村名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
十勝	中札内村/七色献立プロジェクト「食育体験教室」	地域の生産者との協働により、地場産野菜への理解と思い入れを深め、地域での野菜の消費拡大を目指す。	日時:令和2年8月22日 場所:村内農場(2か所) 対象:村内在住の保育園年長~小学生と保護者 内容:農協青年部の協力により、トウモロコシと枝豆の収穫体験、トラクター見学を実施した。	17	福祉課保健グループ
十勝	大樹町/農業体験	地産地消を基本に児童に対して五感を刺激する体験等を通じて食への関心を育み、食べることの大切さや町の基幹産業である農業・水産業について理解を深め、健康で元気な子どもを育成する。	5月:種植え(コロナの影響で職員のみで行った) 9月:収穫し調理して美味しく食べた	17	保健福祉課 児童保育係
十勝	幕別町/男の料理教室	・健康で自立した生活を送るために、よりよい食生活の知識と調理技術を身につける。 ・旬の地場農産物を取り入れて、薄味でおいしい健康食をすすめる。	時期:8/24(札内地区10人参加)、9/15,11/17(忠類地区9人参加) 場所:札内(百年記念ホール)、忠類(ふれあいセンター福寿) 内容:コロナ対策を行い、幕別町食生活改善協議会の協力のもと実施。旬の野菜をたっぷり食べられる工夫や電子レンジや缶詰などを使った手軽な料理を中心に、栄養バランスよい簡単な健康食を紹介した。家族に作り喜んでもらった、簡単なので数回作ってみたなどの声も多く好評であった。	町民(男性のみ) 19名	住民福祉部保健課・ 忠類総合支所保健福祉課
十勝	幕別町/ロコモ&低栄養予防教室	・低栄養予防のために、しっかりと食べる大切さを伝える。 ・手軽な筋力アップ運動を実践し、生活に取り入れてもらえるよう働きかける。	時期:10/26(札内地区9人)、10/28(幕別地区4人) 場所:札内(百年記念ホール)・幕別(保健福祉センター) 内容:コロナ対策を行い、幕別町食生活改善協議会の協力のもと実施。旬の野菜をたっぷり食べられる工夫や主菜の摂り方を学び、手軽な料理を中心に栄養バランスよい簡単な健康食を紹介した。食事と運動を組み合わせることの大切さを伝え、簡単な筋力アップ運動を紹介し、調理しながら運動を取り入れた。運動は家の中で簡単にできるものなので家庭でも取り入れていけそうという声も多く好評であった。	町民13名	住民福祉部保健課・ 忠類総合支所保健福祉課
十勝	農業体験塾	・町内の小中学生を対象に農業体験、収穫体験、加工体験を実施することにより、農業の大切さや食の安心安全について理解を深めよう。	時期:9/5 場所:幕別町試験圃場 内容:農業体験(収穫、収穫物の加工)。 令和2年度は、枝豆と馬鈴薯、コーンの収穫を行い、収穫した食材を調理、試食した。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年5月に行っていた酪農体験及び作物の播種作業体験を中止とした。	町内の小学生7名	経済部農林課
十勝	池田町/栄養ミニ講座	・乳幼児の母親たちへの食生活に関する学習の機会とし、家族全体の生活習慣病予防を図る。	□対象:乳幼児を育児中の保護者 □場所:池田町保健センター □時期:令和2年11月 □講師:池田町保健センター管理栄養士 □内容:栄養の話(幼児食のよくある悩みについて)	親子9組	保健子育て課(保健センター)
十勝	池田町/食育教室	・子どもたち自身が食べ物の働きや大切さを理解し、食に興味を持つことができるよう、及び保護者が食の大切さを認識し、家族全体がよりよい食生活を送ることができるよう支援する。	□対象:町内の幼稚園・保育所の子ども □場所:幼稚園・保育所 2施設 □時期:令和3年2月 □講師:池田町保健センター管理栄養士 □内容:紙芝居などを使ったお話(食事のバランスについて)	27人	保健子育て課(保健センター)
十勝	本別町/子ども体験教室	お菓子作りを通じて、物づくりの楽しさを学び、食への関心を高める。	2020/12/7(土) 本別町農産物ものづくり館(ゲンキキッチン) お菓子作り(フィナンシェ、ボンデ・ケーキ) 新型コロナウイルス対策のため、募集人数を減らして実施しています。 参加者から楽しかったという声が聞かれ、保護者にも試食をしていただき、好評を得ることができました。食への関心を高めることができました。	11人	教育委員会社会教育課
釧路	釧路町/つくし保育所子育て支援センター「赤ちゃん教室」	乳児期に健やかな生活習慣、利用できる社会資源等を知り、また、地域の保護者同士のつながりを持つことで、子育て期の孤立化を防ぐ。	令和2年10月2日(金) 釧路町保健福祉センターあいばーる栄養・調理研修室、会議室 タイトル「見て、食べてわかる! 離乳食のすすめ方」 講師 町臨時管理栄養士 参加者 乳児とその保護者 メニュー ・大根と人参の味噌煮 ・豆腐の牛すぼろ煮 ・おかゆ ※栄養士以外にも、別日程で助産師、保健師、保育士が講師となる教室	4組8名	健康福祉部こども健康課母子保健係
釧路	標茶町/標茶中央学校給食共同調理場主催事業「子どもと学校給食調理員との調理実習会」	子どもと学校給食調理員との調理実習を通して「食べ物と食生活の大切さ、を学び、「食事をつくる楽しさを体験、して、日常の学校給食をより楽しいものとするために、子どもと給食調理員との「ふれあい」を深め、「食」に関する知識と、選択する力を習得する「食育」を推進することを目的とする。	<実施日> 令和2年12月21日(月) <会場> 標茶町立 沼幌小学校 理科家庭科室 <参加対象> (1) 調理実習 19名(児童 14名、教職員 2名、栄養教諭 1名、給食調理員 2名) (2) 試食会 36名(児童 23名、教職員 9名、調理場 4名) <調理献立> ビーフカレーライス、フルーツ白玉 <実習日程> (1) 9:30 準備開始 (2) 10:15 開会式 (3) 10:20 実習開始 (4) 12:15 試食会開始、食育の時間 (5) 12:45 食器洗浄、清掃等	36名	標茶中央学校給食共同調理場
釧路	標茶町/標茶高校と連携した食育推進事業「小学生の標茶農園体験」	標茶高校で生産された野菜等を学校給食で提供するにあたり、その食材となる野菜を子どもたち自ら標茶高校の農園で高校生との交流を通して育てることにより、地域(地元の高校)の良さを理解させ、関心をもたせるとともに地域への愛着や誇りを育み、もって食に関する知識の習得と地産地消の意識向上を図ることを目的とする。	①小学生の標茶農園体験はコロナ禍の影響で未実施。 ②標茶高校産野菜を使用したカレーライスの提供 <実施日> (1)令和2年8月31日(月)、9月30日(水)		標茶中央学校給食共同調理場

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
釧路	弟子屈町川湯保育園	園児に楽しく食べることを知る	野菜を育て収穫料理して食べるまでの体験 10/14 カレー作り クリスマス行事の一環としての調理実習 12/24 ケーキ作り 年長児の調理体験 7/8 オニギリ作り/2/18 アイスクリーム作り/3/16 カリカリピザ作り 3/24 タコ焼き作り	延べ44人	健康こども課 (川湯保育園)
釧路	弟子屈町 乳幼児の保護者向け調理実習	保護者が我が子に食に興味を持てるような関りができる	9/17 ホテルシェフの調理実習/4組(親4人、子5人) 10/13 ホテルシェフの調理実習/5組(親5人、子6人) 11/12 チキンライスのおムレツ添え/6組(親6人、幼児6人) 3/16 フライパンでつくる肉まんとおまん/4組(親4人子4人)	延べ40人	健康こども課 (健康推進係)
釧路	弟子屈町 学童向け調理実習	食への興味・関心を育む	9/24・9/28 川湯小学校/栄養バランスの話、調理実習/8人 12/2・12/10 川湯小学校/食べ物の栄養と簡単な朝食づくり/延36人 11/30・12/5・12/7 奥春別小学校/お弁当作りの授業/延12人 9/17 美留和小学校 ホテルシェフの調理実習/9人 12/25 美留和小学校 野菜の栄養について、調理実習/延5人 7/1 放課後児童クラブ おやつホットケーキの提供/73人 9/16・17 放課後児童クラブ ホテルシェフの調理実習/19人 10/12・13・14 放課後児童クラブ ホテルシェフの調理実習/49人 10/27 放課後児童クラブ おにぎりづくり/76人	延べ287人	健康こども課 (健康推進係)
釧路	弟子屈町 生徒向け調理実習	食への興味・関心を育み、自ら食事を選択できる	10/14 弟子屈高校調理実習 ホテルシェフの調理実習/12人 2/15、17 子供のおやつを作ろう/45人	延べ57人	健康こども課 (健康推進係) 給食センター
釧路	弟子屈町 成人に向けた調理実習	疾病に留意し、食の楽しみを継続できる	7/21 泉老人会 高齢者の食事について、調理実習 30人	延べ30人	健康こども課 (健康推進係)
釧路	弟子屈町立川湯小学校(5・6年)／栄養指導	栄養バランスと副食メニューについて考える	令和2年9月10日(木)、24日(木) 【学級担任及び学校栄養教諭による指導】 1)副食メニューの調理実習 2)栄養バランスについて	延14人	給食センター
釧路	白糠町	・調理をしながら「食」に関心をもつ。 ・食べ物の働き、好き嫌いをしないで食べることができる。	対象:認定こども園(2園)に通園している年長児 時期:令和2年10月、11月 概要:講話 * 食べ物の働き 調理実習 * カレーライス	34名	介護健康課
根室	根室市／野菜栽培	野菜の栽培・収穫・調理に関する活動によって、食への興味、食物を育てる楽しさ、自然の恵みに感謝する気持ちを育てることを目的とする	開催時期:令和2年5月～10月 開催場所:公設保育所園庭等 栽培した野菜:スナップエンドウ、赤かぶ、パプリカ、じゃがいも、人参、ミニトマト、キュウリ、とうもろこし等	187名	市民福祉部こども子育て課
根室	標津小学校、川北小学校 「酪農体験学習」	・標津町の基幹産業である酪農について、自ら体験をしながら学習し、理解を深める。 ・酪農、漁業の仕事の大変さ、生産から消費者の口にはいるまでの過程をふるとして学習として実施。	時期 11月 場所 各学校 内容 農業者の講話、酪農運動会、乳製品づくり体験	50名	標津町教育委員会生涯学習課
根室	標津中学校 「酪農体験学習」	・標津町の基幹産業である酪農について、自ら体験をしながら学習し、理解を深める。 ・酪農、漁業の仕事の大変さ、生産から消費者の口にはいるまでの過程をふるとして学習として実施。	時期 2月 場所 各学校 内容 農業者の講話、牛乳を使った調理実習	30名	標津町教育委員会生涯学習課

(2) 食育の啓発に関わる事例
イ フォーラム・セミナー等を通じた啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
根室	根室市 ・パパママ学級	妊娠期を食育のスタートと捉え正しい食習慣を身につける 妊娠期に必要な食事について理解する	・対象者 初産の妊婦とパートナー ・講師 市保健師・市管理栄養士・市立根室病院助産師 ・内容 食育が含まれる講座は4講座中2講座。年4回実施。 1講座:妊娠期・授乳期の食事(講義) 4講座:新ママ交流会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施回数1回 ・動画配信 新型コロナウイルスによる中止や仕事等で欠席される方を対象に市で作成した講座動画の視聴を案内。 ・課題 参加率が低いこと。	9名	市民福祉部保健課
根室	根室市 ・離乳食教室	月齢に応じた食形態について学習する	・対象者 初産のお子さんをお持ちの保護者 ・講師 市管理栄養士 ・開催日 毎月1回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施回数は4回(4,5,6,9,12,1,2,3月は中止) ・内容 離乳食の始め方、進め方等について ・課題 離乳食中期～後期で離乳食に対して悩みを抱える保護者が多い。	16名	市民福祉部保健課
根室	市内全保育所・保育園・幼稚園 ／食育劇	朝食の大切さやバランスのよい食べ方について伝え、朝食欠食率の減少と野菜摂取率向上に繋げる。	・対象者 保育所通所児、幼稚園児 ・内容 食育劇上映、食育だよりの配布、食育アンケートの実施 ・園児の反応 劇中は、苦手な食べ物を残そうとする主人公に注意したり、苦手な食べ物を食べる主人公を応援するといった様子がありました。観劇後は、「朝ごはん食べてくる」、「野菜も食べる」といった反応がありました。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各園へオリジナル食育劇DVDを配布しそれぞれの園で上映。園児の反応は各園の保育士・幼稚園教諭に聞き取り。	633名 (食育だよりの配布人数)	市民福祉部保健課
根室	羅臼町 離乳食教室	望ましい離乳食の進め方と、その実際(食品の選定とその調理法、形態など)を知り、乳汁栄養から離乳食、幼児食への移行が適切にできることを目的とする。	開催月:8, 11, 2月 午前・午後 年6回 対象者:スタート編2～4か月児とその母親、ステップアップ編9～11か月児とその母親 内容:スタート編:離乳食の進め方についての講話/離乳食の作り方/保健師による育児相談・計測 ステップアップ編:月齢にあった離乳食について及び歯科衛生士による歯科指導をパワーポイントにて講話・相談	13名	保健福祉課
根室	羅臼町教育委員会 家庭教育学級	食育に関する知識の習得や食に関する適切な判断力を養い、生活習慣を整えるケア行動がとれる人材育成を目指す。	◎就学時検査時の待ち時間を利用した家庭教育学級 内容:羅臼町内小学校(2校)で実施する就学時検査時の待ち時間に行う健康教育。健康的な発育を促すための生活習慣について、20分程度の講話。 令和2年度は「なぜ食事は1日3食?」というテーマで講話。 日時:8月27日 9月1日 対象:次年度新入学児童を持つ親	31名	羅臼町教育委員会 社会教育課
根室	羅臼町教育委員会 家庭教育学級	食育に関する知識の習得や食に関する適切な判断力を養い、生活習慣を整えるケア行動がとれる人材育成を目指す。	◎羅臼町高校家庭科授業講師対応 内容:家庭科教科書に記載の乳児・幼児の食生活の内容について、乳汁栄養から離乳食・幼児食までの流れの講話と、実際に調理と試食を体験してもらい、プレ親期への気持ちの準備や動機付けを図る。 日時:7月28日 対象:高校1年生	40名	羅臼町教育委員会 社会教育課

(2) 食育の啓発に関わる事例
ウ 広報誌・ホームページ等を活用した啓発

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
空知	広報あしべつ「食育だより」	市の広報を通じて、食育に関する情報や市内の食育取組事例を紹介し、広く食育を推進するとともに食育への関心を高める。	広報あしべつ「食と健康のひろば」に年6回掲載 (健康推進係、農政係、生涯学習係、子どもセンター保育園、学校給食センター、芦別地区栄養士会) 行政や食育関係団体の食育取組みの様子を具体的に明示し、食育への関心を高められるよう努めている。記事では写真やイラスト等をいれて、読み手にイメージしてもらいやすい様に工夫をしている。	市民福祉部健康推進課健康推進係
空知	赤平市 広報あかびら	健康的な生活のために広く市民に周知する	市民の食生活を様々なデータを基に分析し、傾向や改善方法等を周知する。 R2年度 ①7月号 食中毒予防 ②9月号 免疫力を高めよう ③1月号 身体の栄養を良好に保とう	介護健康推進課
空知	赤平市 歯みがき教室	虫歯予防のための間食・食事方法を啓発する	幼稚園児・保育所に通う2～5歳児の保護者に対し、書面にて啓発を実施 R2年度 さかなを食べて丈夫な歯をつくろう	介護健康推進課
空知	滝川市 広報たきかわ 健康レシピ	市の広報誌を通じて、季節に応じた地産地消レシピの提供を行う。	5月号 アスパラと卵の塩こうじサラダ 7月号 SOS! 牛乳チャレンジ 牛乳寒天 9月号 旬の大根サラダ 11月号 かぼちゃの種を食べてみよう 1月号 ほうれん草と肉団子のしょうがスープ 3月号 焼き長いもの納豆じょうゆかけ	健康づくり課 企画課
空知	滝川市 図書館展示	減塩を主とした啓発を図書館を使用し行い、広く食育への関心を高める。	食育月間に合わせた展示を実施 5月28日～6月23日	健康づくり課 社会教育課
空知	滝川市 FM G-Sky	FM放送を利用し食育の意味を知り、関心を高める。	「食育とは?」「どんなことをするの?」などを、パーソナリティと対話方式で放送。 放送日 令和3年3月12日	健康づくり課
空知	深川市 市ホームページ及び広報紙掲載 「食品ロスを減らしましょう」	食品ロスに対する理解と関心を深め、食品由来の廃棄物の減量を推進する。	・食品ロスを減らす取り組みについて、ホームページ及び市広報紙により啓発。 ・啓発チラシを作成し、環境課所管のイベントにおいて配布。 ・全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会に参加し、先進的な取り組みについて情報収集を行う。 ・食品ロス削減月間(10月)に市内スーパー・小売店に対し、「家庭でのおいしい食べきり全国キャンペーン」ポスター掲示を依頼。	深川市建設水道部 環境課
空知	深川市 市ホームページ及び広報紙掲載 「早寝早起き朝ごはん」	子どもの望ましい生活習慣の定着を図るため、学校・家庭・地域と連携し「早寝早起き朝ごはん運動」の推進に努める。	早寝早起き朝ごはん運動の推進 ・オリジナル啓発資料の作成及び生活リズムチェックシートの配布 ・ホームページ掲載 ・各種団体への周知及び連携	深川市教育委員会 生涯学習スポーツ課
空知	南幌町 なんぼろレシピ本	レシピ本を作成し、町内の食育への関心を高めるとともに、町外への南幌町の農産物のPRを行うため	本町産農産物を使った町民考案レシピや本町農産物のPRを掲載したレシピ本を作成し、町内の施設やお店に設置するとともに、町内外でのイベント等で活用し、南幌町のPRを行っていく	産業振興課
空知	栗山町 広報くりやま「今月のいただきます」	旬の農産物を使用したレシピを提供することにより、健康及び地産地消を意識してもらう。	【時期】4月～3月の計12回 【内容】美味しく栄養バランスの取れた、地産産食材を使ったレシピを町の管理栄養士が考案し、町広報の「くらしのカレンダー」に連載	住民保健課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
空知	新十津川町 広報しんとつかわ 「こんにちは、ヘルスメイトです」	町の広報誌を通して、食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る。	【時期】12月、3月の計2回 【内容】食生活改善推進員協議会の活動内容の紹介と、事業の中で実施したメニューの中から、特に町民におすすめてほしいメニューを掲載。	保健福祉課健康推進グループ
空知	新十津川町 広報しんとつかわ 「健康だより」	町の広報誌を通して、食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る。	【時期】保健師と栄養士で分担して、毎月掲載。栄養士が担当時に、食に関する内容を掲載。 【内容】 4月:ご存じですか？嘔下(えんげ)障害 7月:腸炎ビブリオの食中毒に注意しましょう 12月:免疫力を高めよう! 1月:糖尿病性腎症を予防しましょう	保健福祉課健康推進グループ
空知	新十津川町 プレス空知 (中空知地域の新聞) 「体にやさしい健康レシピ」	食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る。	【時期】4～3月の中で、計7回 【内容】食生活改善推進員協議会が考案したレシピの中からおすすめのレシピを掲載。	保健福祉課健康推進グループ
石狩	札幌市/ 札幌市公式ホームページ 食育情報	市民の食育への関心を高め、広く情報を提供する。	・札幌市食育推進計画・取組 ・食育活動紹介 ・食育・イベント活動紹介投稿 ・サポーター紹介・募集 ・栄養成分表示の店 ・食育・栄養関連資料 等	保健福祉局 保健所 健康企画課
石狩	札幌市/ 札幌市公式ホームページ さっぽろ子育て情報サイト 保育園の食育・レシピ集	乳幼児期からの望ましい食習慣形成のための情報を提供する。	・保育園の食育取組事例紹介 ・食育資料集(ポスター、リーフレット等) ・保育園のレシピ紹介 ・ラクラク離乳食紹介 など	子ども未来局 子育て支援部 子育て支援課
石狩	札幌市/ 札幌市公式ホームページ おうちでエコサイズ～食品ロスの削減～	食品ロスの削減をテーマにしたキャンペーン情報を提供する	・啓発動画(定期的な冷蔵庫整理、商品の手前取り、賞味期限と消費期限の違い、リメイク料理活用を周知・呼び掛け) ・啓発パンフレット	環境局 環境事業部 循環型社会推進課
石狩	札幌市/ Facebookページ さっぽろコミュニケーション	食品ロスの削減をテーマにしたキャンペーン情報を提供する	・啓発動画(定期的な冷蔵庫整理、商品の手前取り、賞味期限と消費期限の違い、リメイク料理活用を周知・呼び掛け) ・食品ロス削減に関するコラム、リメイク料理レシピ紹介	環境局 環境事業部 循環型社会推進課
石狩	札幌市/ 札幌市公式ホームページ 事業系生ごみの削減	食品ロスの削減に関する取組情報を提供する。	・おいしい食べきり運動「2510(ニコッとスマイル宴(うたげ)」の紹介 ・ドギーバッグを使用した食べ残しの持ち帰り運動の紹介 ・啓発パンフレット、動画	環境局環境事業部事業廃棄物課
石狩	江別市/食育だよりの発行	市立保育園の園児の保護者に対して食育の重要性を啓発する。	年2回、保護者全員に対して食育だよりを配布する。	健康福祉部子ども育成課
石狩	千歳市 食育パネル展	食育事業に係る関係部署と連携を図り、食育をテーマにしたパネル展を開催することにより、市民が食育の重要性及び食に関する正しい知識について理解を深めてもらう。	【開催期間】令和2年6月15日(月)～19日(金)(食育月間) 【展示場所】千歳市総合福祉センター1階ロビー 【開催内容】1 食育事業に係る関係部署、関係団体の食育の取組について紹介するパネル展示 2 食と健康づくりに関するパネル展示、リーフレットの設置 3 第3次千歳市食育推進計画書概要版の設置、千歳市食育推進マークのPR	保健福祉部 健康づくり課
石狩	千歳市 生ごみ堆肥化啓発 生ごみ処理機等購入費助成事業	家庭ごみの減量	・「段ボール生ごみ堆肥化セット」の配布 ・「電動生ごみ処理機」、「コンポスト」等の購入費の助成	市民環境部 環境センター 廃棄物対策課
石狩	千歳市 千歳市ごみ減量アイデア集	家庭ごみの減量	食品廃棄物を含む、家庭ごみの減量に関するアイデアを市民から募集して作成した千歳市ごみ減量アイデア集をホームページに掲載	市民環境部 環境センター 廃棄物対策課
石狩	千歳市 千歳市ホームページ 「公設卸売市場」	市場の情報や野菜・果物など、食に関する情報の提供	・旬の食材紹介 ・市場紹介 ・関連行事 など	産業振興部 千歳市公設卸売市場
石狩	恵庭市 「食育だより」の発行	食生活に関する情報や「食」の問題を取り上げ、正しい「食」の知識、不足しがちな栄養素を補う献立などを紹介した資料を全家庭に配布する。	回数:年12回 毎月の給食だよりの裏面に掲載(毎月学校をととして児童・生徒へ配布) 恵庭市のホームページに掲載	教育部 学校給食センター
石狩	恵庭市 「食育教室」の開催	地域の方々へ食育を推進していくために、子供たちに向けて「食育教室」を実施する。	例年、恵庭市学校給食センターと北海道文教大学の共催で、市内小中学校を通して児童・生徒に「食育教室」の開催案内を配布しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染防止の観点から「食育教室」を中止した。その代わりに今年度は過去の食育教室のレシピを恵庭市のホームページに掲載し、興味のある人に自宅でチャレンジできるようにした。	教育部 学校給食センター

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
石狩	北広島市 広報誌9月1日号特集	食育に関する言葉や意味を理解し、認知度の向上につながるよう、市民へ周知を図る。	【テーマ】新しい生活様式に食育を 【内容】 免疫力を高める食材について 食品ロスについて バランスのとれた食事について	保健福祉部 健康推進課
石狩	当別町 野菜350g普及事業	生活習慣病予防に効果的な野菜350gを摂取している住民の割合が少ない現状に対し、1日に必要な野菜摂取量とその必要性について伝える	8月31日「野菜の日」にちなみ、広報とうべつ8月号に野菜の効能や手軽に調理できる野菜レシピを掲載。レシピについては、当別町食生活改善協議会と協働で作成。	福祉部保健福祉課健康推進係(当別町食生活改善協議会と協働で記事作成)
石狩	当別町 レシピカードの周知	生活習慣病予防に必要な1日350gの野菜摂取をサポートする手段として実施	町内の施設3カ所にレシピカードの設置と町ホームページにも掲載。野菜の調理方法を紹介し、野菜摂取の普及啓発を図る。レシピについては当別町食生活改善協議会と協働で作成。	福祉部保健福祉課健康推進係(当別町食生活改善協議会と協働で作成)
石狩	新篠津村／栄養士の健康一番	食育情報提供	○概要: 広報誌による食育情報提供 「自然免疫力を高めよう」(食事バランス)	住民課
胆振	登別市 健康通信☆きらり	こころとからだの健康づくりに関する知識の普及を図り、市民の主体的な健康づくり意識を醸成すること	令和2年12月1日「冬季うつ病を防ぐ生活習慣」 ◇概要 健康通信の食に関する記事の作成	登別市保健福祉部健康推進グループ
胆振	伊達市	栄養バランスの良い食事と規則正しい生活が、免疫力の維持に重要であることを理解し、自分や家族の生活習慣を見直す機会とすることや、食育月間及び食育パネル展の周知により、食育への理解と関心を高めることを目的としている。	伊達市広報6月号で、食育月間と食育とは何かの周知。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う自宅で過ごす時間の増加から食生活の見直しの注意喚起。 食育パネル展の開催を同広報と北海道新聞、室蘭民報にて周知。	健康推進課
胆振	伊達市	栄養バランスの良いレシピを知り、免疫力の維持やフレイル予防のために、自身の食生活を見直す意欲をもつことを目的とする。	市ホームページにて、食生活改善推進員のおすすめレシピを掲載。コロナ禍において自宅で過ごす時間が増えていることから、家庭における食生活の見直しを促した。また、食事と運動でフレイルを予防することを目的に、フレイルに関する情報を市ホームページに掲載した。	健康推進課
胆振	白老町	食に関する正しい知己の普及啓発	・町広報誌に、災害時の食についての記事掲載 ・保健センター内での減塩やフレイル予防に関する啓発物の展示 ・町公式ホームページにて減塩やフレイル予防など様々な食のテーマに関する記事掲載	健康福祉課/危機管理室
胆振	厚真町広報誌健康情報	歯と食育、野菜摂取量増加啓発	【内容】5月号:ベジアップレシピ掲載 6月号:いつまでもおいしく食べるために 8月号:ベジアップレシピ 10月号:ベジアップレシピ 12月号:健康維持のために野菜を多く 1月号:ベジアップレシピ	厚真町住民課健康推進グループ
胆振	むかわ町／食品ロス削減の取組周知	食べ残し対策の周知と協力依頼	R2年12月～R3年1月 職員向けに、年末年始の食べ残し対策「どさんこ愛食食べきり運動」を周知し、実践への協力依頼を行った。	産業振興課
日高	日高町 広報日高(8・9・10・12月号)	食に関する情報提供	食中毒喚起、食品衛生月間、日高の牛乳を飲もう！プロジェクト、日高町元気はつらつ3か条、新しい生活様式における食事のポイント、食品ロスについて周知 8月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachment/9607.pdf http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachment/9695.pdf http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachment/9611.pdf 9月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachment/9678.pdf 10月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachment/9778.pdf 12月号 http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/uploaded/attachment/9892.pdf	健康増進課
日高	平取町 食育だより(町発行広報誌への不定期記事掲載・チラシ折込等)	食育に関する情報提供 町内で取組まれている食育推進事業の紹介・周知	回数:2-3回/年 内容:町内の食育活動・取組紹介、報告 食育に関する情報提供 旬食材レシピ	保健福祉課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
日高	様似町 「広報さまに」での普及啓発	町の広報誌を通じて、食に関する情報の普及啓発を行い、食育への関心を高める。	【時期】偶数月(年5回) 【内容】「おうちで作ろう！簡単おやつレシピシリーズ」 6月「トマトと桃のゼリー」 8月「バナナとココアのヨーグルトアイス」 10月「かぼちゃキャラメル」 12月「人参スコーン」 2月「簡単バスク風チーズケーキ」	保健福祉課
日高	様似町 様似町食育協議会 「エブロンだより」の発行	様似町食育協議会活動の一環として、食育の普及啓発を行い、町民の食への興味・関心を高める。	【時期】年2回(8・2月) 【内容】①昆布について知ろう！ 昆布料理・昆布水レシピの紹介 ②免疫力を高める食事について 免疫力アップレシピの紹介	保健福祉課
日高	えりも町 広報誌「こんにちは栄養士です」	食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る	【時期】不定期 年3～4回 【掲載内容】5月号:「食べ物の力を借りて免疫力を高めよう」、 10月号:「10代の頃から骨を強くする食生活をしよう」、 3月号:「えりも町食生活改善推進員協議会 惜しまれながら活動を終える」	保健福祉課保健指導係、予防係
日高	「19日は食育の日」ホームページへの掲載	子育て世代の家庭における望ましい食習慣や知識の習得	子どもの食育に関する情報とレシピを毎月掲載	保健福祉部健康推進課
渡島	函館市／ ツイッター等による食育	食育月間の普及啓発	広報誌、ツイッター、ホームページ、ラジオ放送を利用し、食に関する情報の発信した。	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／ 「はこだて市民健幸大学 「家で学ぼう！！健幸チャンネル」	健康寿命の延伸及び「食で健康なからだをつくる」を推進する。	「楽うまレシピ」の紹介や健幸講座(録画)や運動動画等をWebで配信した。	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／ 「はこだて市民健幸大学「Webサイト 家でチャレンジ！！健幸ラーニング」	健康寿命の延伸及び「食で健康なからだをつくる」を推進する。	函館市民の健幸づくりをテーマに在宅でも楽しみながら学べるクイズをWebで配信した。	保健福祉部健康増進課
渡島	函館市／ 令和2年度食生活改善普及運動	家庭での食生活改善の重要性の普及・啓発	小売店や飲食店等に対して本運動を周知し、地域住民へ啓発ツールを活用した食育の普及啓発、広報媒体等を使った周知啓発を行った。	保健福祉部健康増進課
渡島	七飯町／ 広報誌「広報ななえ」、ホームページによる食育の普及	健康及び食育の普及・啓発	広報誌、ホームページを活用し、食に関する情報を発信した。	子育て健康支援課
渡島	七飯町／ 令和2年度食生活改善普及運動	食生活改善の重要性の普及・啓発	食生活改善普及運動月間に、町内にあるコンビニやスーパー等の小売店及び道の駅に対して本運動を周知し、地域住民へ啓発ツールを活用した食育の普及啓発を行った。	子育て健康支援課
檜山	江差町	減塩レシピ、地産産食材を活用したレシピの周知。	町広報紙に年2回程度、減塩レシピ、地産産食材を活用したレシピを掲載し、減塩でも美味しいレシピの紹介。	健康推進課
檜山	上ノ国町 広報誌を活用した普及啓発	広報誌に食育関係記事を掲載することで、正しい食の知識普及を目的とする。	【題名】 ①味噌汁の塩分濃度を測ってみませんか ②コロナに負けないからだづくり	保健福祉課
檜山	今金町 学校給食センターのホームページにて毎月の給食だよりと予定献立表を公開	毎月予定献立表を各家庭に配布しているが、文字だけではどのような献立かイメージがつかないため、写真を振り今金産食材の使用内容を掲載することで、児童生徒がどのような給食を食べているのか広く知っていただくことを目的とする。	予定献立表については、給食センターで提供している給食の写真を撮り、カレンダー形式の様式に写真を貼りつけホームページに掲載する。 給食だよりについては、原本をそのまま掲載している。 また、今年度より地元スーパーにも掲示させて頂いている。	今金町学校給食センター
檜山	今金町 食育事業を行った直後の町の広報誌にて各食育事業の内容を紹介。	今金町においてどのような食育事業を行っているか町民の方々に知ってもらうことを目的とする。	○広報いまかね11月号 ・今金黒毛和牛を使った給食の日(10月12日実施) ○広報いまかね12月号 ・ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日(11月13日実施) ○広報いまかね1月号 ・洋食マナー教室(12月6日実施)	今金町学校給食センター くらし安心課
檜山	今金町 今金町広報誌 「栄養士ネットワーク掲示板」	専門性を生かした幅広い栄養に関する情報の提供によって、町民の食への関心を高め食育の普及啓発を図る。	活動:町内9施設に所属する管理栄養士、栄養士で構成された今金町栄養士ネットワーク活動の一つである。 【内容】 ・今金産の食材をメインとしたレシピ、季節に合わせた講話を毎日輪番で担当し掲載している。 ・1年間の原稿を集約した「栄養士ネットワーク掲示板レシピ集」を作成し食育の普及啓発を行っている。	今金町保健福祉課 くらし安心課
檜山	せたな町 広報せたな「保健師/栄養士からの健康アドバイス」	保健師や管理栄養士による栄養や健康に関する記事を広報に掲載し、町民の健康維持に役立てる。	毎月、健康や栄養に関する記事を掲載。 ○内容 ・コロナ太りしないように～間食を見直してみよう～ ・ヘルシー料理教室を開催しています (コレステロールに関する話・タコライスレシピ掲載)	保健福祉課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
檜山	せたな町 広報せたな「栄養士のおすすめ料理」	行事食についてや、旬の食材に関する記事を掲載し、町民に行事食について理解してもらう。	令和2年8月号より掲載。行事食や旬の食材に関する記事を掲載。また、旬の食材を使用し、行事食にちなんだレシピを掲載。 ○ 内容 ・8月31日は野菜の日(温カブレーゼのレシピ掲載) ・十五夜にお月見団子を！ (かぼちゃでつくるお月見団子のレシピ掲載) ・もう1つのお月見～十三夜～ (栗ときのこの炊き込みご飯のレシピ掲載) ・11月23日は勤労と食に感謝をする日 (ねぎ塩ごま油鍋のレシピ掲載) ・正月疲れを癒す春の七草 (鶏むね肉入りみぞれ七草がゆのレシピ掲載) ・健やかな成長と幸せを願うひなまつり (3色手まり寿司のレシピ掲載)	保健福祉課
檜山	せたな町 ホームページ 「せたなの食材図鑑」	町内で生産される食材の基本的な知識や町内での歴史などを紹介し、地元の食材を身近に感じてもらうことで、地産地消につなげていく。	毎月発行される広報誌で、旬を迎える海産物や農産物について食材としての知識のほか、町内での歴史や栽培・収穫の方法や農漁業者が行っている工夫などを発信(広報掲載:平成27年12月～平成30年3月まで)。過去掲載していた広報の記事をまとめ、せたな町ホームページに掲載。 ○ 内容 エゾアワビ・ホソメコンブ・じゃが芋・岩のり・ブロッコリーニシン・ほうれん草・バカ貝・スナップエンドウ・鮭・稲ヒラメ・そば・鱈・ホウテイウオ・サクラマス・ミズダコ・ウニ・スルメイカ・トマト・マナマコ・ホタテ貝・大豆・ほっけ・あんこう・ふのり・ヤマエビ・キツネメバル	まちづくり推進課
上川	士別市 「食育の日につくろう！しっかり野菜349g(サフォーク)レシピ」の公開	若い世代の野菜類の摂取量を増加させ、生活習慣病予防対策を強化する	2017年に20～39歳の市民に実施した食事調査で摂取量が少なかった野菜類・芋類・豆類・乳製品類の簡単レシピを毎月19日(食育の日)に市フェイスブック・市HPで公開	士別市健康福祉部保健福祉センター食育推進係
上川	名寄市推進協議会 広報による啓蒙・啓発の取り組み	食育について広く市民に周知し、健康や食の大切さについて認識を深めてもらう	①6月食育月間啓発回覧用ちらし配布(広報6月号と同時配付) 食育の意義や名寄市第3次食育推進計画の7つの目標を掲載したちらしの配布	経済部農務課
上川	愛別町 広報あいべつ	保健師や栄養士による健康情報を後方に掲載、啓発し町民の意思向上を図る。	月1回発行される広報誌で、保健師や栄養士による健康情報を掲載。(食に関しては年3回ほど掲載) R2掲載内容・「食育月間と食育の日について」 ・「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」 ・「全国生活習慣予防月間」	保健福祉課
上川	愛別町のびっこ通信「栄養士の部屋」	イベントメニューのレシピや栄養士による健康情報を掲載し、町民の栄養管理に役立つ。	月1回発行される「のびっこ通信」で、行事ごとのレシピや健康情報を掲載。(年2回ほど掲載) R2掲載内容・「小暑」・「初午」	保健福祉課
留萌	天塩町 広報てしお	栄養・食生活等に関する情報の普及啓発をおこなう。	【対象】町民 【回数】年2回 【内容】こんにちは栄養士です 10月号「個別運動教室マイトレの結果～栄養情報～」 3月号「自分の血管は自分で守る」	福祉課ふれあい係
宗谷	稚内市 稚内市ホームページ	市民へ情報を提供する。	■掲載概要 ①稚内食育推進計画	教育部 教育総務課
宗谷	稚内市 広報わっかない1月号	新型コロナウイルス感染症に関する知識、予防や対策方法等について、住民への普及啓発を行う	1、対象者 稚内市民 2、発行月 令和3年1月号 3、発行元 稚内市新型コロナウイルス感染症予防対策本部 4、発行部数 19000部(全世帯へ配布) 5、内容「免疫カアップで新型コロナウイルス感染症に負けない体づくりをしましょう！」体力不足や免疫力低下にならないよう、自宅のできる健康づくり(栄養・運動・生活習慣)の普及啓発を行う。栄養面では、バランスのよい食事及び、日差しが弱い冬季に不足しやすい栄養素ビタミンDについて掲載	生活福祉部健康づくり課
宗谷	猿払村 「食育だより」	子どもの健康や将来の生活習慣病予防のため、「食育」の大切さを理解できるよう家庭全体を通してアプローチを行う。	「食育だより」を通じて食育に関する情報や地産地消(ホタテ、牛乳、バター等を使った料理)のレシピを回覧と村ホームページで定期的に周知している。6月「食育について」、7月「地産地消」、8月「夏野菜の紹介」、9月「家族みんなで減塩生活」、12月「コロナ太り&お正月太りを解消させるには」をテーマに情報を掲載した。	保健福祉課
宗谷	礼文町/野菜摂取促進事業(たVege事業)	町の健康課題として、肥満や高血圧、糖尿病の合併症を有する割合が高いことから野菜摂取向上の取り組みを通じて、これらの生活習慣病の発症予防、重症予防、重症化防止に繋げる。	毎月19日の食育の日に管理栄養士が旬の野菜1つをテーマとして取り上げ野菜の栄養効果・体への働きが書かれたポップ、レシピ1品を町内商店の野菜売り場及び、レジ横等に展示している。レシピについては、礼文町HPに掲載し、QRコードの読み取りからダウンロードもできるようにしている。	保健課 保健推進係

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
オホーツク	北見市 市ホームページへの掲載	保育園の給食や食育の取り組みをはじめ、食に関する情報提供を行うことで、家庭・地域において「食育」について関心を広げる。	毎月、保育園での食育活動や食に関する情報を掲載した給食だよりの他、保育園の給食などを紹介。	子ども未来部保育施設課
オホーツク	網走市／食生活改善協議会の健康レシピ	健康づくりに視点をいた料理を普及する。	1.市広報誌にレシピ・栄養知識の掲載(毎月) 2.市ホームページにレシピ・栄養知識の掲載(毎月)	健康推進課
オホーツク	美幌町 食育普及啓発事業	食育の推進を目的とし、特に子育て中の親を対象に健全な食生活を実践するための栄養・食生活に関する知識の普及を行う。	年3回(5月、7月、12月)各テーマ3週間程度 場所 子育て支援センター、しゃきっとプラザ 内容:ポスター展示 ①免疫と栄養～日本栄養士会からの情報提供～ ②幼児のおやつを考えよう ③じょうぶな骨をつくらう	保健福祉グループ 栄養指導担当
オホーツク	佐呂間町 健康カレンダー	健康情報の掲載を行い、町民の健康意識改善を図る。	町作成の健康カレンダーにて情報提供 掲載月:令和2年9月 内容:「災害時の非常食について」 掲載月令和3年3月 内容:「腸活について」	保健福祉課
オホーツク	佐呂間町 町広報誌「げんき王国」	健康情報の掲載を行い、町民の健康意識改善を図る。	町広報誌にて情報提供 掲載月:令和2年7月号 内容:「脂質について」 掲載月:令和3年2月号 内容:「食物繊維について」	町民課 保健福祉課
オホーツク	湧別町 広報ゆうべつへ「バランス丼」レシピを掲載	町民が食事や健康へ興味関心をもつきっかけを作る。	広報紙・HPに主食・主菜・副菜のバランスのとれた「バランス丼」のレシピを掲載(毎月1回計12回) 同レシピを使った料理教室を開催(バランス丼料理教室)	健康こども課
オホーツク	滝上町／滝上町地域乳製品等消費拡大事業(第1回目)	「滝上町食育・地産地消計画」の取組みを推進するため、滝上町では、「地域乳製品等消費拡大事業」を実施。この事業は、地域で生産される生乳や牛肉を原料とした加工食品を通じて、本町を支える農業や、地産地消についてより多くの方に興味を持ってもらうとともに、新型コロナウイルス感染症拡大により減少した乳製品等の消費を拡大し、牛乳乳製品、牛肉製品の生産・加工に携わる方々を応援するため実施した	実施日:令和2年6月30日 対象:町内の小中学生及び町内の小中学校に勤務する教職員 配付:地域で生産された原料を使用した「牛乳・のむヨーグルト・ハンバーグ」及び「食育に関するパンフレット等」	滝上町農政課
オホーツク	滝上町／滝上町地域乳製品等消費拡大事業(第2回目)	滝上町食育・地産地消計画」の取組みを推進するため、滝上町農政課では「【第2回】地域乳製品等消費拡大事業」を実施。この事業は、地域で生産される生乳を原料とした加工食品を通じて、本町の農業や地産地消についてより多くの方に興味を持ってもらい、幼児期の子どもに対する家庭での食育を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大による学校給食の停止や外出自粛等により減少した生乳の需要を調整する中で、緊急避難的に過剰に生産された脱脂粉乳の余剰在庫解消を後押しするため実施した	実施日:令和2年8月19日 対象:満1歳から小学校入学前までの子ども 配付:脱脂粉乳を原料とする乳製品及び食育に関するリーフレット等	滝上町農政課
オホーツク	興部町 広報掲載:元気予報	季節にあつた疾病予防、健康増進のテーマを取り上げ、町民の健康づくりを啓発する。	隔月1回広報に掲載 免疫力を高める食事、健康づくり、疲れにくい体を作る食べ方、骨粗しょう症予防等掲載	福祉保健課健康推進係
オホーツク	雄武町 広報へのチラシ折込	町民の生活習慣病予防に関する知識及び意識の向上を目的とする。	栄養摂取等についてチラシを作成し広報に折込みし、町民全体にアプローチを行う。	保健福祉課保健係
オホーツク	大空町 広報誌による啓発普及	地場産の野菜を使用したレシピを季節ごとに掲載し、健康的な食習慣をみにつけることができるよう適切な情報と知識の普及を図る	年4回、広報誌に「大空町の季節の野菜を使った簡単レシピ」を掲載 レシピは町内栄養士ネットワーク(病院、福祉施設、学校給食センター、認定こども園、行政)の集まりで作成	福祉課 健康介護グループ

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
オホーツク	大空町 季節の野菜を使った簡単レシピの配置	地場産の野菜を使用したレシピを季節ごとに配置し、健康な食習慣を身につけることができるよう適切な情報と知識の普及を図る	年4回、「大空町の季節の野菜を使った簡単レシピ」を町内商店、公共施設に設置 レシピは町内栄養士ネットワーク(病院、福祉施設、学校給食センター、認定こども園、行政)の集まりで作成 野菜の栄養、保存法などの情報も掲載	福祉課 健康介護グループ
十勝	帯広市/帯広市図書館ホームページ、帯広市図書館ホームページ内「食文化.com」	食についての知識や理解を深め、心身ともに健康で豊かな生活を送るための「生きた」情報入手できるように、帯広市図書館で収集した様々な食文化に関する資料を紹介する。	帯広市図書館内HP内に食のサイト「食文化.com」を掲載するもの。 【帯広市図書館HP】 ①図書館HPトップのお知らせ欄等に、随時更新情報を掲載 【帯広市図書館HP「食文化.com」】 ①フードバレーとかちコーナー…帯広・十勝の食に関する資料を集めたコーナーについて紹介 ②広報誌「食☆ナビ」…年1回、「食ナビ☆ベビー」「食ナビ☆ジュニア」を発行しているもののPDFを掲載 ③「食」イベント…6月の食育月間に合わせて行う展示やおはなし会などの紹介 ④「食」DVD・雑誌・新聞…図書館で所蔵する食に関する資料の紹介 ⑤「食育」って?…食育について、帯広市の取り組み等を紹介 ⑥リンク集…農林水産省や北海道・十勝の食に関する公的機関のリンクを掲載	生涯学習部生涯学習文化室図書館
十勝	帯広市/広報誌「食☆ナビ」	食についての知識や理解を深め、心身ともに健康で豊かな生活を送るための「生きた」情報入手できるように、帯広市図書館で収集した様々な食文化に関する資料を紹介する。	【広報誌等の啓発】 ①「食ナビ☆ジュニア」を年1回発行し、市内全小学校に配布 ②「食ナビ☆ベビー」を年1回発行し、乳児の5か月検診や保育所で配布 ○「食ナビ☆ジュニア」とは、子ども向けの食に関する資料を紹介したブックリスト ○「食ナビ☆ベビー」とは、乳児やその保護者向けの食	生涯学習部生涯学習文化室図書館
十勝	帯広市/本の展示	食についての知識や理解を深め、心身ともに健康で豊かな生活を送るための「生きた」情報入手できるように、帯広市図書館で収集した様々な食文化に関する資料を紹介する。	【本の展示】 ①食文化コーナー…毎月展示テーマに沿った本を展示・貸出 ②フードバレーとかちコーナー…十勝・帯広の食に関する本を展示・貸出	生涯学習部生涯学習文化室図書館
十勝	帯広市/ 帯広市ホームページ「食育」	帯広市における食育の取り組みや関連情報を発信し、市民に幅広く普及・啓発を行うもの。	・第3次帯広市食育推進計画 ・帯広市食育推進サポーター ・食育推進の取り組み事例 ・おびひろ食育カレンダー ・各課の食育推進事例 など	農政部農政室農政課
十勝	帯広市/ 帯広市広報(「広報おびひろ3月号」)	市が取り組んでいる食育活動や、食育推進サポーター制度等について紹介し、食育の推進を啓発する。	広報おびひろ3月号の1・2ページに掲載。 ・記事タイトル:「食」を学ぶ 楽しむ 考える ・掲載内容①食育を始めよう! ②「食」に関する学びをサポートします ③丈夫な体づくりは毎日の食事から ④食育の取り組み事例 ⑤食育の役割とは? ⑥食育推進サポーター事業 ⑦簡単蒸しパンレシピ	農政部農政室農政課 (政策推進部広報秘書室広報広聴課)
十勝	音更町/ 広報紙、ホームページによる普及啓発	町の広報を通じて、食育・地産地消に関するイベント情報等を周知するとともに、「音更町食のモデル地域実行協議会」のHPを開設し、取組内容の紹介の他、おおよそくキッチン申込受付等を行う。	広報紙 内容:イベント開催等の周知 時期:開催日の前月号に掲載 ホームページ http://www.oosodekun.com/	経済部ふれあい交流館
十勝	士幌町/レシピの送付	こども料理教室が中止になったので、家庭でも楽しく調理が出来るようにレシピを送付	時期 12月25日 対象 昨年料理教室に参加した児童で今年度も教室対象者 概要 レシピの送付(①作ってみよう♪おうちでクッキング)	保健福祉課
十勝	士幌町/レシピの配布	休校等に伴い、カルシウム量が不足することが考えられるので1日摂って欲しい牛乳の目安量、またレシピを作成し配布	時期 7月22日～随時 対象 2歳児教室、希望者、健診受信者等 概要 レシピの配布(牛乳レシピ(食事編)、牛乳レシピ(デザート編))	保健福祉課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
十勝	芽室町 保育所(園)・幼稚園「栄養通信」 発行事業	芽室町内にある保育所(園)・幼稚園に所属する乳幼児の家庭に対し、正しい食習慣を習得できるよう、食や栄養に関する情報を発信することにより、乳幼児の子どものすこやかな成長を支援し、子育て支援体制の充実に資することを目的とする。	回数:年間4回 内容:食や栄養、行事の由来について 対象機関:10施設(630人程度) 工夫している事項:対象者は子育て世代のため、担当課と連携し、QRコードからSNS(Instagram)を閲覧できるようにした。	子育て支援課子育て支援係
十勝	芽室町 広報誌すまいる	「食」への関心を高め、「食」に関して正しい知識を身につけ心身の健康を増進し、健全な食生活を実践することを目指す。	町内施設で勤務する栄養士及び管理栄養士が集まり、3回/年、栄養業務担当者連絡会議を開催。食育の取り組みの一環として、「食」に関する情報の提供、食育に関する取組を広報に掲載。また、「統一献立」の取り組みの実施。統一献立とは、2回/年実施し、地元食材を使用した料理を町内の高齢者施設、保育所・幼稚園、学校、病院で同時に提供すること。広報へ統一献立のレシピの掲載。料理の写真を掲載し、町民にわかりやすく工夫している。	保健福祉課保健推進係
十勝	幕別町/広報紙への掲載	・野菜摂取量アップをめざし、広く町民へ周知する。	時期:R2. 4月～R3. 3月(全12回) 内容:各月で旬の地場産野菜の紹介、栄養情報、簡単野菜レシピを紹介	住民福祉部保健課
十勝	幕別町/ホームページ及びSNSの活用	・野菜摂取量アップをめざし、広く町民へ周知する。	時期:R2. 12月 内容:簡単野菜レシピをホームページに掲載開始する。掲載開始にあたりInstagramにて紹介する。	住民福祉部保健課
十勝	足寄町 広報誌(広報あしよる)	町の広報誌を活用して食生活に関する情報の普及啓発を行い、食生活に対する関心を高め、食育を推進する。	6月号:テーマ 6月は食育月間です。 食生活を見直してみませんか? ◇食塩を減らして薄味生活。 目指そう! 1日男性7.5g、女性6.5未満 広報誌に記事を掲載し、住民へ普及啓発する。	福祉課 保健福祉室 保健推進担当
十勝	足寄町 食育月間に関わる展示コーナー設置	6月の「食育月間」に合わせ、図書館で食育に関する展示を行い、普及啓発を行う。	展示期間:6月5日(水)～6月28日(金) 内容: ①パネル展示 ★減塩について ・1日にどの位塩分をとってもいいの? ・塩分を減らすポイント ・塩分とりすぎチェック ★新型コロナウイルス感染症対策 ・栄養・身体活動 ・栄養をとりましょう ★免疫力を高めるには ・免疫力を高めるおすすめ食材 ・バランスよく食べよう ・献立例(1食) ★日本一大きなふき 足寄町の『らわんぶき』を味わいましょう ②パンフレット・リーフレット配布 パスファインダー ③食育関連図書展示と貸出 【感想・意見等】図書館来館者では特に女性が関心を持って見ており、パンフレット等を持ち帰っていた。 減塩醤油の違い等をまとめた媒体は、男性も興味を持って見ていた。 【課題】 住民が興味や関心を持って見てもらえるような展示内容を工夫する必要がある。	図書館 福祉課
釧路	釧路市 「周知・啓発活動」	ごみ排出量削減を目的に実施している。	ごみの減量化を目標に、食品ロス削減に向けた取り組みを広報誌で周知・啓発を行っている。 ・5月号・2月号:ごみを減らすためには ・7月号:ごみを減らすために～「消費期限」と「賞味期限」の違い～ ・10月号:10月30日は、食品ロス削減の日 ・1月号:年末年始はおいしく残さず食べきりましょう	環境事業課
釧路	釧路市 「環境ニュース」	ごみ排出量削減を目的に実施している。	市民環境部発行(年2回)の「環境ニュース」内で、食品ロス削減に向けた取り組みを紹介している。	環境事業課
釧路	釧路町/広報釧路町	健康的な食習慣を身につけるための情報提供を行う	毎月発行釧路町広報誌で健康的な食習慣を身につけるための簡単なヘルシーレシピを掲載	健康福祉部こども健康課

振興局名	市町村名／名称	目的	概要	担当部課名
釧路	釧路町／ヘルシーレシピ設置配布	健康的な食習慣を身につけるための情報提供を行う	・健康的な食習慣を身につけるための簡単なヘルシーレシピと健康に関する情報を記載したリーフレットを設置配布 【設置場所】支所、公民館、体育館、保健福祉センター、町内認可保育所、児童館、地産地消センター、町内飲食店、郵便局、町内スーパー	健康福祉部こども健康課
釧路	標茶町／広報しべちや		・広報しべちやにおいて、管理栄養士から令和3年2月「子供の水分摂取」について情報提供を行った。 ・「牛乳を食べよう」というテーマで、乳製品を使ったレシピを紹介している。	保健福祉課健康推進係 農林課農業企画係
根室	根室市 ・食生活バランスアップ事業	・正しい食習慣の普及と野菜の摂取量を増やす	・内容 料理レシピを市ホームページ、市Facebookに毎月掲載 ・工夫 料理内容は、減塩料理を基本とし、なるべく簡単に作る事ができる料理を中心として配信している。	市民福祉部保健課
根室	羅臼町 羅臼町公式クックパッド記事掲載	地元食材を使用したい学校給食を町民だけではなく幅広く周知することによって羅臼町の認知度を上げるため	掲載時期 随時更新 掲載回数 ブログ更新 1回 内容 漁業関係者から無償提供いただいた食材を使用した給食レシピの掲載や提供された食材の献立をブログに掲載する。	羅臼町教育委員会 給食センター
根室	羅臼町 羅臼町公式フェイスブック記事掲載	地元食材を提供いただいている方たちへの情報提供及び羅臼町独自の学校給食を幅広く周知すること	掲載時期 食材提供時 掲載回数 7回 内容 無償提供いただいた食材の情報及び献立を掲載。	羅臼町教育委員会 給食センター

(3) 食育推進リーダーの育成

振興局名	市町村名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数	担当部課名
石狩	千歳市 千歳市食生活改善推進員養成講座	市民に健康づくりのための栄養・食生活に関する知識の普及を進めるため、食生活改善活動に必要な知識や技術の習得を図り、地域における実践活動を推進する役割を担う人材を育成する。	【開催時期】 令和2年10月23日～11月25日までの6日間 【開催場所】 千歳市総合福祉センター 【対象者】 食生活改善、栄養について関心、意欲を持ち、受講修了後に食生活改善の普及啓発活動を行うことができる市民 【受講者数】 7人 【講座内容】 ・健康づくりと栄養、食生活(健康日本21、食生活の現状、食事バランスガイド) ・生活習慣病予防の食生活(講話、調理実習) ・栄養価計算、献立作成、調理実習 ・食品衛生の知識 ・からだところの健康づくり ・千歳市健康づくり計画、食育推進計画 ・食生活改善推進員の地区組織活動	7人 (延べ30人)	保健福祉部 健康づくり課
胆振	厚真町食生活改善推進協議会	テーマをもって学習することで知識や技術を高める。	【時期】 ①令和2年12月3日 ②令和2年12月10日 ③令和3年2月16日 【場所】 厚真町総合ケアセンターゆくり 【実施内容】 調理実習、保健師・栄養士講話・運動	①14名 ②15名 ③20名	厚真町住民課健康推進グループ
上川	士別市 食生活改善推進員研修会	地域において正しい食生活の実践を普及し、健康長寿を推進する活動に必要な知識・技術などを学び、積極的に地区組織活動を行うことができる推進員を育成する	年2回保健センター管理栄養士・栄養士による講義と調理実習	24名	士別市健康福祉部保健福祉センター食育推進係
オホーツク	網走市/食生活改善推進員養成講座	食生活改善地区組織活動を行う推進員の養成に必要な教育事業を実施し、地域住民の健康増進並びに体力づくりの向上に寄与する。	食生活改善地区組織活動に必要な基礎項目、下記の講座、合計20時間。令和3年2月～3月実施。 1. 網走市の保健事業、健康づくりプランについて 2. 食品衛生と生活環境と食事バランスガイド他 3. 栄養の基礎知識 4. 身体の中の栄養の働き 5. 栄養計算をしてみよう・調理の基本 6. 調理実習(生活習慣病予防) 7. 調理実習(低栄養予防) 8. こころとからだの健康づくり	9名	健康福祉部 健康推進課
オホーツク	美幌町 美幌町ヘルスリーダー育成事業	美幌町ヘルスリーダーとして地域における健康づくりに主体的に取り組む人材を育成することを目的とし、その資質向上と活動の促進を図る。	所属数令和2年4月現在20名 4月～3月 育成講座伝達講習会3回 35名 ミニ学習会5回 64名 ヘルスリーダーが考案したレシピの伝達講習3回 ミニ学習会①フレイルってなあに②令和2年度の健診案内③尿酸値を下げる食事④カセットコンロでポリ袋料理⑤生活習慣病スキルアップ「健診結果から自分の体を知る」	延べ152名	保健福祉グループ 栄養指導担当
十勝	音更町/ おおそでくキッチンサポーター 定例会・研修会	おおそでくキッチンサポーターを食育推進リーダーと位置づけ、地域における食育・地産地消の取組実践や調理技術の向上を図ることを目的とする。	〇おおそでくキッチンサポーター研修会 開催回数:※新型コロナウイルス感染症防止対策の為、中止。 内容:味噌作り、バス見学会、生花	延べ0名	経済部ふれあい交流館
釧路	釧路市 「地区組織(釧路市食生活改善推進員)の養成・育成」	主体的に健康づくりを行うことの必要性や重要性について認識し、地域での住民のリーダーとなり、健康づくりを実践できる食のボランティアを養成及び育成する。	<養成>釧路市民、食のボランティアに興味のある人を対象に養成講座を実施 <育成>釧路市食生活改善推進員の育成 <場所>音別町福祉保健センター	131	音別保健福祉課

2. 学校(幼稚園含む)が主体となって取り組んでいる事例

(1) 給食を通じた取組

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
空知	岩見沢市内各小中学校 食に関する指導	給食という生きた教材を活用し、市内全小中学校の児童・生徒を対象に食に関する指導を行う	食生活の欧米化が進み、子どもたちの食事の内容も大きく変化している。小中学生は大きく成長する時期であることから、この時期に健全な食生活の実践と食習慣の確立に向け、望ましい食習慣や食に関する自己管理能力を身に付けることが、子どもたちの現在の健康だけではなく、将来の健康な生活に必要なことと考え実施。 令和2年度は、18校、延べ97学級で実施。	-
空知	岩見沢市立南小学校	生涯を通じて、食を通じて健康な体作りができるような態度の育成	1年生8月21日・8月25日「やさいをもっと好きになろう」 3年生12月16日「なんでも食べよう」 5年生10月30日「なぜ食べるのだろう」 各学年教室	1年生72名 3年生66名 5年生66名
空知	岩見沢市立幌向小学校	・毎日の食事に使われている食品に関心を持ち、バランス良く食べようとする意欲を持つ。 ・食べ物にはそれぞれ5つの働きがあることを理解する。	7月17日 5年生 4時間目～給食時間	34名
空知	岩見沢市立幌向小学校	・食べ物に興味を持ち、バランスよく何でも食べようとする意欲を持つ。 ・食べ物にはそれぞれ3つの働きがあることを理解する。	9月10日 3年生 4時間目～給食時間	35名
空知	岩見沢市立幌向小学校	・いろいろな野菜の名前を知る。 ・野菜を進んで食べようとする意欲を持つ。	1月21日 1年生 3, 4時間目	40名
空知	岩見沢市立栗沢小学校	生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、一人一人が正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるようにすること。	栄養教諭による食に関する授業。(1年生7月22日、3年生10月5日、5年生11月30日)各学級教室	58名 (1年生19名、3年生16名、5年生23名)
空知	岩見沢市立北村中学校	望ましい食習慣の定着 食環境の改善 職の知識を活用した健康の保持増進	10月12日 2年教室 岩見沢市の栄養教諭を招き、2年生を対象にスポーツと栄養とのかわり、中心に食と体との関係や生活習慣に関する内容をクイズ形式を交えながら講義していただいた。授業終了後は栄養教諭と給食と一緒に食べた。	14名
空知	美唄市内全小・中学校 食に関する指導	・学校給食や栄養教諭を通して、学年に応じた食についての興味関心や、知識と理解を深める。 ・学校給食の充実を図るため、実態を把握する。	・年度内の各学校の給食時間、各教科、特別活動の時間。	1300名
空知	美唄市内全小・中学校 ふるさと給食	・美唄産の食材を使用した「ふるさと給食」を実施し、市内の小・中学校とへき地保育所の子どもたちに、ふるさと美唄の味を味わってもらおう。	・収穫の秋を迎え、美唄で栽培されているお米や野菜、じゃがいもなどをふんだんに使用した「ふるさと給食」を実施し、ふるさと美唄の味を子どもたちに味わってもらいます。	1300名
空知	芦別小学校	自ら食生活を考え作り出していく態度を育てる。	栄養教諭の協力のもと、各クラス、全学年の給食の時間に栄養教諭が参加し、児童と一緒に給食を取る中で望ましい食の在り方等について指導している。また、高学年では、家庭科の時間を中心にバランスの良い食事と健康について指導している。	284名
空知	上芦別小学校	自ら食生活を管理する意識と態度を育てる。	栄養教諭の協力のもと、1年生:「給食のマナーと手洗い」、2年生:「お箸の持ち方と食べ物のはたらき」、3年生:「かむことの大切さ」、4年生:「食べ物の栄養」、5年生:「地産地消の必要性」、6年生:「食品表示について勉強し自分たちの身体に良いものを考える」の内容で、食育の授業を行った。	全校児童:85名
空知	赤平市立茂尻小学校 毎月の給食目標の設定と掲示	・望ましい食習慣を身につける ・食を通して好ましい人間関係をつくる ・給食を作る人や配膳に携わる人たちへの感謝の心を育てる	給食担当より月毎の目標を設定し、各教室にて掲示・指導した。 4月:手洗いや身支度の必要性 11月:食事のマナー・姿勢 5月:準備・片付け 12月・1月:給食の歴史 6月:食中毒の予防 2月:栄養とは 7・8月:3つの食品群、偏食を減らす 3月:栄養バランス 9月:租借と消化 10月:食後の休養	全校児童 55名
空知	赤平市立赤間小学校 食に関わる掲示物	食に関わることに興味・関心を持つ。正しく選択する能力を身につける。	各学期 掲示版 触って体験できる掲示物の作成をし、休み時間に自由に見られるようにした。	全校児童 168名

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
空知	赤平市立赤平中学校 栄養教諭の給食指導訪問	・食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。 ・心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養について理解し、成長段階における自らの食生活について振り返る。	・令和2年度は7月各クラスごとに実施した。 ・給食時間に合わせ、栄養教諭より説明を受けた。	全校生徒 171名、 各担任、 栄養教諭
空知	滝川市全小学校6校・全中学校 4校 カミカミ給食	しっかり噛んで食べる習慣を身につけることや、噛むことの大切さを知る。	実施日 11月6日 内容 11月8日のいい歯の日にちなみ、噛み応えのある給食を提供するとともにリーフレットを配布し、保護者への啓発も併せて行う。 メニュー 長いもカレーライス・かみかみごぼうサラダ・とっとチーズ・牛乳	2600名
空知	滝川市全小学校6校・全中学校 4校 和食の日給食	だしのうま味に慣れ親しみ、和食の食習慣を形成することで、日本食のよさを知る。	実施日 11月24日 内容 和食の基本である昆布や鰹節の「ダシ」を使用したメニュー及び「ま・ご・わ・や・さ・し・い」の食材を取り入れた給食を提供する。 メニュー ごはん・ぐだくさん汁・いかザンギ・ひじきとちくわの炒め煮・牛	2600名
空知	歌志内市立歌志内小学校 給食指導	・食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。 ・心身の成長や健康に過ごす上で望ましい栄養や食事の取り方を理解する。 ・正しい知識・情報に基づいて、食品の品質や安全性について判断できる力を身につける。 ・食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。	栄養教諭が毎日、給食時間に学級を訪問。手洗い指導や献立にふさわしい盛り付け方の指導をしている。また、児童とともに給食を食べながら、使用されている食材の名前、含まれている栄養素、箸の持ち方や正しい食器の並べ方等の食事のマナー等について指導している。	56名
空知	歌志内市立歌志内中学校 給食指導	・食に関する意識の高揚 ・バランスの良い栄養素の摂取についての学習 ・食事のマナーについての学習	栄養教諭が学期毎に中学校へ行き、各学級を訪問。生徒とともに給食を食べながら、食材に含まれている栄養素、健康に良い食事の取り方、食事のマナー等について指導している。	46名
空知	由仁町 由仁町教育委員会 そらち南農業協同組合 にじいろこども園 三川保育園 由仁小学校 由仁中学校 「由仁のもの学校給食」	地産地消の取組を促すとともに、子どもたちに安心して安全な給食を提供し、地元でどんな農畜産物が生産されているか等を学んでもらうことにより、学校給食を通じて食育を推進するため。	9月8日、10月16日、11月12日の3回実施 主として由仁町の農家が生産した肉や旬な野菜、果物及び豆腐などの加工食品を使った給食を提供し、こども園、保育園、小学校、中学校における食育と農畜産物の地産地消を推進している。	児童生徒 数450名 ×3回
空知	栗山町立栗山小学校	学校教育の一環として、栄養バランスの良い食事をとるための指導や、食生活への食に関する指導や、食生活への正しい理解と望ましい食習慣について指導を行う。	各教科・領域を通じて、食の重要性や、心身の健康、食品選択能力、感謝の心、社会性、食文化の指導を行う。	375名
空知	栗山町立角田小学校	学校教育の一環として、栄養バランスの良い食事をとるための指導や、食生活への食に関する指導や、食生活への正しい理解と望ましい食習慣について指導を行う。	5年生の体に必要な栄養素の働きについての授業を行う。	8名
空知	栗山町立継立小学校	学校教育の一環として、栄養バランスの良い食事をとるための指導や、食生活への食に関する指導や、食生活への正しい理解と望ましい食習慣について指導を行う。	5・6年生の授業において、栄養教諭が、「牛乳とカルシウム」など、食に関する指導を行う。	14名
空知	栗山町立栗山中学校	学校教育の一環として、栄養バランスの良い食事をとるための指導や、食生活への食に関する指導や、食生活への正しい理解と望ましい食習慣について指導を行う。	年間通して、成長期に必要なバランスの良い栄養のとり方について考え、食生活から自己の成長を振り返る指導を行う。	251名
空知	月形町立月形小学校 食に関する指導	学校教育活動全体を通して、学校における食育の推進を図り、食に関わる資質・能力を育成する。	9月～12月、各教室 発達段階に応じて、給食を生きた教材として活用しながら、食に関する正しい知識や食を選択する能力を身につける内容で、45分間の授業を栄養教諭が行う。	92名
空知	月形町立月形中学校 食に関する指導	学校教育活動全体を通して、学校における食育の推進を図り、食に関わる資質・能力を育成する。	2月、各教室 発達段階に応じて、給食を生きた教材として活用しながら、食に関する正しい知識や食を選択する能力を身につける内容で、50分間の授業を栄養教諭が行う。	42名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
空知	月形町立月形小学校 バイキング給食	自分の体にあった食品や量のとり方を学ぶ機会とする。また、望ましい食事の雰囲気づくりや食事のマナーを考える機会とする。	3月 月形小学校の小学校6年生が対象 栄養を考えながら、バランスの良い食事を自ら選んで喫食する。また、卒業式前に行い、卒業のお祝いを兼ねて行った。 新型コロナウイルス対策として、手洗いで使い捨て手袋を着用し、トンゴ等の使い回しによる感染拡大防止を図った。また、間隔をあげたり、喫食時の場所や配置等を工夫した。	13名
空知	月形町立月形中学校 リクエスト給食	卒業を控えた中が校3年生が、9年間の給食をふり返り、今後の自分の食のあり方を考える機会とする。	1~3月、中学校3年生を対象 9年間食べた給食を振り返り、思い出のエピソードとともに、リクエスト給食のアンケートをとる。リクエストされたものを取り入れた献立を提供している。	14名
空知	月形町立月形小学校 月形町立月形中学校 防災給食	9月1日が防災の日に合わせて、防災食を提供することで、給食を通して防災の意識を高めてもらう。また、通常給食センターに備蓄しているものを知ってもらう機会とした。	9月1日(防災の日)(2019年~) 非常時(電気やガスを使わない)でも提供できる非常食(救給カレー)を、学校給食として提供し、給食センターで備蓄しているものを知ること、非常食を食べ慣れること、さらに防災への意識を高めてもらう。また、その内容を給食だよりで発信した。	171名
空知	月形町立月形小学校 月形町立月形中学校 全国学校給食週間(日本で最初の給食を再現)	学校給食の歴史を知らせ、ふりかえらせる。	1月(全国学校給食週間のうちの1日)・町内小中学校 学校給食のはじまりとされる、明治22年の献立(おにぎり、鮭の塩焼き、青菜の漬物)をもとにした献立を作成し、学校給食で提供している。また、給食だよりでもその内容を取り上げている。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、手で食べるおにぎりではなく、ごはんとして提供した。	171名
空知	月形町立月形小学校 食に関する指導(給食ワンポイント)	食に関する正しい知識を提供し、毎日繰り返すことで、知識・理解の定着をはかる。	通年(給食がある日) 小学校の児童委員会(放送委員会)と連携し、給食時間中に食に関わる三択クイズを放送している。今年度は、新型コロナウイルス拡大防止策として児童による放送をせず、栄養教諭が放送した。	92名
空知	月形町立月形小学校 食に関する指導(給食センター見学)	給食センターを見学することで、給食や給食についての理解や学びを深める。	10月下旬・給食センター・2年生対象 小学校での食の指導の授業で給食センターについて触れ、事前指導を行い、本時で給食センターを見学し、実際に見学したり、調理道具を持ってみたりして、学びを深める。	19名
空知	新十津川町立新十津川小学校 栄養教諭による食に関わる指導	・食事が人と人とのつながりを豊かにすることを知ると共に食事が体に及ぼす影響を知る。 ・食品の衛生に気を付けて簡単な調理をする。	6月から1月に、1年生から6年生までの各クラスにおいて栄養教諭が、学年に合わせて、好き嫌いをせず食べること、調理員さんのこと、味覚について、主食主菜副菜を知る、清涼飲料水を題材にして、おやつ・カロリーについてを題材にした授業を実施した。	309名
空知	新十津川町立新十津川小学校 学童栄養教室	・食事が人と人とのつながりを豊かにすることを知ると共に食事が体に及ぼす影響を知る。	9月に、4年生を対象に、町の栄養士を講師に招き、「本物から学ぶ」として授業を実施した。	54名
空知	新十津川町立新十津川小学校 バイキング給食	・自ら食べる量や栄養のバランスを考え選択するバイキング給食の実施を通じて、栄養、マナー、感染症予防、食事の楽しみを知る。	3月に、6年生を対象に、コロナウイルス感染症予防対策を講じたバイキング給食を実施した。	54名
空知	新十津川町立新十津川小学校 食に関わる掲示	食物を大切に、食物の生産に携わる人々へ感謝する態度を身に付ける。	掲示板を利用し、その時期の学習の学習に合わせた食に関する内容で、掲示物を作成し提示した。学習内容に新十津川町につながる事例があったものについては、発展として掲示物に表した。	
空知	新十津川町立新十津川小学校 地域の農業の実際をみて学ぶ スマート農業を学ぶ	地域の農業の実際をみて学ぶ	7月に、学校前に広がる圃場で、全校児童が農業の最先端技術を利用して作業を進めている新十津川のスマート農業をみて学んだ。給食時間を利用してそのねらいや概要をビデオで学んだ。	309名
石狩	札幌市教育委員会/ さっぽろ学校給食フードリサイクル	食育・環境教育の充実 学校給食の調理くずや残食のリサイクルだけでなく、食や環境を考え、ものを大切に育てる。	札幌市では、学校給食を作る過程で発生する調理くずや食べ残しなどの生ごみを堆肥化しており、平成18年度からその堆肥で栽培した作物を学校給食に取り入れるという食物の循環に取り組んでいる。また、リサイクル堆肥を学校における栽培活動に活用し、食育・環境教育の充実を図っている。 (さっぽろ学校給食フードリサイクル ホームページアドレス) http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/kyushoku/recycle/foodrecycle.html □リサイクル堆肥で栽培した作物の学校給食での提供。 玉ねぎ(全校)、レタス・とうもろこし・かぼちゃ(希望校) □フードリサイクル堆肥活用校での取組(令和2年度 205校) リサイクル堆肥を活用した栽培活動を中心に、教科等と関連させた活動を行う。 □成果 「食べ物のほか、自然や環境への興味・関心が高まった」「地産地消に関心を持った。」「残食量が減少した」などの効果がある。 □今後の課題 ・リサイクル堆肥を使用した作物の安定供給。 ・保護者や市民の方々に、生ごみの減量やリサイクルに取り組んでもらえるよう普及啓発を図る。	約133,000人 (全給食実施校300校の児童生徒)
石狩	千歳市内小学校・中学校/ 栄養教諭による食に関する指導	より良い食生活の実践を通して心と身体の健康な子の育成	栄養や食事のとり方などについての学習を、栄養教諭配置校(小学校)は全学年、配置校以外は小学1年生、小学3年生、小学6年生、中学校1年生を対象に実施。 また、教科との連携を図り、家庭科において小学校5年生「五大栄養素」、小学校6年生「まかせてね、今日の食事」について授業を実施。	小学校 16校 (5,255人) 中学校 6校

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
石狩	恵庭市 子ども未来部子育て支援課 保育所給食「食育の日」献立実施	「食育月間」「食育の日」の啓発を行い、給食や食に対する関心を高める。	日程:令和2年6月19日(金) 対象者:市内保育園・認定こども園(11園)園児 概要: ・初夏の恵庭産・北海道産の食材を取り入れた献立を提供。特に恵庭市で生産量が多い野菜(ブロッコリー等)、特産品である「えびすかぼちゃ」を取り入れ、地元の農産物を知る機会として給食を提供と食育展示を行った。保護者には「しよくいくだより」のなかで「食育月間」「食育の日」献立実施について周知した。 (実施献立)地元野菜のラトイユ、春雨スープ、切り干し大根サラダ、いちご、ごはん【午後間食】かぼちゃスコーン ・取組実施の課題として、園により食材の購入先に違いがあるため、恵庭産農産物を使用することが難しい状況がある。	約700名
石狩	石狩市 石狩市内全小中学校 「いしかりウィーク」の実施	・児童や生徒に石狩産の食材を紹介することにより地元食材への関心を高める。 ・石狩の良いところを再認識し郷土愛を深める。 ・給食を通して地産地消の良さについて理解する。	□時期:9月14日(月)~18日(金) □概要: ・普段よりもさらに多く石狩産食材を使った学校給食を提供する。 (浜益牛についてポスターやひとくちメモで紹介)	実5,004名
石狩	石狩市 【旧石狩地区】全小学校 バイキング給食	・小学校最後の思い出作りをするため、楽しく和やかな雰囲気の中で給食をとってもらおう。 ・食事のマナーや思いやりの心を育てる。 ・3色栄養のバランスと栄養価について理解させる。	□時期:3月12日(金) □概要: ・6年生対象に実施。 ・事後アンケートを実施し、楽しい給食となったのかを評価する。また、栄養診断を行い、摂取カロリー及び3色栄養バランスの見直しを行う。	実593名
石狩	石狩市 【厚田・浜益地区】全小学校 セレクト給食	・1食分の食事を考える活動を通して、自分の食生活に関心を持ち、食品や料理の組み合わせによって栄養バランスのとれたメニューになることを理解し、楽しく食事をする。	□時期:3月11日(木) □概要: ・給食献立(主菜・デザート)を児童生徒自らが選択することにより、自分の食生活に関心を持ち、食事の楽しさを再認識する機会とする。	実119名
石狩	石狩市 石狩市内全小中学校 食に関する指導	・児童や生徒が栄養や食事の摂り方に関して、正しい知識に基づいて自ら判断し、実践していく能力を身に付け、健康で豊かな人間性を育てていくことができるようにする。	□時期:通年 □概要: ・給食時間のほか、各教科時間、特別活動の学級活動時間、総合的な学習時間等、学校の教育活動全体の時間を使いながら栄養教諭による食に関する指導を実施する。	実3,722名
石狩	石狩市 大人の食育講座	・学校給食を通し、食事の大切さや共食する良さを感じ、豊かな食生活に繋がることを目指す。また、石狩市学校給食センターを食育の発信拠点として認識してもらおう。	□時期:学校給食のある第4水曜日(個人向け)、通年(団体向け) □概要: ・市の栄養士による給食センター施設紹介、食育講座、給食の試食を行う。	延27名
石狩	当別町内小中学校 食育授業	生涯にわたって健康な生活を送るため子どもたちに健全な食習慣を身につけること	時期 6月~2月 場所 町内全小中学校(クラスごと) 栄養教諭が各学校に訪問し、各学年にあった授業をおこなう。	915
石狩	当別町内小中学校 訪問給食	食への興味を高め、食べる意欲へとつなげていくこと	時期 4月 場所 当別小学校1年生(クラスごと) 時期 9月~11月 場所 西当別中学校(クラスごと) 栄養教諭が各クラスに訪問し、給食時間の2、3分をいただき全体へ指導を行っている。 令和3年度は、希望校のみ実施	179
石狩	当別町内 小学校6年生(2校) 中学校3年生(2校) セレクト給食	バランスよく食べることを意識して、食事を選択し、バイキングのマナーなどを学ぶ	小学校6年生 時期 2月 場所 各小学校(117名) 中学校3年生 時期 11月、12月 場所 各中学校(120名)	237
石狩	新篠津小学校 ○給食指導 ○給食マナー週間・学校給食週間 ○栄養教諭による指導	○食に関心を持たせ、食事の重要性を理解させる。 ○食事のマナーを身に付けると共に、感謝の気持ちを養う。	場所:小学校食堂 ○栄養教諭より、毎日の給食時間にクイズ方式で食に関する問題を出題し、食に関心を持たせる。 ○6月と1月に保健委員会を中心に完食調べや食事のマナークイズ等を実施し、理解を深める。 ○場所:各教室 ○内容:1年「給食のことを知り楽しく食べよう」 2年「給食の片付け方について知ろう」「苦手なものにチャレンジしよう」 3年「野菜について知ろう」 4年「よくかんで食べよう」 5年「栄養素について知ろう」 6年「朝食をしっかりと食べよう」「バランスの良い食事を考えよう」	125

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
胆振	登別市立若草小学校 「給食を楽しく食べよう」	基本的な食事のマナーを知る。	□対象 小学校1学年 □実施時期 11月18日 □内容 学級で、栄養教諭により食事のマナーや食事の大切さについて学んだ。 □成果と課題 自分の体に興味を持ち、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいた。	1年生:34名
胆振	登別市立若草小学校 「望ましい食生活について」	五大栄養素を知り食事の重要性を学ぶ。	□対象 小学校5学年 □実施時期 11月19日 □内容 学級で、栄養教諭により望ましい食生活や五大栄養素について学んだ。 □成果と課題 自分の体に興味を持ち、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいた。	5年生:52名
胆振	登別市立幌別小学校/給食指導	給食時におけるマナーの向上や適切な衛生管理意識を身に付けさせることを目的とする。	給食時間に、栄養教諭が学級内で児童による配膳、摂食、片付けの様子を観察、指導する。	全校児童 257名
胆振	登別市立幌別小学校/給食指導	市制50周年の記念給食として、地元の食材や姉妹都市の食材を提供し、地場産業への理解を深める。	8月より随時 栄養教諭が指導資料を配布し、各担任がメニューの中に含まれる食材や産地を紹介した。	全校児童 257名
胆振	登別市立登別小学校	バランスのよい食事と体の健康や成長との関係について正しい知識を持たせる。(給食はバランスを考えた献立であること)	○9月実施 2年、5年:学級活動 各1時間 各教室 ・栄養教諭と担任によるTT指導 ・好き嫌いをしないバランスのよい食事と健康な体(2年) ・3つの食品群と五大栄養素の種類と働き(5年) ・学習後、栄養教諭とともに給食を試食(両学年とも)	2・5年 49名
胆振	白老保育園・認定こども園	食に関する正しい知識の普及	・食育指導計画に基づき、月1回保育園において食育指導を実施。 ※2月末に、保健所栄養士による食育指導を実施。	
胆振	白老保育園・認定こども園	望ましい食習慣の定着	・給食のメニューに行事食(正月、ひな祭り等)を取り入れ、食を通して行事の意味、関心、大切さを伝える。	
胆振	白老保育園・認定こども園	食に対する感謝の気持ちを育む	・農業体験を通して食への関心、興味、感謝の気持ちを育む。	
胆振	白老保育園・認定こども園	安心安全な食の提供	・アレルギー児童の把握。 ・アレルギー対応の給食の提供。	
胆振	白老保育園・認定こども園	安心・安全な食の提供	・栄養士が作成した献立を基に安心安全な給食の提供。	
胆振	白老町内小中学校	地場産物の利用促進	・給食の食材において、地場の食材にこだわり(魚、昆布、卵、しいたけ等)利用の促進を図っている。	
胆振	白老町内小中学校	・将来の生活習慣病を予防・改善するための食習慣を身に付けるため、学年に応じた食育の指導。	・各小中学校の食育全体計画・指導計画をもとに、教科、給食時間における、栄養教諭、家庭科教諭、担任、養護教諭等による発達段階に応じた食育、栄養指導	
胆振	白老町内小中学校	・食生活や健康についての関心を高めるための「子どもがつくるお弁当の日」の実施。	・町内各小中学校における「子どもがつくるお弁当の日」の実施。 →白老小12・2月、萩野小10・2月、竹浦小中止、 虎杖小中止、白老中中止、白翔中11・1月 ・アンケート等は中止 ※今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3校の取り組みが中止となっている。	
胆振	しらおい食育防災センター 「ふるさと給食」	学校給食を通じて、子どもたちが、ふるさとの食材や食文化に関心を持つ機会を提供する。 町内のウポポイ「民族共生象徴空間」開設を祝う。	地場産物【地域】やアイヌ伝統料理をを学校給食献立として提供する。 ・地場産物【地域】年3回(牛丼・ほっきごはん・鮭の塩焼き など) ・アイヌ伝統料理 年3回 食材カレンダーの配布 ・白老産食材とアイヌ食材、コラム「アイヌの人たちの食事」など掲載 ・「ふるさと給食の日」の説明資料を配布・掲示	770
胆振	しらおい食育防災センター 「リクエスト給食」	学校給食を通じて、子どもたちの食への興味・関心を高め、食に関する知識と選択する力を醸成する。	児童・生徒のアンケートによるリクエスト結果を反映した献立を学校給食として提供する。 ・年10回 「リクエスト給食の日」のアンケート結果ランキングについてチラシ配布	770
胆振	むかわ町内小中学校/給食だよりによる啓発	食育月間と食の大切さの周知	6月の食育月間時に町内小中学校に通う生徒及び各家庭を対象に、給食だよりへ記事の掲載を行った。	約600名
胆振	むかわ町内小中学校/特別給食の提供	町内食材の周知	11月25日と12月25日に町内小中学校の給食に町の名物である食材を用いた特別給食の提供をした。	約600名
胆振	むかわ町内小中学校/全国学校給食週間	給食の歴史や役割の周知と児童が楽しめる給食の献立の提供	1月24日～30日の全国学校給食週間に給食だよりで日本の学校給食の歴史について掲載した。また、児童が考えた献立や町の給食初めのメニューを提供した。	約600名
日高	日高町内小中学校	食に関する知識の普及	バクバク便り 12回/1年間発行している	824
日高	日高町立厚賀小	食に関する知識の普及	日時 令和2年12月14日 場所 日高町立厚賀小学校 内容 北海道産米「ゆめぴりかコンテスト」最高金賞受賞米などが出来るまでなどの講話 実施者 門別産米改良協会会長 担当栄養教諭	11
日高	日高町内小中学校	日高定置漁業者組合提案「銀聖の日」10月1日とし「日高産秋鮭」の味覚と間接的に漁業に触れる	日時 令和2年10月7日 場所 日高町内小中学校 給食 内容 銀聖の旨みを感じてもらう為塩焼きとして配膳	824

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
日高	平取町立全小・中学校 ふるさと給食「ニシパランチ」	平取町の新鮮で安心な農畜産物を学校給食の食材として利用することで、児童・生徒の地場産物に対する理解を深め、郷土を大切にすることを目的とする。また、試食会を通して生産者を身近に感じ、感謝の気持ちを育む。	①令和2年7月21日(火) 平取高校「トマトクラブ」と連携事業 ピラトマハヤシ(平取高校生メニュー)、 フレンチサラダ、牛乳 ②令和3年1月27日(水) びらとり和牛丼、豆腐のみそ汁、 寒締めほうれん草のおひたし、牛乳 ・平取町立全小・中学校 7校 ・JA、平取町より提供のあった地元食材を学校給食で調理提供している。	464
日高	新冠町立新冠小学校	生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の安全確保等が図れるように、自ら食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身につけるための学習等の取組みであることから、新冠産食材を活用し、食や命の大切さについてより効果的な学習を図る。	・実施回数 年1回 ・実施場所 新冠小学校 ・内 容 新冠産食材を使用したメニューによる学校給食を実施。 ・メニュー パターロール(ミルト)、タコとサケのアヒージョ風(新冠産タコ及びサケ)、かぼちゃポタージュ ホロシリ牛乳	262
日高	新冠町立朝日小学校	生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の安全確保等が図れるように、自ら食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身につけるための学習等の取組みであることから、新冠産食材を活用し、食や命の大切さについてより効果的な学習を図る。	・実施回数 年1回 ・実施場所 朝日小学校 ・内 容 新冠産食材を使用したメニューによる学校給食を実施。 ・メニュー パターロール(ミルト)、タコとサケのアヒージョ風(新冠産タコ及びサケ)、かぼちゃポタージュ ホロシリ牛乳	45
日高	新冠町立新冠中学校	生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の安全確保等が図れるように、自ら食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身につけるための学習等の取組みであることから、新冠産食材を活用し、食や命の大切さについてより効果的な学習を図る。	・実施回数 年1回 ・実施場所 新冠中学校 ・内 容 新冠産食材を使用したメニューによる学校給食を実施。 ・メニュー パターロール(ミルト)、タコとサケのアヒージョ風(新冠産タコ及びサケ)、かぼちゃポタージュ ホロシリ牛乳	171
日高	浦河町内小中学校 「オール浦河産給食」の実施	町内で生産された農畜産物を使用した給食を実施し、町内小中学校児童生徒と食材を提供する農業者と結びつきを深め、食育活動推進と地産地消の拡大に資する。	時期:令和2年9月1日(火) 実施献立:白飯、牛乳、浦河産和牛のシチュー、ふかしも2個、ミニトマトアイコ2個 使用食材:ななつぼし、浦河産和牛、玉ねぎ、人参、にんにく、じゃがいも、ミニトマトアイコ 新型コロナウイルス感染防止の観点から、交流給食の実施は行わなかった。	約145
日高	荻伏小学校 (食に関する指導)	児童と交流を深め、給食や食べ物へ興味・関心につなげる	給食時間中に学級を巡回指導した。	約145
日高	荻伏小学校 (食に関する指導)	日常の食事と調理の学習を通して、日常の食事への関心を高め、食事の大切さに気付く	5学年の家庭科において1時間の授業を行った。	約145
檜山	今金町 今金産黒毛和牛を使用した給食の提供	地場産黒毛和牛を食する事で地域の畜産業に関心を持つ事を目的とする。	開催日・・・令和2年10月12日(月) 場 所・・・町内各小中学校 提供メニュー・・・牛すき丼・大根と人参のみそ汁・ミニトマト・牛乳 概要等 JA和牛生産改良組合、JA今金町、町産業振興課の協力のもと、安価で今金産黒毛和牛の肉を提供していただき、学校給食センターで給食として提供。また、和牛生産者が各小中学校で食事の前に和牛に関する講話をし、交流しながら給食を食べる事で、生産者を身近に感じ、畜産業に関心を深めることができた。(今年度に関しては、コロナウイルスの影響もあり、生産者の方を学校へ呼ぶ形ではなく、Zoomや映像を通して講話して頂いた。)	390名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
檜山	今金町 ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日	生産者より提供された地場産品を生産者と一緒に食することにより、地場産物への関心や生産者への感謝の気持ちをもつ機会、また、児童生徒と生産者が直接接することでお互いの理解を深める機会とする。	開催日…令和2年11月13日(金) 場 所…町内各小中学校、認定こども園いまかね、種川へき地保育所 概要等 調理メニュー…いまカレー、ふかし芋、牛乳 内 容 本来であれば、PTA・JA女性部・生産者の方々の協力を得て実施していたが、今年はコロナ禍の影響のため、従来通りの献立提供が困難であることから、内容を変更して実施。調理における協力は参集せず、生産者様から食材提供をして頂き、素材の味を楽しんでもらいたいという趣旨のもと、給食形式での提供を実施。「いまカレー」は、減塩を目的とした献立であり、中央に今金男爵が添えられているカレー。「いまカレー」であれば、例年使用していた食材をカレーに用いることで地元産の食材を味わい、かつ密を避けるための調理も給食センター職員のみで対応できることから感染予防対策も講じた事業実施となっている。	500名
檜山	今金町 【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】 おにぎり作り体験学習	自分でおにぎりを作る事により、作ってくれる人へ感謝の気持ちを持つ。おにぎり作りを体験する事により、将来自分でお弁当を作れるようにする。 今年度は12月6日の日曜参観日に合わせて、1年生はおにぎり弁当を自分で作って持参した。	開催日…令和2年12月2日(水) 場 所…今金中学校食堂 概要等 対象…今金中学校1年生 概要等…今金町学校給食センター栄養士 内 容 本来であれば、ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日で提供される今金産の「ふっくりんこ」を使用して、自分でおにぎりを握る体験をしており、調理協力をいただいたJA女性部の方を講師として事業を行っていたが、今年度は例年同様の実施が困難であったため、別日に実施。感染対策上、友達と楽しく話しながら握ることは難しかったが、一緒ににおにぎりを作るという行為自体が楽しい上に、自分で握ったおにぎりが予想以上に美味しいと回答していた。普段何気なく食べているおにぎり作りが意外と難しく、特に三角のおにぎりを握る事が難しかったと回答。難しさを自分で実感することにより、作ってくれている人への感謝の気持ちが生まれていた。	40名
檜山	今金町 【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】 「洋食のマナーを体験しよう！」	洋食のテーブルマナーを学ぶことにより、基本的な作法の習得を目指し、日常の食生活や将来洋食を食べる機会の際に役に立ててもらおう。また、作っていただいた食事を大切にいただく気持ちを育む事も目的とする。	開催日…令和2年12月6日(日) 場 所…今金町民センター 概要等 対象…今金中学校2年生 講師…わたなべ 料理長 渡辺 正治 氏 テーマ…「洋食のマナーについて」 提供メニュー 「コーンスープ」「クロワッサン、ソフトフランス」 「若鶏のソテー季節の野菜添え」 「野菜サラダ」「カシスシャーベット」 内容 今金町の料理店に洋食を作っていただき、コース料理の形式で提供。料理の配膳については、日曜参観日に実施する事で保護者から協力をいただき保護者の皆さまと給食センター職員で給仕したが、今年度は感染予防対策上、給食センター職員のみで対応。飛沫感染予防のため、つい立使用。	35名
檜山	今金町 【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】 バイキング給食	個人にとって必要なバランスを良くするために、食べ物の組み合わせ方を覚え、食事を選択する周りの人等を考える等、栄養を意識した食事を選択する力とマナーを体験する。	開催状況…令和2年 1月27日(水) 今金中学校3年生 令和3年 2月 9日(火) 種川小学校全校児童 令和3年 3月15日(月) 今金小学校6年生 概要等 講師…栄養教諭 内容 主食・主菜・副菜・デザートをそれぞれ数種類用意し、栄養バランスを学ぶため各品目から取る目安を伝える。 食べていた食材を栄養素のグラフに図示し、取れている栄養素・不足している栄養素を把握し、今後の食生活に活かす。	今中40名 種小36名 今小30名
檜山	今金町 【今金中学校を卒業したらお弁当を作れるぞ！プロジェクト】 お弁当作り体験	中学校を卒業したら給食が無くなることから、食と向き合うきっかけとする。 限られた食材の中から献立を每班に考え、作り方を各家庭で教えてもらう事で家庭と連携し、工夫して調理する事により、お弁当を作ってくれる人の苦勞を学び、感謝の気持ちを育む事を目的とする。 今年度は12月6日の日曜参観日に合わせて3年生はお弁当を自分で作って持参	開催状況 令和2年10月28日(水) お弁当のおかずを考えよう(事前学習) 令和2年11月2・4日(月・水) お弁当のおかずを作ろう 概要等 講師…栄養教諭・学校給食センター栄養士 内容 ●事前学習 生徒は各班に分かれて、肉料理の献立を示された食材から考えて決める。作り方のレシピは家庭で教えてもらう等家庭のサポートをいただく。 ●体験学習 厚焼き玉子は全員必修で作る。 お弁当箱に作った肉料理、厚焼き玉子、当日の給食の献立を盛り付けて、当日の給食と一緒に食べる。調理器具の用意から後片付けまで、一連の作業を行う。	40名
檜山	今金町 食に関する指導	今金町で作られた食材を食べる良さを知る。	開催日…令和2年12月2日(水) 場 所…今金中学校 概要等 対象…今金中学校1年生 講師…栄養教諭 テーマ…「地産地消」	40名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
檜山	せたな町(全小中学校) せたな産給食の日	せたな町産の食材を中心とした給食の日	○対象:町内の全小中学生 ○実施日時:9月24日・10月29日 ○内容 せたな町産の米をはじめ、地場産の食材を中心とした献立で給食を提供することにより、地元食材に対する理解を深める。 ○献立内容 9月:ご飯、牛乳、味噌汁(玉ねぎ・卵)、チキンのくわ焼き ポテトとブロッコリーのチーズ焼き 10月:ご飯、牛乳、白菜スープ、スパニッシュオムレツ ほうれん草のナムル	1,048名
檜山	せたな町(小学校) 食に関する指導	児童が食事を通して、食事の重要性、食事のマナーを通じた社会性及び食文化について学ぶ。	○対象 久遠小学校・瀬棚小学校・若松小学校・北檜山小学校 ○実施日時:通年 ○場所:各学年教室 ○内容 栄養教諭を講師に迎え、下記をメインテーマとして、食事のマナーや栄養バランス、好き嫌い等について学ぶ。 ・1年生:食事のマナー ・2年生:よく噛んで食べる ・3年生:おやつの摂り方 ・4年生:どんな朝ご飯を食べるといいのかな ・5年生:なぜ食べるのだろう ・6年生:生活習慣病を予防しよう ○回数:計16回実施	267名
檜山	せたな町(中学校) 食に関する指導	生徒が食事を通して心身の健康、食品を選択する力について学ぶ。	○対象 大成中学校・瀬棚中学校・北檜山中学校 ○実施日時:通年 ○場所:各学年教室 ○内容 栄養教諭を講師に迎え、下記のテーマを中心に食を通じた健康、毎日の生活パターンについて学習する。 ・1年生:成長期の栄養 ・2年生:骨を作るためのライソファイトルを考えよう ・3年生:生活習慣病とその予防～塩分の摂り方～ ○回数:計18回実施	154名
上川	士別市 市内小・中・高等学校 ①ふるさと給食 ②地元産の米粉、小麦を使ったパンや麺の提供	地元産農畜産物を使用し、食を通じて地域の産業や自然の恵み、勤労の大切さなどの理解を深め、食育の推進に努めるとともに、地場産食材の消費の拡大を図る	①年8回 ②年4回	9312食
上川	名寄市内、各小学校、中学校 栄養教諭による食に関する指導	児童・生徒が将来にわたり食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけ、給食活動を通じ豊かな心を育成する。	栄養教諭を配置校だけでなく、連携校へ派遣し食に関する指導の実施。 ・市内小学校7校 中学校4校で食育指導 ・学校給食を生きた教材として給食時間に行う指導	1800
上川	名寄市内 各中学校 卒業する3年生に 給食献立等のレシピ「かんたん、お弁当レシピ」の配付 作成は学校給食センター	将来にわたり、望ましい食習慣の定着と、食への関心を高めてもらい、お弁当生活となっても楽しい食事としてもらいたい。	・お弁当の基本等について ・食材と栄養について ・27種の献立について ・レシピには各メニューごとに一人分のエネルギー量、たんぱく質、脂肪量について掲載	200
上川	名寄市学校給食センター 地産地消の推進	地場産食材を広く知ってもらうことで、地域の産業への理解や大地の恵みへの感謝の気持ちを深める。	安全・安心な地場産食材を給食に使用し広く児童・生徒へ周知する(地場産食材) ・もち米の産地であることから、赤飯を提供 ・野菜類は、秋～初冬にかけては、ほぼ地場産 ・給食だよりや献立表に地場産品の紹介や生産者の声を掲載 ・食育授業で地産地消について講義 ・地場産食材を使用した「なよろ給食の日」を実施	1800
上川	富良野学校給食センター 「ふるさと給食」	子どもたちが「地産地消」の意味や意義を学習し、食の大切さや食材の生産・加工・流通を学ぶと共に、生産者に対して感謝の気持ちを育むことを目的とする。	令和2年9月8日～9日 ・地元農家、生産・加工業者の協力のもと使用食材の約9割を地元で賄いご当地グルメで知られている「富良野オムカレー」やふらの地域の野菜をふんだんに使用した「ふらの野菜のナポリタン」、「ふらの牛乳」などを特別メニューとして提供。 ・地産地消の啓発と普及のため生産者の顔写真とコメントを掲載した給食だよりの特別号を発行。 ・富良野市のHPにも掲載。	児童・生徒数 1,935名 教員等 379名
上川	富良野市内、中富良野町内、占冠村内各小中学校 「食に関する指導」	学校給食を「生きた食材」として活用し、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自らの健康管理ができるよう指導する。	学校給食を供給する3市町村の小中学校からの希望に応じて、3名の栄養教諭による食の指導を実施 ・実施時期 4月～3月 ・対象校3市町村 小学校14校、中学校7校、義務教育学校1校 ・実施内容 各教科、給食時間等における指導 ・年間指導計画作成及び給食だよりの発行 ・児童・生徒と保護者、学校との個別相談	児童・生徒数 1,935名 教員等 379名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
上川	当麻町立当麻小学校 「食に関する指導」(栄養教諭の指導)	○食事の重要性や楽しさを理解させる。 ・心身の成長や健康の保持増進のため、正しい知識を身に付ける、など	○各学級に給食時間の中で、配膳、後片付け、栄養について指導 ○感染症拡大防止に向けた「黙食」の徹底 ○高学年に、食に関する指導を実施	全児童 275名
上川	当麻町立宇園別小学校	栄養素の働きや食事のマナーを学ぶ	コロナ禍のため令和2年度は一度しか実施できなかったが、当麻町の栄養教諭による給食事に指導を行った。	児童9 教職員10
上川	当麻町立当麻中学校 「食に関する日常指導」	○規則正しい食事の重要性や食事の楽しさを理解する。 ○自分自身の食生活に関心を持ち、心身の成長や健康の保持増進のため望ましい食生活について考え、実行しようとする態度を育成する。	○学級ごとの給食時間において、盛り付け、配膳、後片付けについての指導するとともに生徒自らが考え実行する。 ○新型コロナウイルス感染症防止の観点にたった食事の在り方を生徒自ら考え実行する。 ○毎月発行される「給食だより」を活用し、心身の成長と健康の保持増進を踏まえ、望ましい食習慣の在り方を考える。	全生徒 147名
上川	美瑛町立美瑛小学校 美瑛町立美馬牛小学校 美瑛町立美沢小学校 美瑛町立明德小学校 美瑛町立美瑛東小学校 美瑛町立美馬牛中学校 ○バイキング給食	・自分で選択して食事を摂りながら、食の健康に関する自己管理能力を育成する。	各校年1~2回、各校の地域で収穫された食材を使用バイキング給食を実施していたが、新型コロナウイルス対策のため、令和2年度は中止。	
上川	美瑛町立美瑛小学校 美瑛町立美馬牛小学校 美瑛町立美沢小学校 美瑛町立明德小学校 美瑛町立美瑛東小学校 美瑛町立美馬牛中学校 ○食育指導	安全で安心な栄養バランス野よ委囀に関する指導や、食生活への正しい理解と望ましい食習慣について指導を行う。	各校年1~12回、栄養教諭による指導を行う。	
上川	和寒小学校・和寒中学校/「ふるさと給食」	地元産の食材を知り、親しみながら味わう。	年間数回(給食センターより時期についてその都度知らせがある)担任から食材についての指導を行う。	小:143人 中:72人
上川	和寒小学校・和寒中学校/食に関する授業	食に関わる知識を身につけ、バランスの良い食生活を心がけさせる。	各学年1回ずつ広域配置の栄養教諭1名(土別~和寒)による食に関する授業実施。	小:143人 中:72人
上川	美深町内各小中学校 栄養教諭による食育授業	・生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送るために望ましい食習慣の定着と食生活の関心を高める。	・時期:令和2年8月から12月 ・対象:各学校各クラス1回 ・実施方法:勤務校は年間計画、連携校は指導内容を調査し、学校の希望に沿った指導を行う。	270
上川	美深町学校給食センター 地産地消の推進	・地場産品を給食に取り入れることにより、地元の食文化にふれ、知識や役割などの関心を深めつつ、地産地消を推進していく。	・地元でとれたアスパラ、メロン、じゃがいも、葉菜類、もち米、牛肉等を使った献立を作成し、可能な限り地場産の食材をしようするように心がけている。	270
上川	美深町学校給食センター お弁当レシピ	・お弁当を作ることで、食を大切に、感謝する心を育て、生きる力を身につける。	・時期:3月上旬 ・対象:卒業生(中学3年生) ・概要:学校給食の献立も取り入れながら簡単お弁当レシピ(30品)とお弁当を作るとき5つのルール、ポイントをわかりやすくのせている。	40
留萌	増毛町立増毛小学校 増毛町立増毛中学校 「まるごと増毛デー」	地場産物の消費拡大	・甘エビ等の地元食材を旬を意識しながら使用し、新聞報道や広報などで周知した。 ・生ものなので、天候に左右されやすい。 ・地元食材を普段から使用しているので、特別感を出すために、創意工夫している。	183名
留萌	増毛町立増毛小学校 増毛町立増毛中学校 「イベント給食」	地場産物の消費拡大	・コロナ禍で、町内のイベントがなくなり地元の消費拡大を推進させるため。 ・一つ一つ手作りで作っているため、手間暇がかかり、値段が高い。	183名
留萌	増毛町立増毛小学校 増毛町立増毛中学校 「卒業お祝いケーキ」	地場産物の消費拡大	・卒業式で在校生が参加できないので、儀式的行事を意識させるため、町内の店からケーキを購入し、校内放送で流したり、新聞報道や広報などで周知した。	183名
留萌	小平町立小平小学校	・栄養バランスのとれた食生活や正しい食習慣を身につける。 ・食事の組合せや食事量、食品の持つ様々な機能性など食と健康の正しい知識を学ぶ。	場所:小平小学校 対象:3年生 ・栄養素についての講話を聞き、給食の献立を考え、自分たちで考えた献立の給食を食した。	10
留萌	小平町立鬼鹿小学校	・楽しい食事につながるための食事のマナーについて学ぶ。 ・食事に感謝する心を育み、楽しく食事をしようとする態度を養う。	場所:鬼鹿小学校 対象:全学年 ・給食の時間に、校内放送を使い、食事のマナーについて学んだ。	26
宗谷	稚内市立稚内東中学校	食についての興味関心を高める機会とする。	・給食センターから送られてくる献立放送原稿を報道委員会生徒がお昼の校内放送で全校に伝える。(通年)	230名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
宗谷	稚内市立港保育所	好きなものばかりではなく、栄養のある物を知り、楽しんでいただく。	3月上旬バイキング給食 各保育室	53名
宗谷	稚内鈴蘭幼稚園	給食開始	5月から年間通しての活動・色々な食品を食べる ・先生や友達と楽しく食べる (給食が始まるので食べたことのない食品も出てくると思うが、友達に刺激を受け食べることを経験する) (給食当番を年長児に手伝ってもらい、給食の用意や片付けを覚える)	114名
宗谷	稚内富岡幼稚園・保育園	楽しく食事をしながら食事のマナーを身につける	給食や弁当で食事の手洗いや挨拶・姿勢・箸スプーンの使い方等を学ぶ	140名
宗谷	猿払村内各小中学校 地場産物の活用	地場産物の使用を積極的に行い、児童生徒への食の関心、郷土愛意識を高める。	猿払村の特産品を給食メニューに取り入れる 週2回 さるふつ牛乳使用 月1回程度、ほたて、つぶ、さけ、毛がに、さるふつアイス、みみくんなど、猿払産の食材を使用	
宗谷	浜頓別町立浜頓別小学校	・食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力をも身につける。	時期:令和2年4月15日(水) 場所:浜頓別小学校1年生教室 担当:栄養教諭 内容:給食時間のルールについて(静かに待つ、勝手に立ち歩かない、食べながら話をしない・食器の扱い方等)	27名
オホーツク	北見市立相内小学校	・地域の農産物、地域の特性を生かした食生活、地産地消、食文化、食に関わる歴史を理解し尊重する心をもつ。 ・食べ物と食料生産等に関わる人々への感謝の心をもつ。	令和2年12月1日 「ふるさと大収穫祭」(相内小学校体育館) 給食に関わって、もち米料理の種類、地域による赤飯の違い、赤飯の由来、稲作に関わった人やその労力に感謝すること、いただきます、ごちそうさまの意味などを話した。また同日給食で収穫したもち米を使って赤飯を調理し、各教室で給食時間に提供した。	90名
オホーツク	北見市立上仁頃小学校	・食べ物大切に、生産に関わる人々への感謝の気持ちをもつ。 ・地域の産物、食文化を理解し尊重する心をもつ。	○11月26日(木) 上仁頃小学校体育館 12年間続いている学習であり、地域で栽培されているそばを使用し、地域の方を講師をお願いし、そばの打ち方について教えていただいた。 ただ打ち方を教わるだけでなく、1人前打つのに、そばの実(そば粉)がこんなに必要であること、きれいな水が大切であることなど、生産者の苦労や自然と水の関係に等守ることにできた。	29名
オホーツク	北見市立上仁頃小学校	・食べ物大切に、生産に関わる人々への感謝の気持ちをもつ。 ・地域の産物、食文化を理解し尊重する心をもつ。	○6月～9月 学校菜園 地域の農家の方にご協力をいただき、カボチャの栽培を実施。品種ごとにグループ分けをし、それぞれが責任をもって水やりや草取りなどの作業に取り組んだ。収穫祭として、グループごとにカボチャを使った調理を行い、全員で食するというを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。	29名
オホーツク	北見市立留辺蘂小学校	留辺蘂町特産物の地産地消	【給食】○11月頃 ○留辺蘂町の特産品を生産している町内白花豆生産農家や牛肉生産者より食材提供を受け、給食のメニューに取り入れている。(JAとしての食育活動の一環でもあります) 【総合】○5月、7月、9月 ○地域の農家の方の指導により白花豆の作り方や玉ねぎの作り方を教わる。収穫した作物を使った調理実習を実施《今年度は、コロナ禍により中止》	約140名
オホーツク	いせの里保育園	(毎日の給食をとおして) ・食材を知る。 ・食事が元気な身体づくりに繋がっていることについて理解を促す。 ・スプーン、箸などの正しい使い方を身につける。 ・日々の給食を通じて、食事マナーを身につける。 (年長児) *調理実習を通じた取り組み ・食材の取り扱いについて知る。 ・調理の基本を知る(切る、加熱、味付け) ・日常的な食事への興味を換気する。	(1)食材を知る ① 献立表に産地を掲載 ② 毎食ごとに、食材、調理について、味わいについて説明をする。 → 毎食ごとの声掛けなどによる積み重ね。 (2)親子への働きかけ ①給食を掲示 「食」への興味、親子で「保育園の給食」について話す機会の提供 (3)調理実習(年長児) ・開催時期 秋、冬2回程度 ・場 所 いせの里児童センター「創作活動室」	・120-140名 調理実習 ・年長児 21名～
オホーツク	網走市立西が丘小学校 いきいき健康プラン	自らの健康に関心を持たせ、望ましい食習慣の行動化を図る。	時期:7月・12月 場所:各学年の教室、家庭科室 対象:全児童 内容:学級活動の時間に、健康と食育に関わる授業を養護教諭と連携し、学年に応じた内容で指導を行った。 *1年生「給食室探検隊」「元気もりもり生活」 *2年生「飲み物調査隊」「じょうぶな体をつくろう」 *3年生「食べ物の旅」「カロリーバランスを考えよう」 *4年生「理想の朝ごはん」「よくかんで食べよう」 *5年生「牛乳骨太パワー」「野菜バリバリ作戦」 *6年生「血液サラサラ実験」「着色料実験をしよう」	63名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
オホーツク	網走市立潮見小学校 給食マナーに関する食指導	食事をする為には、様々な「食事マナー」があり、マナーを身につける事で、食への関心を高める。	時期:9月 場所:小学3年生教室 対象:小学3年生 内容:授業を通して、箸・食器の置き方・手洗いなど食事マナー～衛生管理に関する部分まで子供達に情報を伝達し実際に体験学習を取り入れ、実践をした。	99名
オホーツク	網走市内小中学校 くじら給食	網走の鯨食文化の普及・継続を図ること。	時期:2月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・市内の小中学校へ給食用食材として鯨皮購入額の一部を助成し、給食で提供。 ・鯨に関するパンフレットの配布。 ・捕鯨事業者による鯨に関する講話の実施。 ※2校で実施。	2,900名
オホーツク	網走市内小中学校 行者菜給食	・児童生徒が地場食材に触れる機会を増やすこと。 ・生産者との関わりの中で、地元食材について理解を深めること。	時期:6月、7月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・行者菜入り焼きそば・行者菜入りトングスカンを学校給食で各1回提供。 ※行者菜はJAオホーツク網走から購入。 ・行者菜に関するパンフレットの配布。	2,900名
オホーツク	網走市内小中学校 野菜の日給食	・児童生徒が地場食材に触れる機会を増やすこと。 ・地場の産業や野菜について理解を深めること。	時期:8月、11月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・野菜の日(8.31)と、野菜の収穫期である秋(11月)に、野菜中心の献立を取り入れた。 ※使用した野菜の一部はJAオホーツク網走より無償提供。 【提供した献立】 8月:網走産かぼちゃパン、野菜ラーメン、ミニ春巻き、きゅうりのうま味昆布漬け、牛乳 11月:麦入りご飯、ベジたべるカレー、手作りキャロットゼリー、牛乳 ・野菜に関するパンフレットの配布。	2,900名
オホーツク	網走市内小中学校 ふるさと給食	網走で生産される地場生産物を学校給食に使用するとともに、児童生徒が地元の産業を理解し、地場生産物の味覚・風味・新鮮さなどを知ること。	時期:10月 場所:市内小中学校 対象:市内小中学校児童生徒及び職員 内容: ・地場食材を中心に使用した献立を取り入れた。 【使用した地場食材】 鮭・すりみ・網走産の野菜 ・ふるさと食材に関するパンフレットの配布。 ・網走漁協青年部による鮭の講話を実施。 (鮭をさばく実演含む) ※3校で実施	2900名
オホーツク	美幌町内全小中学校対象 地元産農産物学校給食提供事業	学校給食において地元産農作物(アスパラガス・玉葱・人参・澱粉など)を提供し、児童・生徒への食育を行うとともに地産地消を推進する。	・JAから農産物の寄贈を受け、学校給食で複数回使用・提供している。(寄贈農産物)5月:アスパラガス、11月:玉葱・人参・澱粉 ①寄贈を受けた農産物を使用していることなどについては、給食日より児童生徒への周知のほか、町広報紙、地元紙等で広く町民にもPRを行っている。 ②アスパラガス(5月)を給食で提供する際は、学校給食センターにおいて、地元特産品アスパラガスの「冬姫」や三色アスパラなどを紹介したパンフレットを作成して全学級に配布するとともに、そのパンフレットを使用して各クラス担任から、児童・生徒へ説明を行っていただいた。	1回の給食で1,490名
オホーツク	美幌町内全小中学校対象 給食を通じた美幌産食材の提供事業	町内の小中学生へ美幌産商品・食材を使用した給食を提供し、町産食材の美味しさを児童や生徒へ伝える。	年数回学校給食で実施 1. 5/28・5/29の学校給食で地元産食材を使用 ・アスパラソテー(JA寄贈アスパラガスを使用) 2. 10/6の学校給食で地元産商品を使用 ・美幌ミートソースパグティ(地元障害福祉サービス提供施設で育てたトマトから作られた「美幌ミートソース」を使用) ・美幌とまボン酢(地元障害福祉サービス提供施設で育てたトマトから作られた「美幌とまボン酢」を使用) 3. 1/29・2/26の学校給食で地元産商品を使用 ・びほろあんぱん(館に「びほろ豚醬まるまんま」を使用) 4. 年間を通して学校給食で美幌産農産物を使用 ・米、人参、玉ねぎ、キャベツ、白菜	1回の給食で1,490名
オホーツク	美幌町内全小中学校対象 給食を通じた道産水産物・畜産物の周知啓発	今年度道から無償提供された道産水産物(ホタテ)と畜産物(牛肉)を給食で提供する際、町内の小中学生へクイズ形式で食材の生態等の周知啓発を図る。	計8回学校給食で提供する際に実施 学校給食センターにおいて、ホタテと牛肉の生態等のクイズが掲載されたパンフレットを作成して全学級に配布するとともに、そのパンフレットを使用し、各クラス担任からは児童・生徒へクイズを出していただいた。 1. ホタテクイズ(全5回実施) 実施日:①10/22 ②11/9 ③12/11 ④1/18 ⑤2/17 2. 牛肉クイズ(全3回実施) 実施日:①12/27 ②1/21 ③2/24	1回の給食で1,490名
オホーツク	津別小学校	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	①週に1回、オーガニック牛乳を給食で提供。 ②令和2年11月25・27・30日の3日間、地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。野菜、米等は地元農家から購入しているほか、津別町肉牛振興会からつづつ和牛の寄贈を受け、提供している。	172名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
オホーツク	津別中学校	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	①週に1回、オーガニック牛乳を給食で提供。 ②令和2年11月25・27・30日の3日間、地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。野菜、米等は地元農家から購入しているほか、津別町肉牛振興会からつづつ和牛の寄贈を受け、提供している。	64名
オホーツク	津別高等学校	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	①週に1回、オーガニック牛乳を給食で提供。 ②令和2年11月25・27・30日の3日間、地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。野菜、米等は地元農家から購入しているほか、津別町肉牛振興会からつづつ和牛の寄贈を受け、提供している。	70名
オホーツク	認定子ども園「こどもの杜」	地元産の食材の提供し、食の大切さ、郷土愛を育む。	普段から地元食材を使用しているが、令和2年8月18日、地元産の食材のみを使った「オール津別給食」を提供している。	111名
オホーツク	小清水町立小清水小学校 かみかみウィーク	よく噛むことを意識付けする	「歯と口の健康週間」と関連付けて、よく噛む食材を使ったかみかみメニューを毎日出す「かみかみウィーク」を実施。期間中は、毎日「給食メモ」を配布して、噛むことの効果を伝えたり、使われている食材の紹介をした。校内の給食掲示板では、噛むことの効果やかみかみクイズなどを掲示し、子どもたちに周知した。	230名
オホーツク	小清水町学校給食センター 地場産品を活用した献立	地場産物について学習する	小清水産の食材を使った献立を実施。 10月はピーズを使用した「小清水ボルシチ」、11月は小清水和牛を使用した「小清水和牛カレー」どちらもメニューに使用した具材は小清水産のみ。献立実施日には、全校に給食メモを配布し、メニュー紹介と使用している食材についての説明などをした。 【実施時期】令和2年10月、11月	334名
オホーツク	佐呂間町立佐呂間小学校 ・給食センター見学(生活)	・給食は様々な人が関わっていることを知り、感謝の気持ちをもって給食を食べる。 ・給食は安全に美味しく作られていることを知り、給食を大切に食べる。	7月13日(1年)給食センター給食センターの中の窓から、下処理室・主調理室を見学。栄養教諭から給食のできかたについての話はなし。実際に、給食で使用している調理道具を持つ体験を行った。	18名
オホーツク	佐呂間小学校4年生 「給食の残り物はどうなるの？」	・給食の残食はリサイクルされていることを知る。 ・残さず大切に食べる大切さを知る。 ・佐呂間町の理解に繋げる。	7月15日(4年)4年生教室 4年生社会、「ごみの行方」に関連づけて、給食の残り物はどうのようにリサイクルしているのか、調理員さんはどんな気持ちで洗浄作業を毎日行っているかを話した。(佐呂間町では給食の残食や牛乳のしぼりかすなどを発酵させ、肥料やろ過に使用する土にかえる施設がある。)	28名
オホーツク	佐呂間町内各小中学校 ・セレクト給食	食事の楽しさや食べることへの意欲を高めるため。	12月9日 給食を提供している全学校で実施。 カレーライスのトッピングを選択する。「チキンカツ」「ハンバーグ」「エビフライ」の3種類より1つ選択する。	442名
オホーツク	佐呂間町内各へき地小学校 栄養教諭による給食指導	給食を通じて食に対する知識や望ましい食習慣を身に付ける。	通年実施(給食時間) 栄養給が小学校を訪問し、一緒に給食をとりながら意見を交換したり、給食指導を行う。給食指導は、給食後5分、各テーマにそって食に関する指導を行っている。	54名
オホーツク	雄武小学校	食に関する指導の実施	雄武小学校の栄養教諭が各学校を訪問し、児童・生徒とともに給食を食べながら、食材に含まれている栄養素や使用されている食材の名前、健康に良い食事の取り方等について指導した。 また、箸の持ち方や正しい食器の並べ方等の食事のマナーについても指導した。 ・雄武小1年生 19名 R2.4.13～R2.4.17(5日間) R2.5.21～R2.5.29(7日間) R2.6.1～R2.6.11(9日間)	399名
オホーツク	大空町内小中学校 ふるさと給食	大空町で生産される地場生産物を学校給食に供し、子供たちが地元の産業を理解し、地場生産物の味覚・風味・新鮮さなどを知る。	・毎月1回、地場食材を中心に使用した献立を学校給食で提供。 【使用した地場食材】 東藻琴乳酪館のビン牛乳、大空町産の野菜、肉、米、調味料など ・ふるさと食材に関するパンフレットの配付	約650名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
十勝	帯広市学校給食センター	地元産食材を活用した給食を通して、児童生徒の地域の自然や産業、食文化に関する理解を深めるほか、給食に対する理解や関心に加え、望ましい食習慣などについて、家庭への啓発を図るもの	○バイキング給食の実施 ⇒コロナ感染症予防のため中止 対象:全小学6年生 時期:毎年 内容:自らの健康を考え、数種類の食品からバランスよく選択する力を育むため、バイキング方式の給食を提供 ○ふるさとの日の実施 時期:9月、10月、11月の各月に各1日提供 内容:地元の農畜産物を多く使用した特別献立を提供 ○学校給食週間の実施 時期:1月24日の給食記念日に合わせて1週間(1/24~1/30) 内容: ①地元の農畜産物を多く使用した特別献立や姉妹都市の特産物を使用した特別献立を提供(4献立) ②市民試食会の実施 ⇒コロナ感染症予防のため中止 ○「食育通信」の配付 時期:毎月発行 内容:健康面や食生活についての注意事項や新メニューの紹介、給食で使用する食材について掲載 ○親子料理教室の実施 ⇒コロナ感染症予防のため中止 時期:夏休み、冬休みに各1回 対象:小学4年生以上の親子 内容:給食の調理室を見学後、給食で実際に提供されるメニューを親子で調理・試食 ○学校給食センターの見学・試食の受け入れ ⇒コロナ感染症予防のため中止 時期:随時(4月~2月まで) 対象:帯広市民(5人以上40人までのグループ、1日1グループ) 内容:学校給食センター2階見学コース及び研修室での見学と説明のほか、試食を希望するグループには、当日の中学校向け給食を提供	0人 13000食 ×3回 13000食 ×1週間 0人 12000世帯 ×毎月 0人 0人
十勝	音更町内全小・中学校/おとふけ給食	子どもたちに全国有数の産地である地元の農産物・特産品を再認識してもらい、ふるさと「おとふけ」への郷土愛を育むとともに、食をとおして生産者と子どもたちが交流し「食」への関心を高めることを目的とする。	○おとふけ給食 開催時期:月1回程度 開催内容:町内で生産される野菜・穀物を旬の時期にあわせて、町、音更町農協、木野農協の3者が費用負担し、特別メニューとして提供している。 また、年に1回、関係団体・生産者が学校訪問し児童生徒と一緒に給食の試食会を開催している。 ○菜の花教室 開催時期:年1回※新型コロナウイルス感染症防止対策の為、中止。 開催内容:町内のなたね生産者が学校に出向き、食育授業を行う。また、全小中学校を対象になたね油を使用した菜の花給食を行う。	4,374名 (児童・生徒・教職員含む)
十勝	新得町学校給食共同調理場「Sランチ」 新得小学校、屈足南小学校、新得中学校、屈足中学校、新得高等支援学校、富村牛小中学校	地場産品のPR	JA新得町、JA青年部との共同企画。新得町産の食材を使用した給食メニューを提供し、子どもたちに地場産品を知ってもらいきっかけ作りとして、平成28年から実施している。 毎年、JA青年部員が各学校を訪問し、食材の説明をしているが、今年度は新型コロナウイルスの影響で、1校のみとなった。 自校給食の富村牛小中学校には食材を提供し提供した。	食数 約550食
十勝	新得小学校/食育指導	小学生児童の給食指導	場所 新得小学校 時期は年間通して実施 1年生 配膳の仕方(お皿の位置や意味)、畑で作物を作って調理して食べるじゃがいも、焼き芋、枝豆 2年生 給食ができるまで、給食センターで働く人見学 3年生 箸の持ち方使い方 4年生 栄養のバランス 5年生 五大栄養素について学習、米を実際に作り実食 6年生 噛むことの大切さ	210
十勝	芽室町内全小中学校/めむろまるごと給食	町の基幹産業である農業の大切さと食に関する意識を高めることで、地産地消の推進と食育指導の充実につなげることを目的としている。	時期:6月~3月 計9回実施 場所:芽室町内全小中学校 めむろまるごと給食は、普段の給食より多くの芽室産食材を使用して作られる特別な給食である。給食の材料となっている食材を紹介する資料もまるごと給食の際には児童生徒に配布するようにしている。また今年度は使用した野菜の生産者である農家を学校へ招き子供たちに農業についての話をしてもらった。	2000人程
十勝	上美生小学校/食農教育	町の基幹産業である農業に対する理解や郷土を愛する心を育む。	時期:3月9日 場所:上美生小学校 この日の給食では芽室町内で生産された牛乳を使ったアイスクリームを提供した。給食時間に生産者である酪農家を学校へ招き、酪農についての話をしてもらった。また、酪農についての指導資料も配布した。	47人
十勝	村内全小中学校・更別幼稚園・認定こども園上更別幼稚園	児童・生徒の地場産物に対する理解、関心を深め、郷土愛を育む。	年間を通じて地元産食材を使用しているが、特に6月・9月・11月の野菜収穫時期を強化月間としてふるさと給食を実施。61献立に食材を使用。使用した地元産食材はアスパラ、キャベツ、ジャガイモ、玉葱、生スイートコーン、白菜、カボチャ、大根、ごぼう、ヤーコン、牛肉、小豆、さらべつさんうどん、つぶつぶでんぶん、ナガイモ、ナス、大豆、ピーマン等	303
十勝	大樹町学校給食センター 大樹小学校、大樹中学校 ふるさと給食	・町内で生産される、安心安全な食材を給食で提供することにより、生産過程、食事と栄養の関係等健全な成長に必要とされる生活リズム等を学校給食の分野からも取り組む。	・ふるさと給食(年3回 9月、12月、1月実施) ・調理~学校給食センター・喫食~各小中高高等学校 ・町内で生産された野菜、魚肉類などを年3回のふるさと給食により多く食材として取り込む。 ・町一般会計より支出、給食だよりに掲載	不明

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
十勝	大樹町学校給食センター 大樹小学校、大樹中学校 大樹高校生による考案メニューの日	・食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てることを目的として取り組む。	大樹高校フードデザインコースの皆さんが、価格・季節感・調理時間などを配慮し、学校給食メニューを考案。その後、高校教諭、学校給食センター栄養士による調整を図り、給食の献立に組み込んでいる。 (例年12月実施)	不明
十勝	町内全小中学校	地場産品を使用したメニューを給食として提供することで、地元の農業や農産物への愛着を持ってもらい、食に対する理解を深めてもらう。	年間を通じて。 幕別/忠類学校給食センターから提供する小中学校全校。	町内小中学生。
十勝	<input type="checkbox"/> 学校名:池田小学校2,6年生 <input type="checkbox"/> 利別小学校6年生 <input type="checkbox"/> 高島小学校1~6年生 <input type="checkbox"/> 池田中学校1~3年生 <input type="checkbox"/> 食に関する指導	・食に関する正しい知識を取得し、実践する能力を養う。	<input type="checkbox"/> 時期:9月~3月 <input type="checkbox"/> 場所:各学校 <input type="checkbox"/> 回数:池田小各1回、利別小1回、高島小1~5年各1回、6年2回、池田中1~2年3回、3年1回 <input type="checkbox"/> 講師:池田小学校栄養教諭 <input type="checkbox"/> 内容:主に学級活動の1時間を使い、バランスのよい食事について、朝食について、だしについて、食料自給率について等食に関する指導を行った。	不明
十勝	<input type="checkbox"/> 学校名:高島小学校 <input type="checkbox"/> 名称:栄養教諭による保護者への講演	・食に関する正しい知識の啓蒙と望ましい生活習慣の形成といった家庭での食育の推進を図る。	<input type="checkbox"/> 時期:12月17日 <input type="checkbox"/> 場所・対象:高島小学校・保護者 <input type="checkbox"/> 回数:1回 <input type="checkbox"/> 講師:池田小学校栄養教諭 <input type="checkbox"/> 内容:日本の伝統的な料理や食生活と生活習慣病の関係について講演を行った。	不明
十勝	<input type="checkbox"/> 学校名:池田小学校、利別小学校、高島小学校 <input type="checkbox"/> 名称:バイキング給食	・生涯を通じて健康で充実した生活を送るために、数多い食品の中から栄養バランスを考え、適切に食品を選択する能力を育み、食事について自己管理ができる習慣を身に着ける。	<input type="checkbox"/> 時期:2月2日(高島小) 2月9日(利別小)、2月16日(池田小) <input type="checkbox"/> 場所:各学校 <input type="checkbox"/> 回数:各1回 <input type="checkbox"/> 講師:池田町学校給食センター調理員、池田小学校栄養教諭 <input type="checkbox"/> 内容:事前指導では、何をどれくらい食べるかエネルギー計算を行いながら考えた。その学習をもとに給食時間に実際に地場産品を用いた食品を選び、周りへのマナーに配慮しながら喫食した。	不明
十勝	<input type="checkbox"/> 学校名:池田小学校、利別小学校、高島小学校、北部地域保育所、カトリック幼稚園、池田中学校 池田高校 <input type="checkbox"/> 収穫した作物の活用	・栽培活動や収穫した作物を給食で提供することで、食に対する興味関心を高める。	<input type="checkbox"/> 時期:12月25日、1月15日、2月10日 <input type="checkbox"/> 場所:各学校 <input type="checkbox"/> 回数:各1回 <input type="checkbox"/> 内容:自ら栽培・収穫した作物を活用し、給食として提供した。ぶどうの収穫後ワインと交換し、ビーフシチューとして、収穫した餅米を赤飯と五目おこわとしてそれぞれ提供した。また、赤飯、五目おこわについては収穫した学年に献立の命名をしてもらった。	不明
釧路	釧路市立小中学校全校 「ふるさと給食」	ふるさとの食材を通じて、ふるさと釧路の豊かさ、すばらしさを再認識してもらうために実施している。	10月~12月にかけて、月に1度釧路産の魚を使用した献立を実施している。	小学校26校・中学校15校
釧路	釧路市立小中学校全校 「鯨肉給食」	平成14年に再開された釧路沖での調査捕鯨を機に、学校給食でも鯨肉を使った給食を提供し、当市における捕鯨の歴史と鯨食文化に対する理解を深めてもらうために実施している。	1月に市内全小中学校で、くじら料理を提供した。	小学校26校・中学校15校
釧路	釧路市立小中学校全校 「鹿肉給食」	地産地消の一環で阿寒地区で養鹿されている、エゾ鹿肉を使用した給食を市内全小中学校に提供している。	市内全小中学校では6月に、もみじ味噌ちゃんこ汁を提供した。	小学校26校・中学校15校
釧路	野のはな園 「給食試食会」	3~5歳を対象とした給食の味、食材の形態等を見て、食べてもらい、家庭での食事作りの参考や食生活の意識づけにつなげるため。	時期 2月1日~2月19日 児童発達支援センター野のはな園通園児の保護者に対し、給食の人気メニューや栄養がとれて家庭でヒントになりそうな献立を参観日に合わせて設定し、主菜、副菜、汁物の3品の試食を行う。	保護者22名
釧路	野のはな園 「食育コーナー(あそびがいっぱい)」	家族と一緒に食べることを楽しみながら、保護者に給食で提供している内容を知ってもらい、食育に関しての意識づけにつなげるため。	実施日:11月6日(金) 児童発達支援センター野のはな園で毎年行っている親子での参観日(あそびがいっぱい)の中で、食育に関する取組として実施。今年度は園児が食べやすいおやつメニューを考え、提供した。(保護者の参加は無し)	園児47名
釧路	野のはな園 「野菜作り」	栽培や収穫等の菜園活動を通して、自然と親しみ、野菜に興味関心を持つとともに、野菜を食べようとする気持ちを育てるため。	時期:6月~9月 児童発達支援センター正面玄関前の菜園スペースにて、芋植え、野菜の種まき、水やり等の栽培及び収穫を行う。	延べ212名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
釧路	野のはな園 「食育指導の実施」	給食献立や調理、栄養等についての話を通して、色々な食材に親しみや興味関心を高め、食べる意欲を育てるため。	テーマにもとづき、栄養士と調理員が指導室を訪問し、食育指導を行う。 ①テーマ「野菜に親しみ、好きになろう」8月18日～9月9日 全5日間 栽培活動の振り返りや、収穫した野菜を使った給食献立について ②テーマ「秋の野菜や果物を知ろう」10月20日～11月18日 全6日間 秋が旬の野菜や果物を使った給食献立や調理について ③テーマ「おさかなをたべよう」1月14日～2月10日 全4日間	①43名 ②41名 ③51名 計135名
釧路	釧路町立富原小学校の栄養教諭による食育授業	栄養教諭による食育の授業を通して、小学校から中学校まで発達段階にあった食への理解を図る。	栄養教諭による小中学校全クラス児童生徒に対し、食に関する知識・選択する力を学ぶことで健全な食生活への実践力を身につけるための食育指導を行っている。	1300名
釧路	釧路町立つくし保育所	地産産の食材に親しむ	◎令和2年7月13日(月)各保育室 山の幸 釧路町産やさい編 ◎令和2年8月25日(火)各保育室 山の幸 釧路町産やさい編 ◎令和2年9月29日(火)各保育室 海の幸 秋サケ編 ◎令和2年10月23日(金)各保育室 山の幸 おやつ編 ◎令和3年2月5日(金)各保育室 海の幸編 たら編	58名 58名 58名 58名 58名
釧路	釧路町立つくし保育所	食育指導を通じて食べる力を身につける	◎令和2年6月2～5日各保育室 マナーについて ◎令和2年6月26日(金)たんぼぼ組 三色ボード ◎令和2年7月8日、9日すみれ、さくら組 だしについて ◎令和2年12月9、16、23日各保育室 油について ◎令和3年1月13、20、27日各保育室 砂糖について ◎令和3年2月13、16、22日各保育室 シルエットクイズ	58名 19名 39名 58名 58名 58名
釧路	釧路町立つくし保育所	特別おやつ	◎令和2年7月28日(火)全園児 アイスクリーム ◎令和2年8月20日(金)全園児 アイスクリーム ◎令和2年9月9日(水)全園児 ギョウザピザ ◎令和2年10月19日(月)全園児 アップルパイ ◎令和2年11月9日(月)全園児 手作りクッキー ◎令和3年1月13日(水)全園児 パナソフクッキー ◎令和3年3月24日(水)さくら組 アイスクリーム	100名 100名 100名 100名 100名 100名 20名
釧路	真龍小学校1年生月組	給食を楽しく食べよう	R2.6.29 真龍小学校の学級内において、楽しい学校給食とマナーを知り、給食の準備と後片付けを学ぶ	23
釧路	真龍小学校1年生雪組	給食を楽しく食べよう	R2.6.29 真龍小学校の学級内において、楽しい学校給食とマナーを知り、給食の準備と後片付けを学ぶ	22
釧路	真龍小学校	アレルギー調査による保護者面談	R2.6.9 真龍小学校保健室において、学校給食に伴うアレルギー除去及び代替食について、保護者、学校関係者、栄養教諭が面談と指導	5
釧路	真龍小学校3年生月組	好き嫌いせずになんでも食べよう	R2.9.15 真龍小学校の学級内において、食べ物が3つの食品群分かれ、体の中での働きを学ぶ	25
釧路	真龍小学校3年生雪組	好き嫌いせずになんでも食べよう	R2.9.15 真龍小学校の学級内において、食べ物が3つの食品群分かれ、体の中での働きを学ぶ	27
釧路	真龍小学校4年生	食べ物の働き	R2.9.17 真龍小学校の学級内において、食べ物の分類(3つに分かれる)と体に及ぼす力(働き)を学ぶ	39
釧路	厚岸小学校6年生	1日のはじまり～朝ご飯の力	R2.10.14 厚岸小学校の学級内において、朝ご飯の大切さを知り、頭や体に及ぼす働きを学ぶ	26
釧路	厚岸小学校3年生	「味覚を育てるだし」について	R2.10.22 厚岸小学校学級内において、味覚の味「5味」があることを知る。地産の「昆布のだし」について理解を深める。	22
釧路	真龍小学校6年生	工夫しよう、おいしい食事	R2.10.27 真龍小学校学級内において、食事を楽しく食べること、おいしい食事を工夫することによってよりおいしさを味わうことを学ぶ	32
釧路	厚岸小学校2年生	給食センターに行ってみよう	R2.11.5 厚岸町学校給食センターにおいて、給食センターの仕事や給食がどのように作られているかを学ぶ	14
釧路	真龍小学校5年生	食べて元気に	R2.11.6 真龍小学校学級内において、3食(朝食・昼食・夕食)をしっかり摂取し、栄養バランスの良い食事でも頭も体も元気になることを学ぶ	37
釧路	太田小学校5・6年生	食べ物のほたらきを知ろう	R2.11.19 太田小学校学級内において、食べ物の分類(3つに分かれる)と体に及ぼす力(働き)を学ぶ	4
釧路	太田小学校3・4年生	食べ物のほたらきを知ろう	R2.12.8 太田小学校学級内において、食べ物の分類(3つに分かれる)と体に及ぼす力(働き)を学ぶ	8
釧路	厚岸小学校1年生	楽しい給食時間にしよう	R2.12.9 厚岸小学校学級内において、楽しい学校給食とマナーを知り、給食の準備と後片付けを学ぶ	22
釧路	厚岸小学校5年生	よりよいおやつの取り方を考えよう	R3.1.21 厚岸小学校学級内において、いろいろなおやつのカロリーや成分等を知り、食べる量を学ぶ	22
釧路	厚岸小学校4年生	3色バランス良く	R3.1.29 厚岸小学校学級内において、食べ物が3つの食品群分かれ、体の中での働きと栄養バランスの良い食事でも頭も体も元気になることを学ぶ	14
釧路	真龍中学校2年A組	朝ご飯の役割	R3.2.18 真龍中学校学級内において、朝食の大切さを知り、頭や体に及ぼす役割を学ぶ	20

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
釧路	真龍中学校2年B組	朝ご飯の役割	R3.2.18 真龍中学校学級内において、朝食の大切さを知り、頭や体に及ぼす役割を学ぶ	21
釧路	真龍中学校1年A組	おやつを取り方 砂糖と塩分	R3.3.4 真龍中学校学級内において、おやつに含まれる砂糖や塩分の割合を知り、取り過ぎに注意したおやつを取り方を学ぶ	25
釧路	真龍中学校1年B組	おやつを取り方 砂糖と塩分	R3.3.4 真龍中学校学級内において、おやつに含まれる砂糖や塩分の割合を知り、取り過ぎに注意したおやつを取り方を学ぶ	25
釧路	真龍小学校	令和3年度に向けたアレルギー調査による保護者面談	R3.3.22 真龍小学校保健室において、学校給食に伴うアレルギー除去及び代替食について、児童2名の保護者、学校関係者、栄養教諭が面談と指導	5
釧路	標茶町立標茶小学校 給食時間の指導	児童の喫食状況、嗜好の把握及び食育の推進を図る	栄養教諭が勤務日に月ごとに教室を巡回する。	
釧路	美留和小学校/地元産食材の紹介	献立内の地元産食材及び道産食材を知り、自分が口にする食材への興味関心や感謝の気持ちを高める。	給食を食べる前に、当番の児童が給食の献立とともに、道内産と弟子屈産の食材を紹介する。毎日、給食時間に実施。	8
釧路	鶴居小学校 幌呂小学校 下幌呂小学校	よくかんで食べる	月に2~3回実施し、1口30回を目標によくかんで食べる。	180人
釧路	鶴居小学校 /モグモグタイム	よくかんで食べる	給食の最初の5分と終わる前の5分を話をしないでよくかんで食べる。 食べ方の注意 ①バクバク 適量を口に入れる ②モグモグ 1口30回を目標によくかんで食べる ③ゴックン 飲み込んでから次の食べ物を口に入れる	120人
釧路	鶴居小学校 /マナーの日	食事マナーを身につける	毎週月曜をマナーの日として実施 月ごとに目標を設定 食器を持って食べる 三角食べをする 姿勢よく食べるなど	120人
釧路	鶴居小学校 幌呂小学校 下幌呂小学校 /ふるさと給食	身近でとれる食材を知ることと感謝して食べることを目的としている	月に1~2を目安に村内や釧路管内の食材を使ったふるさと給食を村内全小・中学校で実施	180人
釧路	白糠小学校・白糠中学校・茶路小中学校・庶路学園 町内全小中学校 【ふるさと給食週間】	本町の豊富な地場産物を積極的に活用することにより、児童生徒が地域の自然や産業、食文化に関する理解を深め、郷土を大切にすることを育む事を目的とする。	期日:令和2年11月16日(月)から20日(金)までの5日間 ・期間中、地場産物を豊富に使った学校給食を実施した。 ・校内放送や教員からの話により、使用した地場産物の紹介を行った。 ・給食日よりして周知を行った。 ・町のキャラクターが印字された「味付け海苔」包装を作成した。	1日 約500名
根室	根室市立厚床小学校	給食時の身支度の大切さやマナーを知り、楽しく給食を食べようとする。食べ物の栄養に関心をもち、健康に過ごそうとする。	給食時の清潔、給食時のマナー、栄養について指導する。	18名
根室	根室市立厚床中学校	児童生徒の地場産物への理解や関心を深めることを目的とする。	全ての食材を地場産物とする「ふるさと給食の日」を実施	15名
根室	根室市立歯舞学園(前期課程)	①箸を正しく使うなど食事のマナーを守って、給食を食べられるようにする。 ②適切な食生活について学ぶ。	①継続して、担任が給食時に指導している。 ②保健だよりで、適宜食生活のリズムの大切さ、朝食の大切さを発信し、それを利用して担任が指導している。	86名
根室	根室市立成央小学校	・給食の準備と後片付けの仕方を知る。	・エプロン、パンダナの着用と手洗いや手指消毒 ・配膳と後片付けの仕方(ごみの処理の仕方) ・給食棚、お盆、給食台の清掃の仕方	346名
根室	根室市立柏陵中学校	①食のマナーを学ぶ。 ②健康な身体づくりと適切な食生活の関係について学ぶ。 ③地産地消について学ぶ。	①4月から適宜、担任が給食時に指導している。 ②保健室だよりで、定期的に食生活のリズムの大切さ、朝食の大切さを配信し、それを利用して担任が指導している。 ③ふるさと給食日に合わせて、地元で生産されている食材と栄養の関係について担任より指導を行っている。	156名
根室	根室市立北斗小学校	食育の指導	栄養教諭が指導計画を作成し、栄養素と発育の関係等、学年の発達段階に応じた指導を展開し、給食や家庭での食の在り方についての見方や考え方を養うようにしている。	312名
根室	根室市立落石小学校	食育の指導	3学期に、1・2年生を対象に給食センターの栄養教諭に出前授業を実施してもらい、その後給食を見学し、食育のアドバイス、指導をしてもらう。	12名
根室	根室市立花咲港小学校	・給食時の身支度やマナーの大切さを知る。 ・食べ物の栄養に関心をもち、健康に過ごそうとする。 ・準備、会食、後片付けなどを通じて、協調性や社会性を養う。	・給食前には、身支度を整えるよう、促す。給食時に、マナーについて指導する。 ・給食献立表やふるさと給食のお便りなどを使って今日の給食に含まれる栄養素について考えさせる。 ・準備や給食後片付けは助け合うよう指導する。	16名

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
根室	根室市立花咲小学校	食育	<p>通年、給食時間を通して行う。</p> <p>【学級担任が中心となって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の配膳、片付け、食べるときのマナーを身に付ける。 ・バランスよく、しっかり噛んで食べることの大切さを知る。 <p>【養護教諭と連携して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症に気をつけた配膳の仕方や食事のとり方を身に付ける。 <p>【支援学級担任が中心となって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい箸の持ち方や食事の仕方、バランス良く食べることの大切さを理解する。 	160名
根室	市内小学校・中学校 根室市教育委員会教育総務課 根室市学校給食協会	児童生徒の地場産物への理解や関心を深めることを目的とする。	<p>全ての食材を地場産物とする「ふるさと給食の日」を実施(年3回実施)</p> <p>令和2年7月ホタテカレー、メロン、チーズ他 令和2年9月豚丼、真鱈すり身汁、ハスカップゼリー他 令和2年2月海鮮と野菜丼、鉄砲汁、牛乳プリン他</p> <p>対象者:市内小中学校児童・生徒</p>	市内全児童生徒
根室	町立学校全校 出前講座:中標津町立丸山小学校	中標津町で生産された農畜産物を材料とした給食を提供し、地元の食材に興味関心を持ってもらうことで、地産地消を推進する。	<p>○実施日 令和2年9月25日(金)</p> <p>○実施校 中標津町立丸山小学校</p> <p>○出前講座 時間 11時15分～12時00分(45分間)</p> <p>場所 体育館</p> <p>内容 「中標津のじゃがいもについて」</p> <p>講師 中標津町農協青年部</p> <p>対象 4年生(60名)</p> <p>○給食 時間 12時00分～12時35分</p> <p>メニュー ご飯、大根と豚肉の生姜炒め、ブロッコリー和風マヨ和え、じゃがいもわかめの味噌汁、ミルクアイス、中標津牛乳</p>	約2,500人
根室	標津小学校、川北小学校、標津中学校、川北中学校(町内全小・中学校) ふるさと給食	栄養管理と地元の安全・安心な食材を提供するふるさと教育の両面での食育を関係機関との連携により推進	<p>正しい食事のあり方と望ましい食習慣、自ら健康管理をできることを目指して学校栄養職員による食に関する指導の取組みとあわせて、毎年11月11日の「鮭の日」の前後日において、「ふるさと給食」を実施。</p> <p>この取組みは、町内の水産加工振興協会や標津漁業協同組合女性部の無償協力のもと、標津町の漁業の主力をなしている鮭を活用した給食を提供。</p>	
根室	羅臼町学校給食センター 羅臼定食	地元食材の理解を深めると共に、生産者の方々への感謝の気持ちを育む。	<p>実施時期 10月年1回</p> <p>対象者 町内の園児・児童・生徒</p> <p>内容 羅臼町でとれた食材を使って全ての献立を作成した給食を提供。食材について記載した資料を配布し、各学級で指導を行う。</p>	505名
根室	羅臼町公式フェイスブック掲載	地元食材を使用した給食献立に関する情報発信	<p>実施時期 提供後随時掲載</p> <p>内容 給食センターでは羅臼町の海産物を羅臼漁業協同組合や水産加工業者からいただいているため、いただいた食材の内容や献立を羅臼町公式フェイスブックに情報発信として掲載している。</p>	
根室	羅臼町公式クックパッドブログ掲載・レシピ掲載	地元食材を使用した給食献立に関する情報発信	<p>実施時期 食材提供後随時掲載</p> <p>内容 地元食材を提供いただいたことをフェイスブックのほかに羅臼町公式クックパッドに掲載している。また、実際に地元食材を使用した献立のレシピを掲載している。</p>	

(2) 総合学習の時間を利用した取組

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
空知	岩見沢市立日の出小学校	生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、一人一人が正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるようにすること。	栄養教諭による給食指導(食べ合わせ、食べ方など)。(9・12月、教室)	154名
空知	美唄市内小学校 農業体験学習	・作物の栽培から収穫、食べることまでの一連の食農体験を通し、子供達の「豊かな心」「社会性」「主体性」など将来にわたる「生きる力」を育成する。	□時期 稲刈り(9月)、脱穀(9月下旬～10月下旬)、試食会(11月上旬～12月中旬)、学校内野菜、畑作、花壇づくり等(5月～10月) □場所 稲作体験は農家ほ場 野菜、畑作、花壇づくりは学校敷地内	774名 (延べ)
空知	芦別市立芦別小学校 地域協力農家と連携した農業体験学習及び収穫祭	地場産業である農業の「体験プログラム」実施により、栽培と食の関連性を図った取組みを行い、身近な地域産業を理解するとともに、自ら育てた作物を調理し、それを食することで食への関心を高める。	学級園や農業実施者の田畑でとれた米や野菜を調理して試食する。また、実施者を招待するなどして、研究発表会・収穫祭・感謝祭を開催し、感謝の気持ちを伝えている。 【時期】 全学年、収穫後に実施 【参加者】 全児童と保護者 【内容】 全学年、学級園において専門家の協力を得ながら野菜等を栽培している。さらに3・4・5年生は、農業実施者の協力を得て、カボチャ・メロン・米を種まきから収穫の体験学習を行った。そして、自分たちが育て収穫した野菜を味わうとともに協力していただいた実施者への感謝を伝える会を開催した。 市役所農政課・JAなどの協力を得ながら、来年度も実施予定。	全校児童 284名
空知	上芦別小学校 ・稲作体験 ・栽培学習	・専門家の指導のもと体験することで、地場産物などに関する知識・理解を深める。 ・作物栽培とその収穫物を使った調理実習を通し、食に関する知識や理解を深める。	・芦別市JA青年部の協力のもと、田植えから収穫・脱穀までを体験し、収穫した米を使って調理実習を行い、感謝祭兼収穫祭としてJA青年部の方々とともに会食を行った。(5年生対象) ・学級教材園での野菜の栽培活動や、栽培の過程で観察・調べ学習を実施。収穫した野菜は調理実習で活用した。(全学年)	5年生:18名 (全学年85)
空知	芦別市立芦別中学校 ・栽培学習	・特別支援学級における作物栽培とその収穫物を利用した調理実習を通し、食に関わる知識・理解を深める。	・学校菜園で3～4種類の野菜を栽培し、草取りや追肥、水やり、手入れ等に取り組む。収穫した野菜は、芦別市特別支援教育連絡協議会合同調理実習で活用した。	
空知	赤平市立赤間小学校 田んぼの学習	・食事を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心を育む。 ・地域の生産物、食文化や食にかかわる人々への取組を理解し、尊重する心をもつ。	10月ー稲刈り 12月ー収穫祭(活動のまとめ) ※10月稲刈りについては、豊里小、赤間小、茂尻小の5年生が集合して学習を実施。	5年児童 30名、教職員4名、市役所農政課・JA・土地改良区職員、農業関係者
空知	南幌町立南幌小学校 バケツ稲づくり事業	バケツで稲を育てる一連の農作業を通じて、米づくりに対する豊かな感性を養い、広い視野で稲作文化についての理解を深めるとともに食料の大切さを認識する機会を創出するため	○対象 小学4年生 ○場所 南幌町立南幌小学校 ○内容 4月～芽だし 5月～種まき 9月～稲刈り 11月～脱穀・籾摺り・精米 ※精米した米は児童へ配布	40名
空知	奈井江小学校2年生 ポップコーンづくり	原料となるとうもろこしの栽培・収穫を体験することで栽培の苦労や食の大切さを学ぶ。	JA新すながわ青年部の協力で、とうもろこしの栽培体験を行った。6月に植え付けを行い、10月上旬に収穫。例年は10月下旬にポップコーン作りを行うが、今年度はコロナの影響で中止とした。栽培中は収穫まで観察を行った。	30名

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
空知	奈井江小学校5年生 稲作体験	稲作体験や調べ学習を通じて、食の大切さについて学ぶ。	例年は5月に田植え体験を行うが、今年度はコロナによる臨時休業のため稲刈り体験のみを行った。収穫したお米は給食に提供され、関係機関にも配布した。	31名
空知	奈井江小学校6年生 ジャガイモ栽培	ジャガイモ栽培・収穫を通して、障がい者支援施設の入所者と交流を深める。	障がい者支援施設ないえ福祉会を訪問し、入所者と一緒にジャガイモの栽培・収穫を行った。例年は数回行うが、今年度はコロナの影響で1回のみとなった。最後に行う入所者を小学校に招いてのレクリエーションも中止となった。収穫したジャガイモは例年は調理実習で使うが、今年度は中止とした。	32名
空知	上砂川中央小学校 田植、稲刈り体験	次代を担う子ども達が農業とふれあい、興味を持ち、食への関心を深めることを目的とする。	□時期:6月～9月 □場所:小学校グラウンド □対象:上砂川中央小学校5年生 □内容:田植え、稲の世話、稲刈り体験を行った。	10名
空知	栗山町立栗山小学校 キャリア教育活動「田植え・稲刈り体験」	米作り体験を通じ、お米作りの苦労と主食である米の大切さを学ぶ	□時期:令和2年6月1日(月)、令和2年9月24日(木) □場所:長尾農場 □対象:栗山小学校5年児童 □概要:地元水田での田植え及び稲の収穫	66名
空知	栗山町立栗山小学校 4Hクラブとのおどんづくり	栗山町が誇る農業について学び、地域を支える仕事に対する知識を広げ、そこで働く人々の思いを知る。	□時期:令和2年12月15日(火)・16日(水) □場所:栗山小学校 □対象:栗山小学校6年児童 □概要:栗山産の米を使用したおにぎり、栗山産の小麦粉を使用した・うどん・ピザづくり	53名
空知	栗山町立栗山小学校 米作り体験と収穫した米でのカレー作り	地元の水田での田植え・稲刈り体験を行い、とれた米でカレー作りを行う。米作りへの関心を高め、農家の仕事について知り、感謝の気持ちを持つ。	□時期:令和2年12月22日(火)・23日(水) □場所:栗山小学校 □対象:栗山小学校5年児童 □概要:米作り体験で収穫した米を使用したカレー作り	66名
空知	栗山町立角田小学校	米作り体験を通じ、お米作りの苦労と主食である米の大切さを学ぶ	□時期:令和2年6月10日(水)、令和2年9月28日(月) □場所:角田小学校 □対象:角田小学校5年 □概要:地元水田での田植え及び稲の収穫	8名
空知	栗山町立継立小学校 キャリア教育活動「稲作体験学習」	米作り体験を通じ、お米作りの苦労と主食である米の大切さを学ぶ	□時期:令和2年5月18日(月)→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、片山さんに田植えを依頼 令和2年9月14日(火) □場所:継立小学校 □対象:継立小学校3年～6年児童 □概要:地元水田での田植え及び稲の収穫	36名
空知	栗山町立継立小学校 ハロー-ENJOYつぎたてのおどんづくり	地元の多機能型支援事業所から講師を招き、老人クラブと協働で道産食材を使用したうどん作りを行い、農業や福祉について学ぶ	□時期:令和2年7月4日(土)→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 □場所:継立小学校 □対象:継立小学校全校児童 □概要:北海道産小麦粉を使用したうどんづくり 地産地消に関する説明	49名
空知	栗山町立継立小学校 米作り体験と収穫した米でのカレー作り	地域の水田での田植え・稲刈り体験を行い、とれた米を試食する。米作りへの関心を高め、農家の仕事について知り、感謝の気持ちを持つ。	□時期:令和2年11月17日(火) □場所:継立小学校 □対象:継立小学校全校児童 □概要:ふるさと給食の日の献立である牛丼を食べる際に、稲作体験学習で収穫した米を使用した。	51名
空知	栗山町立継立小学校 4Hクラブとのおどんづくり	栗山町が誇る農業について学び、地域を支える仕事に対する知識を広げ、そこで働く人々の思いを知る。	□時期:令和2年12月→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 □場所:継立小学校 □対象:継立小学校5年児童 □概要:栗山産の米、小麦粉を使用したおにぎり・うどん・ピザづくり	14名
石狩	千歳市立緑小学校	食育	10月 本校理科室(学級事に実施) 「一粒の豆から」と題して、大豆を通じた食の広がり、生きる知恵など、発酵のしくみや保存できることのすばらしさなどを理解する。 たった一粒の豆が目を出し、生長して実を増やし、それらが豊かな食文化を支えることを知り、身近な食への好奇心と感謝の思いを育む取組。 今年度はキッコーマン工場への見学が叶わなかったが、トモエ醤油の工場長であり醤油ものしり博士に来校願ひ、実験形式で学びを深めた。	3年生 82人

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
石狩	千歳市立富丘中学校	健康な体と豊かな心を育むために、食習慣を改善する必要性に気づき、実践しようとする態度を養う。	令和3年3月4日 富丘中学校 体育館 ・千歳市養護教諭による講話。 中学生の一日の摂取カロリーと5大栄養素との関り。食品摂取の種類や量による健康維持促進・心と体のバランスについて。	182人
石狩	千歳市立勇舞中学校	「食」の重要性を学ぶ	令和3年2月24日6校時に1年食育集会として行った。千歳市に勤務する栄養教諭を招き、実際の給食メニューを例に挙げ、バランスの良い食事をする事の大切さを講演して頂いた。	231人
石狩	石狩市立石狩八幡小学校 3年:ふるさとの郷土料理「石狩鍋」	地域の自然・産業・伝統文化に関心を持ち、作物の栽培や、地域の散策などから人々の工夫や努力に気づく	4～10月…食材の栽培 11月…石狩で有名な食材(鮭)についての調べ学習 2月3日(水)…地域の方をGTにお招きし、鮭の解体を実演していただいた。当初は、その鮭を材料に石狩鍋を作る予定であったが、感染症対策の観点より、今年度は調理を中止した。 2月…まとめ・発表	3年生児童15名
石狩	石狩市立生振小学校 ユネスコファーム・学校田活動	・ESDの考え方を取り入れた教育活動を通して、食料生産や販売の過程を学び、食育の素地となる態度を育てる。	時期 4月 もみまき 5月じゃがいも植え付け 6月 田植え・枝豆・カボチャ・トウモロコシ植え付け 8月 じゃがいも収穫 9月 稲刈り・収穫・販売会開催 12月カボチャ販売 3月米袋の作成	92人
石狩	石狩市立緑苑台小学校 エゾシカ食育出前授業	エゾシカの有する多面的な価値や環境保全の重要性について学習するための機会として講師による講義とエゾシカ肉の試食を行う。	北海道環境生活部環境局エゾシカ対策課による食育授業(5年生)	62
石狩	石狩市立浜益小学校	農業体験を通して、農業の大切さを理解するとともに、自然の恵みに感謝し、地域への理解を深める。	5月…田植え体験【地域の水田】 9月…稲刈り体験【地域の水田】 11月…調べ学習(田起こし、苗づくり、田植え、防除、稲刈り等) 12月…収穫祭(異学年グループによる発表会、もみすり・精米体験)	児童24名
石狩	石狩市立花川南中学校1年生	・毎日規則正しく食事を摂ることができる。・成長期に必要な栄養や食品に含まれる栄養素について理解する。・食品の安全で衛生的な取り扱いができる。	時期:12月14日(月) 4校時目 場所:石狩市立花川南中学校体育館 内容:中学生に必要な栄養について知ろう	97名+教員3名
石狩	石狩市立花川南中学校2年生	・食環境と自分の食生活との関わりについて理解することができる。・身体の発達に必要な栄養や食品に含まれる栄養素の種類と働きを知り、自らの健康を保持増進しようとする。	時期:3月2日(火) 3校時目 場所:石狩市立花川南中学校体育館 内容:おやつのお食べ方について考えよう	99名+教員3名
石狩	石狩市立花川南中学校3年生	・生活の中で食事が果たす役割や健康とのかわりを理解する。・自分の生活や将来の課題をみつけ、自らの健康を保持増進するために望ましい生活習慣を実践しようとする	時期:10月14日(水)4校時目場所:石狩市立花川南中学校体育館 内容:受験期に必要な栄養について知ろう	75名+教員2名
石狩	石狩市立浜益中学校 栄養教諭による食指導「中学生に必要な栄養を考えよう」	中学生において必要な栄養素について学習し、バランスの良い食事をとれるようになる。	令和2年7月8日(水)、厚田中学校栄養教諭 佐藤実花先生を講師に全学年で学習を行った。栄養のバランスを考えた献立を考えることで望ましい食生活を知ることができた。	15
石狩	石狩市立浜益中学校 りんご生産体験学習	浜益の産業を理解するとともに、りんごの生産にまつわる苦労や工夫、りんご生産の歴史を学ぶ。	★6月～10月 木村果樹園 ・6月9日:果樹園の1年の流れの概要を理解する。 果樹の防虫作業(フェロモン剤付け)を実際に行う。 ・7月7日:果樹の摘果作業の行程を理解し、実際に行う。 ・10月1日:果樹の葉摘み作業の工程を理解し、実際に行う。 ・10月26日:りんご収穫を通して植物の生長の経過の観察をする。	6
石狩	石狩市立浜益中学校 漁業体験学習	浜益の産業を理解するとともに、漁業(ホタテの養殖)にまつわる苦労などを学ぶ。	★11月10日 浜益漁港 ・ホタテ年間作業内容説明 ・ホタテ施設についての説明	6

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
石狩	石狩市立浜益中学校 芋掘り体験	農家の芋掘りを一緒に手伝い、その苦勞を学ぶ。	★8月22日 寺山ファーム ・芋掘りを農家の人と一緒に体験 ・掘ったイモは、浜益PR学習での街頭配布用としていただいた	4
石狩	新篠津小学校 ○わくわくプロジェクト(おいしいお米を作ろう！)	○自然・社会とそこに生きる人々との関わりの中で、体験を通して課題を発見し必要な情報を収集し分析を行う。	○時期:令和2年5月～令和2年11月 ○場所:みのり農園、小学校家庭科教室、食堂 ○対象:小学校5年1組 ○概要:調理実習、地域の方との交流	74
石狩	新篠津小学校 ○わくわくプロジェクト(小豆と作って、お汁粉を作ろう！)	○小豆の栽培活動や汁粉作りを通して、人々とのふれあいや食の大切さを学ぶ。	○時期:令和2年5月～令和2年10月 ○場所:学習園、小学校家庭科教室 ○対象:小学校6年1組 ○概要:調理実習、地域の方との交流	21
胆振	登別市立若草小学校 「朝ごはんのミラクルパワー」	朝食や生活リズムの大切さを学ぶ。	□対象 小学校2学年 □実施時期 8月25日 □内容 各学級で、明治の職員より、朝ごはんや生活リズムの大切さについて学んだ。 □成果と課題 自分の体に興味を持ち、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいた。	2年生:57名
胆振	登別市立若草小学校 「正しい食習慣と生活習慣」～おなか元気教室～	胃や腸の働きを整える規則正しい生活リズムについて知る。	□対象 小学校3学年 □実施時期 8月28日 □内容 各学級で、ヤクルトの職員より、胃や腸の働きや生活リズムの大切さについて学び、クイズ形式で腸の長さや消化器官の機能について答えたりした。 □成果と課題 自分の体に興味を持ち、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいた。	3年生:39名
胆振	登別市立若草小学校 「望ましいおやつのおべ方」	1日の望ましいおやつのおべ方について学ぶ。	□対象 小学校4学年 □実施時期 11月13日 □内容 多目的ルームで、普段実際に食べるポテトチップスの摂取量を計ったり、クイズに答えたりして、カルビー職員より望ましい1日のおやつのおべ方について学んだ。 □成果と課題 子どもたちの大好きなポテトチップスが教材のため、子どもたちは意欲的に学んでいた。	全校児童257名
胆振	登別市立若草小学校 「骨の成長に大切なことを考えよう」	給食に出る牛乳の栄養、骨の成長、牛乳が出来るまでについて学ぶ	□対象 小学校6学年 □実施時期 11月4日 □内容 雪印メグミルクの職員より子どもたちが給食で毎日飲む牛乳の豊富な栄養と大切さについて学んだ。 □成果と課題 外部講師による専門的な指導により、楽しく活動できた。	6年生:48名
胆振	登別市立青葉小学校 「もっと知りたい北海道」	地場産業を学ぶ	1月下旬に白老のたらこ工場(竹丸渋谷水産)において、4年生児童が、たらこ工場を見学、パック作りを体験させていただき、食の安全・安心について学ぶとともに、そこで、働いている人の苦勞や喜びについて学ぶ。	4年生:41名
胆振	むかわ町内小学校／農業体験授業	食農体験	10月に稲刈りから結束までを行う農業体験授業を実施した。	約30名
日高	新ひだか町 静内農業高校	卒後の自立に向けて栄養管理の重要性を知る	日程:令和2年11月11日(水)13:15～14:05 対象:静内農業高校第3学年 スタッフ:保健師・栄養士 内容:「知らない人よりも絶対オトクな食事のとり方」をテーマに栄養バランスのとり方、朝食摂取、塩分摂取、嗜好飲料の糖分について、「がん予防」について	30
渡島	松前町／ 松前町立大島小学校 松前町立小島小学校 松前町立松城小学校	食に関する指導	1年生:「給食ができるまで」～給食がみんなのもので届くまで 2年生:「嫌いな食べ物と仲良くなろう」～様々な食べ物の働きを知ろう 3年生:「食事のマナー」～楽しく食事をするためのマナーを知ろう～ 4年生:「食事マナー」～マナーに気をつけて食事を楽しもう～ 5年生:「成長期と食物の関係」～おやつのおべ方について考えよう～ 6年生:「小学校生活の給食を振り返ろう」～自分の心と体の成長に気が付こう～	146
渡島	森町森小学校／ セレクト給食	バランスを考えて料理を選び、食事を作る人への感謝の心を育む	町内全小学校5、6年生を対象に、栄養教諭による「食に関する指導」の中で、栄養バランスや下級生のことを考えながら献立を考える	55
渡島	森町森鷲の木小学校／ セレクト給食	バランスを考えて料理を選び、食事を作る人への感謝の心を育む	町内全小学校5、6年生を対象に、栄養教諭による「食に関する指導」の中で、栄養バランスや下級生のことを考えながら献立を考える	28

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
渡島	森町森濁川小学校／セレクト給食	バランスを考えて料理を選び、食事を作る人への感謝の心を育む	町内全小学校5、6年生を対象に、栄養教諭による「食に関する指導」の中で、栄養バランスや下級生のことを考えながら献立を考える	5
渡島	森町森駒ヶ岳小学校／セレクト給食	バランスを考えて料理を選び、食事を作る人への感謝の心を育む	町内全小学校5、6年生を対象に、栄養教諭による「食に関する指導」の中で、栄養バランスや下級生のことを考えながら献立を考える	6
渡島	八雲町熊石中学校／中学生食育講座	望ましい栄養知識や食事の摂り方を理解し、「生活習慣病予防」につながる。	熊石中学校1年生を対象に、生活習慣病とはどんな病気なのかを知るとともに、熊石地域の健康課題について触れ、自分の生活を振り返りながら今後の生活でどんなことに気を付ける必要があるのかを学習した。	9
檜山	上ノ国町立河北小学校「さつまいもやキヌサヤを使った料理体験」	子どもの健全育成を目指し、食育の大切さを学び、好ましい食習慣と豊かな心を育てる。	【実施日】令和2年11月27日 【対象者】5・6年 【講師】檜山振興局農業改良普及センター 上ノ国町農業士 【内容】さつまいもやキヌサヤを使った料理体験	5人
檜山	上ノ国町立河北小学校「学級園を活用した栽培体験・調理活動」	地域の方に教えてもらいながらの栽培や収穫、調理などの一連の活動を通して、農業や食への関心を高める。	【実施日】令和2年5月中旬～10月 【対象者】全学年 【内容】各種野菜等の栽培活動、収穫体験、調理活動	25人
檜山	上ノ国町立河北小学校「そばづくり体験」	そばの栽培から収穫、脱穀などの一連の食農体験を通して、農作業や食品加工についての知識を学ぶ。	【実施日】令和2年6月～令和2年1月 【対象者】1年生、2年生 【内容】そばの栽培や脱穀、そば打ちを体験する。	11人
檜山	上ノ国町立滝沢小学校「学校園を活用した栽培活動」	学級農園で作物を育てる活動を通し、大変さや喜びを知り、食べ物大切に作る気持ちや生産に関わる人々への感謝の心を育てる。	【実施日】5月下旬～10月 【対象者】全学年 【内容】各種野菜等の栽培活動及び調理実習	9人
檜山	乙部小学校 米作りについて調べよう	米作りについて調べたり、体験したりすることによって、「米作り」や「食」に対する考えや意見を持てる児童の育成を目的としています。	6月→①田植え(バケツ稲) 8月→②かかし作り 10月→③稲刈り 12月→まとめ発表 ※①、②、③については役場産業課、水土里の会の方々の協力を頂き、体験活動を行っています。 ※上記以外では、総合的な学習の時間で継続して米作りについての学習を行っています。(図書室の資料やインターネットを利用して米作りについて調べるなど) また、学校裏のミニ水田で育てた稲を刈り取り、脱穀や精米、炊飯などの食べるまでの過程を体験し、米や食に対する関心を高めています。	16名
檜山	栄浜小学校 ふるさと学習(米作りや栽培学習)	自分たちの手で栽培したモチ米や地域の特産品を使った調理など、食を通してふるさとの良さに気づくとともに誇りに思う児童を育成することを目的としています。	6月→田植え(全学年) 10月→稲刈り(全学年) 12月→ふるさと発表会(参観日) ※モチ米やじゃがいもが出来上がるまでの過程を理解するために、年間を通じた見学や体験を行っています。	9名
檜山	明和小学校 ふるさと教育(地域一体型学習)	1→地域に関心を持ち、スケソウやヒラメ等についての漁業について学習を深めます。 2→自分たちで育てた餅米を使って、餅つきなどの体験をすることにより、ふるさとの良さを感じます。 3→食材を調理したり、味わったりすることで食についての関心を高める機会とします。	5月→ハウスの苗植え作業、大豆学習 6月→田植え(学校前)、大豆植え 10月→稲刈り体験、豆収穫 11月→脱穀作業 12月→スケソウを味わう会(調理・試食)	13名

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
檜山	今金小学校(今金町) 各学年における食の指導	・食物を大事にし、食物の生産などに関わる人々へ感謝する心を持つ。(感謝の心) ・各地域の産物、食文化や成長にかかわる歴史などを理解し、尊重する心をもつ。(食文化)	・1年生「野菜作り」 ・2年生「野菜作り」 ・3年生「日本一の今金男しゃく」、「箸の知育教室」 ・4年生「野菜から食を学ぼう」 ・5年生「今金米から食を学ぼう」 ※6年生は家庭科の時間でバイキング給食を実施	1年:27名 2年:36名 3年:33名 4年:30名 5年:36名 6年:26名
檜山	種川小学校(今金町) 各学年における食に関する指導	・食物を大切に、食物の生産にかかわる人々へ感謝する心を持つ。(感謝の心) ・各地域の産物、食文化歴史などを理解し、尊重する心をもつ。(食文化)	○全校児童 ・ビニールハウスでの野菜作り ・ふるさと先生によるしいたけ、なめこ栽培、収穫作業 ・バイキング給食 ○3～6年生 ・ふるさと先生による畑での野菜栽培、収穫作業	1年:3名 2年:8名 3年:4名 4年:6名 5年:4名 6年:1名
上川	士別市 市内小学校 農業学習	農業に対する理解を深め、 食育への関心を深める	対象:市内小学校(3～6年生) 地域生産者(みのりの先生)との交流・自分たちで育てた作物の販売や食事会の実施	6校
上川	名寄市 市内各小学校	農作業を通じて、相互協力の大切さや自ら育て収穫する楽しさや喜びを知り、食の大切さや感謝の気持ちを育む	総合的な学習における農業体験、食の指導、また栄養教諭を活用した栄養に関する授業の実施	
上川	当麻町立当麻小学校 ・当麻の米作りにかかわる学習(4～6年) ・5年「お米から見える世界」	地域の基幹産業である稲作を調べる活動を通して、食文化や食品の生産・流通・消費について理解を深めるようにする。	1 田んぼの作業を体験しよう (1)用水路の見学、苗の観察 (2)田植え体験(町民田植え祭) (3)生育体験 (4)稲刈り体験(町民収穫祭) 2 お米のひみつを調べよう 3 お米のひみつを紹介しよう	4年生以上 150名
上川	愛別町幼児センター あいべつ体験農園	農作業の種まきから収穫まで一連の作業体験を通じて、食に対する関心、感謝の気持ちをもって食べるということを養う。	・幼児自らじゃがいもの収穫を行う。(例年は作付も行っているがコロナウイルス感染症予防の観点から保育士のみで行った。)・作付作物:じゃがいも	48名
上川	愛別小学校 学校 愛別中	減塩の必要性や正しい知識を学期に身につけることで、児童・生徒及びその家族の減塩に対する意識を高めること。	実施時期:令和2年11月中対象:愛別小学校の児童91名及び愛別中学校の生徒65名 概要:児童・生徒1人ずつに対して、減塩リーフレット、減塩商品、減塩の日のポケットティッシュを配布する。	156名
上川	美瑛町内各小学校	美瑛町の基幹産業である農業の体験や見学・調理・学校での栽培を通して、美瑛町の農業や作物の生長について考える。	3年から6年生の各学年に農業に関わる単元を設定し、地域の農家等と連携し、美瑛の農業や農産物の加工・出荷について知る機会とした。また、実際に作物を育て収穫する実習を行った。	
上川	和寒小学校(3年)／和寒キャベツ調べ隊	総合的な学習において郷土の農業について課題設定し、追究する学習を行っている。	・3年生「和寒キャベツ調べ隊」・・・和寒町の農業についての学習・・・農想塾の協力により越冬キャベツの収穫～試食などを通して学習を行った。 ○キャベツについて調べよう(1学期) 種まき体験を通して、キャベツ作りへの関心を高める。 ○収穫体験をしよう(2学期) キャベツの成長の様子を観察し、農家の人たちと収穫体験を行う。 ○食べ比べよう(3学期) 味を比べながら、試食体験を行う。1年間のまとめとしての発表会を行う。	25人

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
上川	和寒小学校(5年)／和寒町のお米の歴史について学ぼう	総合的な学習において郷土の農業について課題設定し、追究する学習を行っている。	・5年生「和寒町のお米の歴史について学ぼう」・・・和寒町の米作りについての学習・・・田植え、稲刈り、試食など年間を通して学習を行った。 ○田植え体験しよう 和寒町で育てられてきた10品種の苗をそれぞれグループで植える。 ○和寒町以外の稲作やお米についても調べよう 道内・道外の稲作について調べ学習を進める。 ○稲刈り・はさがけを体験しよう 稲刈り・はさがけをグループに分かれ体験 ○カントリーエレベーターを見学しよう 脱穀作業・カントリーエレベーター見学(手塩の大地)・千歯こきを使用して脱穀作業 ○お米の食べ比べをしよう 和寒町で作られてきたお米の食べ比べを行う。 ○和寒のお米について 和寒のお米の歴史について再確認する。	25人
留萌	小平町立小平町小学校	・栄養バランスのとれた食生活や正しい食習慣を身につける。 ・食事の組合せや食事量、食品の持つ様々な機能性など食と健康の正しい知識を学ぶ。 ・各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊敬する心を持つ。	対象:3年生 ・「給食パワー」というテーマで栄養素についての講話を聞き、給食の献立を考え、自分たちで考えた給食を食した。 ・「日本全国のお雑煮について」や、「生乳がどのように食品になるのか」をインターネットを活用して調べ、ポスターを作成し、公共施設に掲示し地域の方に学んだことを見てもらった。	10
留萌	北海道天塩高等学校 「高校1年生食育教室」	①事例を通して自分たちの生活習慣を振り返る。 ②理想的な生活習慣について考え、話し合う過程を通して、自らの健康を見直し自己管理できる力を伸ばす。 ③高校生の望ましい生活習慣(食事・睡眠)について正しい知識・情報を得る。	高校と行政の協働により平成16年度より事業を展開。 【実施日】7月20日(月) 【場 所】高校芸術室 【対 象】高校1年生2クラス 【内 容】 ・保健師によるアイスブレイク・グループワーク・まとめ A君の事例を通して良いところ・悪いところを考える ⇒食事のバランスは何をどのように変えるとよいかを話し合う ・管理栄養士講話「望ましい間食のとり方・ジュースの糖分量について」	43名
宗谷	稚内市立増幌小中学校	栽培活動	総合の時間栽培した作物を例年は調理して食べていたが、今年度は感染予防のため、家庭に持ち帰って調理してもらった。	10名
宗谷	稚内市立稚内東中学校	自らの食生活を見直し、食事の取り方について考える。	栄養教諭が2年生を対象に「成長期の食事」についての授業を行った。成長期に必要な栄養と自らの食事についてを中心に、ペアワークを取り入れ進めた。(11月)	53名
オホーツク	北見市立相内小学校	テーマ 「ふるさと大発見」 「様々な活動や体験を通して自立への基礎をさらに養う」	『稲作活動』・児童の関心・意欲に基づく学習など創意工夫を生かした教育活動を行う。・地域素材を生かし、自然、文化、産業、環境、国際理解などの分野から各学年の課題を見つけ、体験的な活動や見学・調査・観察などの探求活動を取り入れながら問題解決力を育てる。令和2年6月3日全校田植え(相内小なかよし田んぼ) 令和2年9月16日 全校稲刈り(相内小なかよし田んぼ) 令和2年10月9日 4・5年脱穀、精米(相内小校舎敷地内)	90名
オホーツク	北見市立若松小学校	・さまざまな作物の栽培を通して、自分たちの食生活や健康との関りについて気づき、自分の生活に生かそうとする。	5月・・・地域の老人クラブの方と一緒に作物の植え付けをする。 5月～9月・・・低学年は生活科、中・高学年は総合的な学習の時間を中心に草取りをしたり観察をしたりしながら、作物を育てる。 9月・・・全学年で収穫した野菜を使って、カレーライスを作って収穫祭を行う。 11月・・・収穫した小豆や白花豆をつかって餠を作り、もちつき会行って収穫の喜びを味わう。	30名
オホーツク	北見市立常呂小学校	常呂町の農業について、どんな作物がどのようにつくられているのかを知るとともに、生産者の声を聞いたり収穫作業を体験したりすることを通じて、農業に対する興味や関心をもつきっかけとする。	・5月、講話及び作付け作業 ・10月、講話及び収穫作業 ・常呂町内JAと所有の畑で行う。	錦水小 川治小 常呂小 3・4年生 JAと 青年部 計50名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
オホーツク	北見市立東陵中学校	・日々の給食について、給食センターではどのように献立を作成しどのように調理しているかを知り、学校給食が成長期である中学生に必要な栄養を満たすように考えられていることを理解する。 ・適切な栄養摂取の面から、残食調査、アンケート調査の結果を踏まえ今後給食の食べ残しを減らし、改善しようとする意欲をもつ。	・1月下旬実施 ・体育館 ・北見市の栄養教諭に來校していただき、講話してもらう。	70名 (1年生)
オホーツク	地場産物に興味をもとう 網走市立呼人小学校	食育健康指導	時期:9月又は11月 場所:各学年の教室 対象:小学3・4年生、小学5・6年生 講師:網走市立潮見小学校 栄養職員 剣持 瑞帆 網走市立西が丘小学校 栄養教諭 畠山 みほ 内容:「地場産物に興味をもとう」という題材で、給食で使う多くの食材が網走でつくられたものであることを学習した。実際に食材を見たり、給食のメニューと結び付けたり、子ども達にとって地場産物が身近に感じられる内容だった。網走の地場産物に対する子ども達の興味関心を高めることができた。	20名
オホーツク	網走市立潮見小学校 食に関する指導～給食が出来るまで	給食メニューの構成や食事バランスの考え方から、実際に給食が出来るまでの工程を説明し、欠食せずバランス良く食べる力を身につける。	時期:2月 場所:小学5年生教室 対象:小学5年生 内容:体の働きや食材をバランス良く選ぶ方法などを給食を交えて説明し、摂取する大切さについて指導した。	86名
オホーツク	小清水町立小清水小学校 4学年総合的な学習	・地元の食の生産・食の安全に関する授業 ※地元の野菜が「どの様に収穫・出荷され家庭に届くのか？」を体験し、食の生産・安全について学ぶ	・4学年の児童がアスパラの収穫体験及びJAこしみず集荷場内を見学している 【時期】令和2年6月	38名
オホーツク	小清水町立小清水中学校 栄養指導及び給食指導	・成長期における栄養摂取の重要性を知ることにより、食に対する興味・関心を高める。 ・給食がどれだけ考えられて作られているかを知ることにより、給食のありがたさと大切さに気付かせる。	【対象者】小清水中学校 2年生 【時期】令和3年3月5日(金)・9日(火) 【内容】栄養教諭による栄養指導及び給食指導	28名
オホーツク	佐呂間町内各小学校 「水産学習」 ・ほたての解体(5年) ・鮭の解体(6年)	・地元の特産品の理解 ・生産者との交流	10月～11月 各学校家庭科室 漁業組合の方が講師として來校していただく。	63名
オホーツク	大空町女満別小学校 大空町東藻琴小学校 ファームスクール 「稲の成長調査、稲刈り」	稲の成長過程の調査、稲刈りを通じて、農業への理解と食料の大切さを認識することを目的としている	女満別地区の稲作農家の圃場を借りて指導してもらう。 ・稲の成長過程の調査:7月上旬実施(分けつ調査やスケッチなど) ・稲刈り:9月中旬実施(鎌で刈り取り麻ひもで縛る) ・女満別小:4年生、東藻琴小:5年生	約50名
オホーツク	大空町女満別小学校 大空町東藻琴小学校 ファームスクール 「カボチャ播種、除草等、収穫」	カボチャの栽培を通じて、農業への理解と食料の大切さを認識することを目的としている	女満別地区の(株)大地のMEGUMIの協力で圃場を借りて指導してもらう。 ・播種:6月上旬実施(手植え作業) ・除草作業や根の生育調査:7月中旬ごろ実施(マルチビニール剥きなど) ・収穫:9月下旬実施(手作業でひとつずつもぎ取る) ・女満別小:6年生、東藻琴小:6年生	約50名
十勝	音更町立下音更小学校/ ふれあい農園農作業体験	農作業体験をおして食を育む機会を提供し、音更町の基幹産業である農業や農産物について学ぶとともに、播種から調理加工までの一貫した食育を行うことを目的とする。	「ふれあい農園」を開設し、種まきから収穫、調理加工まで一貫した作業指導を行うことで、農業を理解する場や食育の場として活用している。 場所:ふれあい交流館ふれあい農園	下音小: 104名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
十勝	屈足南小学校/食育指導	小学生児童の給食指導	場所 屈足南小学校 講師 新得小学校栄養教諭 12/14 5・6年生 栄養バランスを考えて食べよう 3・4年生 丈夫な体を作ろう 12/15 1年生 牛乳のすごさを知ろう 2年生 よく噛んで食べよう	45
十勝	新得小学校5年	日本人の主食である米について田植えから収穫、炊飯まで学習した。	共働学舎の協力の下、6月に田植え、10月に稲刈り、12月に米を炊飯し、給食のおかずと一緒に食べた。また、米の品種や産地についても調べ学習を行った。	36
十勝	新得中学校/食育教室	中学生時代の食事に係る教育	場所 新得中学校 講師 新得小学校栄養教諭 3/1 1年生 「食品ロスについて」 3/2 2年生 「食とスポーツ(運動と栄養)」 3/5 3年生 「日本食と世界の食(食文化)」	86
十勝	上更別小学校、更別小学校	更別村を支える農業を体験し、農業を生業にしている方の苦労や大変さなどを学び、食物や生産者への感謝の気持ちを育む。	学校農園(平成26年度より校舎の近くに農園を移設)を活用し、各学級単位に選定した作物を栽培し、秋の収穫祭にて収穫した作物を持ち帰ってもらい食すことで、更別の特産物等への理解を深めることができた。(上更別小学校) JA青年部とかぼちゃを栽培、交流活動として春の苗植え、9月7日の収穫を行い、地域の基盤産業を年間の流れを体験することができた。また、更別農業高校の生徒を講師として野菜の種類や育て方を学んだ。(更別小学校)	156名
十勝	大樹小学校3年生 「大豆を育てる」	JA大樹町「畑の先生」の指導のもと、大豆を蒔いて育てて収穫する。	時期:5月~11月 JA大樹町の青年部と一緒に大豆を蒔き育、収穫後した大豆を味噌に加工した。	45
十勝	大樹小学校4年生 「秋サケの食育授業」	大樹漁協女性部、漁業士の指導のもと、秋サケを使って食育の学習の一貫として調理実習をする。	時期:10月 地元の漁師さんから定置網を使った秋サケ漁の様子を学んだ後、大樹漁協女性部の皆さんの指導のもと、取れたての秋サケを使って調理実習に取り組んだ。	48
十勝	大樹小学校3年生 「ポップコーンづくり」	JA大樹町「畑の先生」の指導のもと、ポップコーン用とうもろこしを蒔いて育てて収穫する。	時期:5月~11月 JA大樹町の青年部と一緒に加工用とうもろこしの種を蒔いて育て、収穫後、畑の先生指導のもと、ポップコーン作りを行った。	45
十勝	幕別小学校食育事業	幕別町で生産されている農畜産物について理解を深めるとともに、安全で美味しい食材の提供に対する感謝の気持ちを育むことを目的としている。	11月26日(木) 幕別小学校体育館 第3学年の社会科授業の一環として実施。 JAまくべつ青年部の協力を得て、「幕別町の農業を知ろう」を授業テーマとし、青年部員がスライドを用いて、長いもとビートの栽培風景の紹介や流通経路、酪農の搾乳や給餌等について、実際の作物や飼料の実物を用いて説明いただき、生産者の実情(苦労している点など)を話していただいた。	児童 29名
十勝	札内南小学校食育事業	幕別町で生産されている農畜産物について理解を深めるとともに、安全で美味しい食材の提供に対する感謝の気持ちを育むことを目的としている。	12月8日(木) 札内南小学校図工室 第4学年の総合的な学習の授業の一環として実施。 総合的な学習で本町の特産品である長芋と馬鈴薯についての調べ学習をする中で、JAまくべつ青年部の協力を得て、青年部員がスライドを用いて、長いもと馬鈴薯の栽培風景の紹介や流通経路等について説明いただき、生産者の実情(苦労している点など)を話していただいた。	児童 99名
十勝	白人小学校食育事業	幕別町で生産されている農畜産物について理解を深めるとともに、安全で美味しい食材の提供に対する感謝の気持ちを育むことを目的としている。	12月9日(水) 白人小学校体育館 第3学年の社会科授業の一環として実施。 JAまくべつ青年部の協力を得て、「幕別町の農業を知ろう」を授業テーマとし、青年部員がスライドを用いて、長いもとビートの栽培風景の紹介や流通経路、酪農の搾乳や給餌等について、実際の作物や飼料の実物を用いて説明いただき、生産者の実情(苦労している点など)を話していただいた。	児童 33名
釧路	釧路町立昆布森中学校	地域素材を生かした調理学習	令和3年3月8日 釧路町立昆布森中学校3年生8名 「鮭と長いものバター醤油照り焼き」	8名
釧路	標茶町立標茶小学校	食を通じた健康やマナー等の指導	年間計画にそった指導全学年1時間~2時間 3年生は、高校生とトマト栽培から調理、まとめまで10時間程度	
釧路	弟子屈町立和琴小学校/「農園活動」 「収穫祭」	学校農園での体験的な活動、地域の農作物についての探求的な活動を通して地域の人たちや産業のすばらしさについて学ぶ。	地域で作られている野菜を知り、育て方や調理法を調べ、自分たちで育てると共に「収穫祭」で調理し食べることを通して、地域の良さや地域で働く人たちのすばらしさを体験を通して学ぶ。 (時期は4月~10月 場所 学校農園 等)	20人
釧路	奥春別小学校	食への興味・関心を育む	バランスの良い献立を考える、食べ物を3つのグループに分ける	13人

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
釧路	和琴小学校	食べ物の働きをしる。	バランスよく食べよう。	8人
釧路	白糠町立白糠小学校	白糠の産業である食とおし、ふるさと白糠のすばらしさを知る。	学校給食で使用されている白糠産の食材から、調べてみたい食材をしぼり疑問点なども含め多方面から調べた。 そして、それをどのように発信していくかを考え、パワーポイントに、まとめ発表した 時期 令和2年6月～2月 場所 白糠町立白糠小学校	児童28名 教師2名
根室	根室市立光洋中学校	健康な体と食生活は、密接に関連していることを伝える。	栄養教諭が各学級で、健康な体づくりには適切な食事が重要であることを伝える授業を行っている。 養護教諭が、食に関する知識や考え方を保健便りで伝えている。また、廊下に掲示物を掲示し食事環境の重要性を知らせている。	221名
根室	根室市立歯舞学園(後期課程)	地元の産業と関連して食材についての理解を深める。	こんぶ醤油などの地元産品についての調査活動を行い、地元のPRとしてポスター等の作成を通して理解を深めている。(通年)	52名
根室	根室市立落石中学校	自然の恵みに対する感謝の心よ培うとともに、地場産物への理解や関心を深める	・適宜、給食時に担任が各教室にて残食や偏食等食の指導を行う。 ・市が行う「ふるさと給食」(年4回)時に、配布文書に沿って説論を行う。 ・月1回全校給食を実施する中で、食事のマナーや衛生、健康面について指導している。	37名
根室	根室市立海星中学校	食育指導	年一回、近隣の栄養教諭を講師に、食事のマナーや作法、食事の必要性や栄養についての授業を実施。	22名
根室	根室市立海星小学校	食育指導	年一回、近隣の栄養教諭を講師に、食事の作法、食事の必要性についての授業を実施。	32名

(3) 幼稚園の取組

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
空知	美唄アカシア幼稚園 美唄めぐみ幼稚園	食育に関する取り組みを通して、地元の生産者や農業についての様々な理解を深めるとともに、体験を通じて興味を促すことで、子どもたちが農業について考えるきっかけを与える。	・とうもろこし収穫体験の実施 時期:8月27日 場所:市内ほ場	50名
空知	赤平市立赤平幼稚園	・生育過程を見たり、世話をしたことで収穫できるようになったことを体験することで、不思議さを感じたり、食べ物の大切さや作る人への感謝の気持ちをもつ。 ・日本の伝統行事であるもちつきを体験することで、もち米やもちができる様子について学んだり、作ってくれる人への感謝の気持ちを育む。	・いも植え(6月)、いも掘り(9月)~園庭の畑 ・稲刈り体験(9月)~地域にある農家さんの田んぼで年長児が体験 ・もちつき大会(12月)~園内体育館でもち米を蒸している様子を見たり臼とを使って餅つきを体験	全園児40名 年長児17名
空知	うたしなない認定こども園あおぞら お弁当の日	お弁当を通して、親子のコミュニケーションを深め、保護者の食意識を高めるとともに、園児の食を楽しむ気持ちを育むことを目的とする。	時期:6月.7月.9月.10月.11月.12月.2月.3月の年8回 場所:こども園 内容:手作りお弁当を持参	264名
空知	うたしなない認定こども園あおぞら りんご収穫	りんごの収穫体験を通じて、食を楽しむ気持ちを育むことを目的とする。	時期:9月 場所:砂川市三谷果樹園 内容:園児によるりんご収穫	20名
空知	うたしなない認定こども園あおぞら 食育講話	保護者が子どもの食について関心を持ち、望ましい食生活の実践につなげることを目的とする。	時期:10月 場所:こども園 内容:管理栄養士による保護者向け食育講話 『食育について、栄養バランスについて』	5名
空知	上砂川町認定こども園ふたば 食育の日	○健全な食生活を学ぶ	□時期 毎月19日 年12回 □場所 認知絵こども園ふたば □内容 毎月19日に町栄養士が給食と一緒に食べ園児の食べ方や好き嫌いなどの実態把握を行い、課題解決に向けた健康教育を実施。 3色食品群、三角食べ、野菜の旬と栄養価、食べ物の消化とウンチについてなどについて健康教育を食育サポーターと実施。	延べ222名
石狩	札幌市幼児教育センター/ 札幌市立幼稚園(9園) 弁当指導	○弁当指導等を通して、幼児期の食生活に関心をもてるよう保護者啓発を行う。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、子どもたちが弁当を食べている様子を保護者が参観し、他の幼児の弁当の中身を見て栄養バランス、量などを考える機会を設けた。弁当の写真を掲示板に提示したり、懇談時に安心安全な食事について伝えたり、食べきれぬ量、食べやすい形状などについてお便りで知らせた。 ■成果 ・子どもが友達の弁当の中身を見ることで、食材に興味を示し、苦手なものでも食べるようとする姿につながった。 ・当初の食べやすさ重視から、年齢や時期に応じたサイズや量、形状、盛り付け方など、自立心を養う弁当づくりなども意識するようになった。 ・保護者に完食しやすい弁当を作ってもらったことで、子どもが全部食べられたという喜びを感じるにつながり、食べる楽しさを感じることができた。	9園/9園 全園児 608名
石狩	札幌市幼児教育センター/ 札幌市立幼稚園(9園) 畑での栽培活動	○栽培活動を通して、幼児が野菜への興味や関心、育てたものへの愛着をもち、友達と一緒に食べることを楽しむとともに、進んで食べる気持ちを育てる。	各園で野菜を栽培した。栽培にあたって、育てたい野菜等、子どもと一緒に考え、子どもたちが自分で世話をし、野菜等の生長に関わるように働きかけた。(夏~秋) ■成果 ・自分で育てたことで愛着をもち、食べてみようという意欲をもち、苦手なものもおいしかったという思いをもつことができた。 ・収穫した野菜を家庭に持ち帰ったことで、食材について話題にすることができ、苦手なものでも食べるようとする姿につながった。	9園/9園 全園児 608名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
石狩	札幌市幼児教育センター/ 札幌市立幼稚園(9園) 栄養指導	○保健指導を通して、栄養についての興味や関心を持ち、自分の体を作るために食べようとする子どもを育てる。	養護教諭による栄養指導を行っている。三大栄養素や体の作りについて視覚教材を用いて分かりやすく提示し、身近な食べ物との関係を年齢に応じて分かりやすく指導している。また、そのことを保護者にもおたより等で伝えている。(年3回、2学期以降) ■成果 ・保健指導後に栄養素を3つに色分けした掲示物を用意したことで、自分の弁当を見て、栄養のバランスに関心もつようになった。保護者も弁当作りで意識するようになった。	9園/9園 全園児 608名
石狩	石狩市聚富保育園 ①調理実習 ②野菜栽培 ③餅つき ④焼きいも会	『野菜の収穫と調理を通じて、食材への興味と関心を育む』 『親子の触れ合いを通じて料理を作る楽しさ、食べることの大切さを知ってもらう』	①園児と保育士共同で栽培。収穫後、年長を中心にカレーライス、おやつ作り。また近くの乗馬のクラブに行き、馬ににんじんの差し入れなどもする。 ②園庭に野菜を植え成長を見守り、収穫を楽しむ。 ③園児、保護者などと一緒に餅つきを体験し、試食する。 ④10月に園庭で園児と一緒に焼き芋を焼いて食べる。	①6名 ②6名 ③13名 ④7名
石狩	石狩市厚田保育園 ①調理実習 ②野菜栽培 ③収穫を楽しむ ④餅つき試食会	・畑作りを通して食への関心を高め食事の大切さや食べ物への感謝の気持ちを育てる。 ・育てた野菜を収穫・調理することを通して食べる喜びを知る。	①園児と保育士との協同作業で、行事等におやつ作りをする。 ②種・苗を植え野菜類の成長を見守り(水遣り・草取り)、収穫を楽しむ。(トマト・きゅうり・レタス・ブロッコリー) ③畑で収穫した野菜(レタス、トマト、ブロッコリー等)をいただく。 ④保護者と一緒に餅つきを体験し、ついたお餅を雑煮・きな粉もち・あんこ餅等にして試食する。	①8名 ②15名 ③18名 ④18名
胆振	苫小牧市/苫小牧市保育園食育計画	食を通じた子どもの健全育成のために、食と健康のつながりや正しい食習慣を学ぶことができるよう、さまざまな場面で子どもが食に関わり合えるように配慮し、「楽しく食べる子ども」を目指す。	市内認可保育園及び認定こども園、小規模保育施設では、苫小牧市保育園食育計画で食育活動について共通認識を持ち、各園で独自の年間食育計画を作成し、それに基づく取り組みを実施している。年度末に各園の食育活動報告を取りまとめ、冊子にして各園に配布する。	苫小牧市立保育園(4園)・私立認可保育園(13園)・私立認定こども園(13園)・私立小規模保育施設(9園)
胆振	登別市立保育所(2カ所)	・給食の食材に興味を持ちながら、楽しく食事をする。 ・食育だよりの配布を通じ、栄養や食についての情報提供を行う。	○富士保育所 絵本、紙芝居や給食の中での指導を通して食育を行っている。 ○鷺別保育所 保育所で野菜を栽培し、収穫・調理を行い、喫食する。(じゃがいもなど) ○全保育所 保護者向けに食育だよりを毎月配布し、栄養や食に関する情報提供を行う。	富士 103名 鷺別 108名
胆振	白老保育園・認定こども園	・農業体験を通して食への関心、興味、感謝の気持ちを育む。	・園の畑で野菜等を育てる。	
胆振	白老保育園・認定こども園	・職に関する関心、正しい知識を育てるため。	・食育指導計画に基づき、月1回保育園において食育指導を実施。	
胆振	白老保育園・認定こども園	・食を通して行事の意味、関心、大切さを伝える。	・給食のメニューに行事食(正月、ひな祭り等)を取り入れている。	
胆振	白老保育園・認定こども園	・地場産物の利用促進	・給食の食材において、地場の食材にこだわり(魚、昆布、卵、しいたけ等)利用の促進を図っている。	
胆振	むかわ町内幼稚園/親子食育講座	生活習慣の見直しと食習慣からの健康づくりの指導	11月17日に「たべもののはたらきをしよう」をテーマに、親子でシールブックを活用し、食材とその働きについての講座を実施した。	13名
日高	静内幼稚園 歯の指導	・歯の大切さを知り、はみがきの仕方を身につける ・食事、おやつのはみがき、うがいを行い、歯の健康に心がける	対象:全学年(129名) 時期:毎日	-
日高	静内幼稚園 お弁当	・昼食のマナーを身につける ・作ってくれた人に感謝の気持ちを持ち残さず食べる ・みんなであげる楽しさを味わい、喜んで準備・食事・後片付けが行えるようにす	対象:全学年(129名) ・週4回 ・トイレ、手洗い、準備、全員でお座りをして歌唱	-
日高	静内幼稚園 農園活動	・じゃがいも等を自ら植え、収穫することにより、自然の変化に気づき、収穫の喜びを味わう ・沢山の労働により収穫されることを知り、作物を作る人々への感謝の気持ちをもつ ・成長に必要な要素に気づき、協力してお世話することにより収穫の喜びを味わう	対象:全学年(129名)	-
日高	新ひだか町立静内保育所 食育の日(毎月19日)	季節・伝統行事・食を楽しむ	対象:町立保育所児童(60名) 開催状況:おおよそ年12回。特別回年齢別回を除く	-

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
渡島	松前町/ 大谷短期大学付属 松前認定こども園	夏野菜の苗の育成と収穫 いも掘り	時期:7月~8月/場所:園敷地内の畑(家庭菜園規模) 時期:9月/場所:園敷地内の畑(家庭菜園規模)	40人程度 15人程度
檜山	奥尻町立奥尻幼稚園/奥尻幼稚園食育推進活動	自分で野菜を育て、調理し、食べる楽しさを知ってもらう。	春~秋にかけて、幼稚園の敷地内にて野菜を栽培。令和2年度はコロナ流行を鑑みて、幼稚園での調理は行わず各家庭に持ち帰った。	7人
檜山	奥尻町立青苗幼稚園/青苗幼稚園食育推進活動	自分で育てた野菜の収穫を楽しむ、食べる喜びを知ってもらう。	年間を通して、幼稚園の敷地内にてジャガイモ、ミニトマト、キュウリ、ニンジン、ダイコン等の野菜を栽培。令和2年度はコロナ流行を鑑みて、幼稚園での調理は行わなかった。	16人
上川	名寄市 公立保育所	公立保育所の食育計画に基づき食育の推進を図る。	所産畑において野菜栽培 年長児~市内農家協力のもと、とうもろこしやじゃがいもの収穫体験 収穫祭~イモ団子やカボチャ団子の調理、新米によるおにぎりづくり、もちつきなどを実施 給食において季節の行事食を提供、会食の実施、アレルギー食の対応、給食だよりの配布など	300
上川	当麻町立当麻幼稚園 野菜の収穫	自分たちで育てた野菜を収穫し食べることで、食事の楽しさ・喜びを感じるようになる。	・園の畑を見守り、雑草を抜くなどのお世話をする。 ・定期的に収穫し、給食時に食べる(ミニトマト、きゅうり、枝豆) ・徐々に野菜の食べごろが分かるようになる。 ・苦手だった野菜でも、自分で収穫した野菜なら食べてみようと思えるようになった。 ・じゃがいもの収穫では、春に植えた1個からたくさんのじゃがいもを収穫できる驚きと喜びを感じるとともに、カレーライスやじゃがバターなど、子どもにとって大好きな食べ物になるとあって特に意欲的に活動している。	園児 50名 職員 15名
上川	愛別町幼児センター	食べ物の大切さや、食事に係る礼儀を身につける。	・毎月保育士と調理員による食育に関するお話を、給食前15分程度の時間で行う。	48名
上川	認定こども園美深町幼児センター	・楽しい食事を通じて食べることに関心を持ち、健全な食習慣を身につける	・時期:令和2年4月~令和3年3月 ・対象:3・4・5歳児 ・指導回数:各学年6回 ・内容:年間指導計画に沿った、栄養士による食育指導 例)マナー、三角食べ、感謝の気持ち、朝食の大切さ、3色食品群 など	57
上川	認定こども園美深町幼児センター	・地場産食材や旬の食材について知り、食材に興味関心をもつ ・行事と行事食の関係や意味を知り、季節を感じる	・美深産のアスパラ・メロン・かぼちゃ・じゃがいもを旬の時期に献立に取り入れ、提供日は子ども達にも知らせる ・行事によって季節を感じる日本独自の文化を大切にし、給食の中でも食材や盛り付け方で行事や季節を感じられるようにする 例)七夕、十五夜、クリスマス、節分、ひな祭り など	98
留萌	認定こども園あつる 「こども園体験給食」	・翌年度就学を迎える子どもたちが、学校訪問や学校給食を体験することにより、小学校の様子を知り、学校生活への円滑な適応を図る。 ・5歳児の園児と、小学1年生が共に触れ合うことにより、小学校生活への不安を解消するとともに、新たな生活へ希望を持てるようになる。	・給食の試食 ・給食に使用される食品カードを用いて、好き嫌いをなく食べるよう指導するミニ授業の実施。	32名
宗谷	稚内市立港保育所	・野菜を栽培し、収穫の喜びを知るために苗を大切に育てる。 ・いろいろな野菜に興味、関心を持ち、食材を知る。	5月末から9月中旬 保育所の畑、プランター 沼川みのり公園(年長児のみ)	53名
宗谷	稚内市立港保育所	・みんなで料理することを楽しみ、おいしくいただく。 ・食べ物の栄養が、体にとって大切だということを知り、進んでいろんな物を食べようとする。	9月上旬おとまり保育、2月食育講座(年長児のみ) 保育所ホール	14名
宗谷	稚内市立港保育所	季節の行事や伝統食を知る	十五夜、もちつき、節分等	53名
宗谷	稚内市立白樺保育所 「畑で野菜づくり」	野菜づくりを通じて、命の大切さ、食べ物に感謝の気持ちを持つ。	5月から9月くらい 畑やプランターで野菜づくりを行う(水やりや草取りなど) 収穫した野菜は給食のメニューに取り入れてもらい、いただく。 10月中旬 芋団子作り~収穫した芋を子ども達と芋団子にして味わう。	園児71名
宗谷	稚内幼稚園 もぐもぐ保育園	様々な人と一緒に食べる楽しさを味わい、愛情と思いやりの気持ちをもつ	通年...行事食 6月(草だんご) 7月(焼きそば・チョコバナナ) 9月(ふかし芋) 12月(雑煮) 1月(七草がゆ) 2月(節分お菓子)3月(ひなあられ)	全園児 94名
宗谷	稚内幼稚園 もぐもぐ保育園	野菜づくりや収穫体験から食材の大切さに気づき、好き嫌いを減らしていく	5月畑作り(種まき)...園庭 8~9月収穫体験(野菜収穫)...園庭	全園児 94名
宗谷	稚内幼稚園 もぐもぐ保育園	季節の食材に触れる機会や調理の経験から「食」への関心と意欲を育む	11月 お店見学(買い物体験・相澤他) 食材観察 (コロナ対策により、例年実施している調理体験は中止)	全園児 94名

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
宗谷	稚内鈴蘭幼稚園	手洗い消毒等	4月から年間通しての活動・手洗い等を習慣化する・衛生面に気を付ける (・手洗いがいい消毒などを習慣化し、気持ちよく過ごすことを喜ぶ ・おやつやお弁当の時間、キレイな手で食べる)	114名
宗谷	稚内鈴蘭幼稚園	ジャガイモ植え	5月上旬・食べ物の育ちを知り、大切に育てる心(市営の農園を借りる) (土の感触を楽しみ、大きな畑に種芋を植えることを楽しむ ・水やりなどをしながらお世話をします)	114名
宗谷	稚内鈴蘭幼稚園	虫歯予防デー	6月4日・歯磨きの大切さや歯の役割を知る ・歯を丈夫にする食品を知る (年少児は、年長児に歯磨きの仕方を教えてもらう) ・絵本や紙芝居で歯の大切さを知る (年中長児は食べ物の役割や、栄養素などの分類クイズなどで歯に良い食べ物を教える)	114名
宗谷	稚内鈴蘭幼稚園	ジャガイモ草取り	6月7日・成長を感じ、収穫を楽しみにお世話を(市営の農園) (月に1回は農園に行き、草取りや水やりのお世話をします ・大きくなったことを感じお世話をやりがいを持つ)	114名
宗谷	稚内鈴蘭幼稚園	カレーライス作り	7月下旬・自分たちで作ることを楽しむ ・食材の変化を知る (年長のお楽しみ会でカレーライス作りを楽しむ ・包丁を使って食材を切ったり、鍋で炒めて食材が変化していくのを楽しむ) (自分たちで作ったご飯を食べることを喜び、いつもよりも張り切って食べる)	40名
宗谷	稚内鈴蘭幼稚園	収穫遠足	9月上旬・自分たちで育てた野菜を収穫する事を喜ぶ ・旬の野菜に触れ、味わう(市営の農園) (親子遠足でジャガイモ収穫に行き、子どもたちが育てたジャガイモを収穫する・大きく育っていることを喜ぶ) (お家での色々なお料理を考え、食べることを楽しむ)	114名
宗谷	稚内鈴蘭幼稚園	餅つき	12月上旬・日本の伝統文化を知り、楽しく味わう (年末の行事としての餅つきを伝え、餅の出来方を知ったり、色々な調理法で美味しく食べる)	114名
宗谷	稚内富岡幼稚園・保育園	野菜の栽培や収穫を通し、食べ物の大切さや感謝する気持ちを持つ	ジャガイモ、ミニトマト等の栽培(5月上旬～9月) ジャガイモを使ったクッキング(10月)	140名
宗谷	稚内富岡幼稚園・保育園	季節の行事や伝統食を知る	月見団子、節分、七草がゆ	140名
宗谷	稚内富岡幼稚園・保育園	食べ物と体、健康に関心を持つ	職員による絵本や紙芝居、パネルシアターなどによる食育指導。	140名
宗谷	稚内ひかり幼稚園きらきら保育園	食農体験を通し、食に対する興味や関心・食材又は生産者への感謝の気持ちを育成する	■日本の伝統文化に因んだ食の話し合いや、おやつ等を食べて、楽しく文化を学ぶ(豆まき・七草粥等…食材の展示をし、お話した) ■胡瓜・ミニトマト等の種植え→収穫→クッキング(5月～8月)(コロナの関係もあり、職員が調理) ■芋ほり(9月)→クッキングは中止 ■感謝祭(11月)感謝の気持ちを持って、秋の恵みを戴く 家庭からの果物持ち寄りや、お世話になった方々へ渡しに行くのは中止 餅つきも中止	150名
宗谷	稚内ひかり幼稚園きらきら保育園	食べ物の力を知り、普段食べているものは体にどのような影響があるのかを学ぶ バランスの良い食べ方について学び、自分の食べ方を見直す	管理栄養士実施 ■三色食品群について…媒体を用いる(全園児、分散して実施) ■体の仕組みについて…媒体を用いる(全園児、分散して実施) ■給食時に食べている食材を用いて、学んだことの復習 …各教室、数回実施 クッキングは中止	120名
宗谷	稚内ひかり幼稚園きらきら保育園	保護者への啓発	管理栄養士実施 ■食育おたより(毎月発行)	150名
宗谷	(猿払村) 浜鬼志別保育所	「食を営む力の育成」 畑づくりをし収穫の喜びを味わう。	期 間 6月から10月ごろ 内 容 種まき～収穫まで	保育所全員
宗谷	(猿払村) 浜鬼志別保育所	「食を営む力の育成」 栄養士からのお話を聞くことで食に関する興味・関心を深める。	期 間 年2～3回程度 内 容 食に関するお話や紙芝居など	保育所全員 または 年長児対象
宗谷	浜頓別町こども園/食育教室	就学前の一環として5歳児を対象に行う	・対象者:年長(5歳児)・・・「なんでも食べよう3つのいろ」 ・令和3年1月26日(火)に約30分程度行う ・担当者:栄養士	15人
宗谷	浜頓別町こども園/給食試食	・保護者に『食育』に関心を持ってもらう。 ・こどもが食べている給食を保護者に知ってもらう。 ・家庭での食事作りの参考にしてもらう。	・年3回/対象者:全園児の保護者 ・担当:栄養士 ・開催日は7月、8月、9月を予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から開催を中止した。	0人

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
宗谷	浜頓別町こども園/給食だよりの発行	食文化、食べ物の話、季節に合わせた内容を伝えるため	・毎月の発行 ・対象者:全園児 ・担当者:栄養士 ・4月:給食について/5月:生活リズム・朝ごはんについて/6月:歯について・食育月間/7月:夏の過ごし方・食中毒について/8月:夏野菜・夏バテについて/9月:脳の発達・生活リズム(睡眠)/10月:魚を食べよう/11月:感染性胃腸炎について/12月:ウイルスに負けない体づくりについて/1月:お正月について/2月:節分・大豆製品について/3月:食育活動について	107人
宗谷	浜頓別町こども園/お餅つき会	日本の伝統の行事の餅つきを体験する	・対象者:全園児 ・令和2年12月4日(金) ・担当者:全職員 ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点からお餅つきを中止として、雑煮の試食のみとした。	107人
宗谷	浜頓別町こども園/イモ植え・芋掘り	異世代間の交流を目的とし、作物の育て方などを体験し、集会の喜びを知る	・対象者:年中(4歳児)・年長(5歳児)・老人クラブ ・【植え】令和2年5月22日(金)【ほり】令和2年9月2日(水) ・担当者:4・5歳児担任	概ね47人
宗谷	浜頓別町こども園/支援センター給食試食会	入園前の子供たちが給食や給食時間の様子を知るため	・対象者:子育てサークルどんぐり親子 ・令和2年11月19日(木) ・担当:子育て支援センター ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から開催を中止した。	0人
宗谷	浜頓別町こども園/お弁当の日	食に携わる人への感謝の心を育て、食べることへの意欲に繋げる	・対象者:0歳児を除く全園児対象 ・毎月1回(食中毒発生時期の7月、8月は除く)	107人
オホーツク	認定こども園(網走市)	健康で、心豊かに生きる「食」の基礎を身に付けるきっかけづくり。 ・栄養の働きを知る ・自分の体(健康づくり)に関心をもつ	時期:依頼に応じて実施(10月) 場所:法人立認定こども園 内容:管理栄養士による食育講話 「体は食べ物でできている」	1回 18名
オホーツク	雄武町認定こども園 若草保育所 クッキングパーティー	調理の楽しさを知り、食に対する関心を高める。	時期:11月 対象:年長児 内容:給食の焼きそばを自分たちで調理し、包丁などの調理器具を使うとき、加熱調理をするときの注意点を安全に調理することを学ぶ。	35名
オホーツク	雄武町認定こども園 若草保育所 おやつ作り	調理の楽しさを知り、食に対する関心を高める。	時期:2月 対象:年長児 内容:おやつホットケーキを自分たちで調理し、混ぜる、焼くなどの作業を経験、加熱調理による食材の変化を五感をとおして感じる。調理時の注意点を安全に調理することを学ぶ。	34名
オホーツク	雄武町認定こども園 若草保育所 ミニトマト栽培	ミニトマトの栽培を通して植物の世話の仕方や実の成長を知る。また、自分たちで作った野菜を収穫する喜びを知り、野菜が苦手な子ども食べてみようとする意欲につなげることを目的とする。	対象:2歳児～5歳児クラス、子育て支援センター通所児 内容:クラスごとにミニトマトを栽培し、収穫したものを給食時にみんなで食べる。	88名
十勝	士幌町認定こども園	○植物を育て、その成長を知る。 ○自分達で育てた野菜等を食し、野菜の好き嫌いを無くしていく。	毎年、暖かい時期にプランターや園畑を利用し、年齢に応じた作物の種まきや苗植えを行い、水やりや草取りなどの世話を通して、植物の成長を知り、食する。	98
十勝	新得町立新得幼稚園/親子レクレーション(親子カレー作り)	・栽培や収穫する楽しさを味わう。 ・親子でカレー作りを楽しんだり、体を動かしたりして遊ぶ。	○実施日:年1回(9月17日) ○場所:新得幼稚園 ○特色:自園で栽培・収穫したジャガイモを中心に、保護者のかた、町民のかたからの野菜の提供とJA新得より、毎年牛肉の提供があり、新得の地場産牛肉を使ったカレー作りを行っている。	園児27名/保護者26名/未就園児9名
十勝	更別幼稚園、認定こども園上更別幼稚園	播種から収穫までの一連の流れを学び、食物に対する興味・関心を深めるとともに、自らの手で調理するなど食に対する大変さや楽しさを学ぶ	各幼稚園に設置された菜園で、種まきから収穫までを体験することで食物に対する興味・関心を深めることができた。また、日々の園生活で水やりなどを体験することにより、食物を育てる大変さを学ぶことができた。	59名
十勝	園児栄養指導 尾田こども園 北保育園 南保育園	バランスよく食事摂取することが大切であることを知り、実践できる。 甘いものが身体に及ぼす影響を知り、自ら正しく選択して摂ることが出来る。	【対象】4～5歳(1部3歳児も含む) 【時期】8月 【場所】各保育園 【内容】紙芝居、糖分クイズ糖	77
釧路	釧路市立保育園・認定こども園「食育事業」	食の大切さを伝え、興味を持たせるために実施している。	コロナ禍の状況のため一部4・5歳児のみ対象として「おやおやおやさい」をテーマに、本物の食材を使用したクイズやダンスを実施。	市立保育園・こども園児310人
釧路	釧路市立保育園・認定こども園「食育アンケート調査」	園児の正しい食習慣の把握や、給食への意見等を集約し、今後の給食提供等の参考資料とするため	公立園5園の保護者に、年1回アンケート調査を実施。集計結果を各園に提示し、給食だよりでも取り上げている。	234人

振興局名	学校等名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
釧路	釧路市立阿寒幼稚園 釧路市立マリモ幼稚園 2園共通「食育活動」	野菜を育てたり、山菜に触れることで自然の力を感じ、五感を豊かな子に育てる。	・園庭で野菜を育て、収穫した野菜はコロナ禍のために調理実習できず、各家庭に持ち帰った。 ・2園とも屋外で焼き芋会を実施。自然の力を感じながら食事をする事で心身の逞しさに繋がったと思われる。	園児160人
釧路	釧路市立保育園・認定こども園、認可保育園・こども園等 「地産地消の日」	食の大切さを伝え、興味を持たせるために実施。	寄贈を受けた釧路産「イワシ味付けサーディン缶」を使用したレシピを各園で提供。保護者向けおたよりを配布して食材とレシピの普及啓発を行った。	1,819人
釧路	釧路市立保育園・認定こども園 「給食だよりの配布」	保護者に食への意識を高めてもらうため、情報提供を行うため。	毎月、保護者向けに作成し、食について(地産地消、栄養についてなど)情報提供を行う。	310人×12か月
釧路	標茶幼稚園 食育日	話を聞いて食に関心を持つ	月に一回食育日を設け、話をしている。食器の並べ方、食品の成分のこと、生産地、食品群の話など。短い時間で分かりやすいように話をしていくのが課題である。	20名
釧路	標茶幼稚園 クッキング	自分達で調理をし、食を楽しむ。	年長・年中児ともに2～3ヶ月の間隔でクッキングを行っている。自分たちで収穫した物を調理したり、簡単に作れる物で「楽しく調理をする」ことを目的とする。	20名
釧路	標茶幼稚園 種まき	自分たちで野菜を育てる	年長児は「畑に何を蒔くか」という所から話し合いをし、水まき・草取りを行い育てる。頑張って育てた野菜なので、育った時には苦手なもので食べてみようとする。	20名
釧路	標茶幼稚園 パン買い	パンの買い方を知り、自分の好きなパンを買う。	近所のパン屋さんの協力を得て、自分の好きなパンを買いに行く。お礼の手紙を書き、その後も散歩時などに触れ合う機会を設けた。(10月上)	20名
釧路	標茶幼稚園 焼き芋会	焼き芋を楽しむ	焼き芋会当日前から散歩先で小枝や枯れ葉拾いをして楽しみにする。当日は、芋を包む作業から始める。出来立ての焼き芋を食するのは、この時だけの経験だと思います。(10月下旬)	20名
釧路	標茶幼稚園 餅つき会	日本古来の伝統行事を楽しむ	お手伝いの方の餅つきの様子を見る。(今年は感染防止のため、手伝いは最小限に留めた。)実際に杵で餅をついてみる。出来上がった餅は自分の食べる分のみを丸めて、餅の感触を味わう。調理委員に雑煮や汁粉にしてみたい食べる。(12月上旬)	20名
根室	別海くるみ幼稚園	地産地消を目的とし、ホタテや海の生物に興味を持ってもらう。	【時期】12月～3月 【内容】 幼稚園の玄関で生きたホタテを飼育・展示し、園児たちに見てもらう。水槽横に海の生物に関する絵本を並べ、ホタテの生態を絵で示したものを作成・掲示し、園児たちの学習意欲や興味・関心の向上につなげた。 12月～3月の間、別海町役場水産みどり課から提供されたホタテをホタテフライ、ホタテカレーとして給食で出すことにより、地産地消の他、興味関心の向上、食欲増加の効果があつた。	100人(全園児)
根室	別海くるみ幼稚園	地産地消、地域の食文化の理解と継承につなげる。	【時期】 ①11月～12月 タラ、ワカサギ ②2月～3月 サケ(別海町役場水産みどり課提供) 【内容】 給食として提供する前に各クラス10分程度、魚の生態や調理方法などを話し、食文化の理解を深めた。 様々な種類の魚、味を提供することにより、飽きずに魚食習慣の定着を図ることができた。	100人(全園児)
根室	別海くるみ幼稚園	食と健康を関連付け安心安全を心がけた食生活を獲得する。	【内容】 毎日の給食やあずかりのおやつ等、園児たちの口に入るものは無添加でより良いものを使用し、「健全な食生活を実践できる人間を育てる」ことにつなげた。	100人(全園児)
根室	別海くるみ幼稚園	食への理解を深め食材に感謝する気持ちを生み出す。	【時期】6月～9月 【内容】 各クラスごとに園の畑で自分たちで野菜を育てて、食べる。 園児自身が育てることにより、食への理解が深まり、いただくことへの感謝の気持ちが生まれた。	100人(全園児)
根室	別海くるみ幼稚園	偏食の改善をはかり、健康の維持増進につなげる。	【時期】8月 【対象者】 ①3～5歳児 にんじんジュース ②5歳児 にんじんホットケーキ 【内容】 園児たちが育てた人参を使用し、一緒につくる。 偏食の改善に効果があり、この時期に改善しておくことにより、将来の生活習慣病予防につながった。	100人(全園児)
根室	別海くるみ幼稚園	食と文化を関連付け、行事食を楽しむ。	【時期】1月 【内容】 おもちに見立てた白玉団子を作り、お雑煮として給食で提供することにより、日本の伝統的な行事食をみんなで楽しむことができた。	100人(全園児)
根室	別海くるみ幼稚園	栄養指導も兼ねて給食を体験してもらう。	【内容】 入園前の未満児親子を対象とし、給食を体験してもらう。 使用材料や調味料、調理工程、栄養バランスを説明することで栄養指導も行うことができた。	100人(全園児)
根室	別海くるみ幼稚園	地産地消のため地元食材を取り入れる。	【内容】 別海町の特産品である乳業興社により製造されているチーズを給食で使用した。	100人(全園児)
根室	別海くるみ幼稚園	おいしい無添加給食を伝え、安心安全の啓発を行う。	【内容】 家でも実践してもらえるよう、希望する家庭に給食レシピを提供した。 知ることで、保護者との会話にもつながるため、園児の生活習慣病の改善やより良い食生活づくりを高めることができた。	100人(全園児)

振興局名	学校等名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
根室	別海くるみ幼稚園	食に対する学習意欲を高める。	【内容】 ①調理員と一緒に給食を食べる。 ②給食で使用する食材の展示 共に給食の時間を過ごすことにより、食文化や食の知識を豊かにすることが出来た。 食材を展示することにより、見て触り、食材そのものを知ることができ、食欲増進や学習意欲の向上につながる。 また、親子の会話にもつながり、家庭での食生活改善も図ることが出来た。	100人(全園児)

3. 関係団体が主体となって取り組んでいる事例

(1) 農林水産業団体の取組

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
空知	芦別市南瓜生産組合 (北川広圃場 中山間事業) 農業体験	・学習として、定植、生育調査、収穫、販売を行い農業体験をする。	①5月…播種 ②6月…定植 ③7月…生育調査 ④9月…収穫、販売 ※芦別小学校の3年生を対象に行う。	延べ人数 240名
空知	芦別市メロン生産組合 (吉村正之圃場 中山間事業) 農業体験	・学習として、定植、収穫を行い農業体験をする。	①6月…生育調査 ②8月…収穫 ※芦別小学校の4年生を対象に行う。	延べ人数 92名
空知	芦別市農業まつり実行委員会 星の降る里芦別 農業まつり 代替 農産物即売会	農業まつりに向け作型を調整し栽培している主要農産物の販路確保と市民への消費拡大を図ることを目的に特例的に農業まつりの代替措置とする。	・地元農産物の販売	一般500人
空知	JAたきかわ青年部芦別支部 農業体験	・学習として、田植、生き物調査、収穫を行い農業体験をする。	①6月…田植 ②7月…生き物調査 ③9月…収穫 ④10月…脱穀、精米	延べ人数 80名
空知	JAたきかわ青年部芦別支部 施設見学(メロン)	・特産品の受入れ選別の流れを実際に見学し学習する。	・上芦別小学校の3年生・5年生を対象に行う。農協の集出荷場で集荷から出荷までの行程を学習する。 ※実施月 7月	延べ人数 26名
空知	JAたきかわ青年部芦別支部 施設見学(米)	・お米の受入れ選別の流れを実際に見学し学習する。	・上芦別小学校の5年生を対象に行う。農協の集出荷場で集荷から出荷までの行程を学習する。 ※実施月 11月	延べ人数 18名
空知	JAたきかわ女性部芦別支部 加工部会 地産地消の推進	・自らの手で農産物を生産、加工し地元農産物の消費拡大及びPRに努める。 ・市内「物産センター加工室」を利用し地元農産物を使用した加工品の販売促進を図る。	・市内の物産センター加工室を利用し、加工品を生産農産物直売所にて販売。 ※販売品…混ぜご飯の具、煮豆 ※販売先…市内農産物直売所「かあちゃん市」	延べ人数 26名
空知	JAたきかわ芦別支店 芦別市産直協議会 芦別市きらきらぼし生産組合 あしべつ虹っ子米販売促進交流	・京都生協店舗にて「あしべつ」虹っ子米の試食と販売を行い交流を図る。 (販売促進活動)	・京都生協店舗で「お米の試食・販売」を通じて、生協組合員と対面販売をして消費者との交流を図る。	6名
空知	南幌町農業協同組合 学習田(田植え・稲刈り学習)	稲作における一連の農作業を体験することにより、農業に対する理解を深めるとともに食の大切さを知ってもらうため	○対象 小学5年生 ○場所 町内圃場 ○内容 9月～稲刈り体験 ※令和2年度においては例年おこなっている田植え事前学習、田植え・ハーブ植え体験(5月)が新型コロナウイルス感染予防のため中止	55名
空知	南幌町農業協同組合 学校給食への食材提供	学校給食への食材の提供を通じて、子ども達に南幌町の基幹産業である農業に対する理解と食生活の大切さについて理解を深めてもらう	○対象 小学・中学生 ○場所 町内の小・中学校 ○内容 地元産の新米、小麦、キャベツ、ピーマン、玉ねぎ、長ねぎ、じゃがいも、しいたけを提供	434名

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
空知	そらち南農業協同組合/ 由仁のもの学校給食事業	地産地消の取組を促すと ともに、子どもたちに安心・安 全な給食を提供し、地元でど んな農産物が生産されてい るか等を学んでもらうこと により、学校給食を通じ食育 を推進するため。	由仁町の農家から集荷した新鮮な肉や野菜を給食センターに提供してもらい、町内の保育園、認定こども園、小・中学校の子どもたちに「由仁のもの」にこだわった給食を食べてもらう事業。 令和2年度は、由仁産の新米、夏野菜、秋野菜を中心とした由仁のもの学校給食を9月、10月、11月の計3回実施。	児童・生徒数450名×3回
空知	そらち南農業協同組合青年部由仁支部/ 稲刈り体験	作物を作る楽しさや大変さを知り、食べ物の大切さを学んでもらうことにより、食育を推進するため。	由仁小学校5年生を対象に、町内のほ場で、稲刈り体験を行った。 9月実施。	52名
空知	そらち南さつまいもクラブ/ さつまいも収穫体験	作物を作る楽しさや大変さを知り、食べ物の大切さを学んでもらうことにより、食育を推進するため。	保育園児及び認定こども園児を対象に、町内のほ場で、さつまいも収穫体験を行った。 10月実施。	45名
空知	由仁町4Hクラブ/ 食育体験	作物を作る楽しさや大変さを知り、食べ物の大切さを学んでもらうことにより、食育を推進するため。	由仁中学校1年生を対象に、家庭科の時間を利用し、生産者ともに大根、人参、ゴボウ等の由仁産農産物を使った豚汁と餃子づくりを行った。 12月実施。	40名
空知	沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会 令和2年度沼田小学校農業体験中間学習(沼田ダムの見学)	沼田の基幹産業である米作りを通し、米ができるまでの過程を通じて食への関心興味を高める。	【実施日】 令和2年8月19日(水) 【場 所】 沼田ダム 【対象者】 沼田小学校5年生 【内 容】 農業用ダムの役割について	14名
空知	沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会 令和2年度沼田小学校農業体験(稲刈り体験)	沼田の基幹産業である米作りを通し、米ができるまでの過程を通じて食への関心興味を高める。	【実施日】 令和2年9月23日(水) 【場 所】 農家圃場、小学校 【対象者】 沼田小学校5年生 【内 容】 稲刈り及びはさがけ	13名
空知	沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会 令和2年度沼田小学校農業体験(脱穀・糶摺り体験)	沼田の基幹産業である米作りを通し、米ができるまでの過程を通じて食への関心興味を高める。	【実施日】 10/9(金) 【場 所】 沼田小学校裏側軒下 【対象者】 沼田小学校5年生 【内 容】 脱穀	13名
石狩	札幌市農業協同組合(東経済センター)農業体験	札幌伝統野菜「サッポロミドリ」の種植えから収穫を通じて、食と農産物への理解を深める。	【時期】6月下旬～8月下旬 【対象】平岡公園小学校2年生(90名) 【内容】 ①「サッポロミドリ」の種植え作業(※畑のマルチ張り作業を当JAで行い、種植え作業については教師と児童のみで実施) 6/18 ②栽培日記(種植えから収穫までの絵日記) ③収穫体験及び「サッポロミドリ」の歴史や特徴についての授業 9/1	100
石狩	JA道央青年部千歳ブロック	千歳市の農業について、高校生や園児の方々に農産物の生産に対する理解を深めていただくとともに、農業に対して興味・関心を持っていただくことを目的とする。	例年行っている高校生を対象とした作物植付・収穫体験は新型コロナウイルスの流行に伴い中止し、保育園児を対象とする農産物を問題としたクイズ大会も中止とした。 このため、農作物の植付と収穫は、JA道央青年部千歳ブロックの構成員で行い、市内の保育園に収穫物の贈呈を行った。	JA道央青年部千歳ブロック 18名 JA道央職員 1名
石狩	当別町/北石狩農業協同組合青年部 当別ブロック	食育体験	青年部員のほ場を使い地域の小学生を対象とした大豆の播種・管理・収穫を行いました。例年通り12月に豆腐作りを行う予定でしたが、コロナ禍の影響で調理・飲食はすべきではないと判断し、教室で豆腐作りの映像を流しながら説明する授業に変更致しました。	230
石狩	当別町/北石狩農業協同組合青年部 西当別ブロック(西当別地区)	食育体験	青年部員のほ場を使い地域の小学生を対象とした田植及び収穫体験を行い、収穫したお米を使い、おにぎりして給食時に提供する予定でしたが、コロナ禍の影響で脱穀体験しか行うことが出来ませんでした。脱穀体験は小学校のグラウンドで行いました。	60
胆振	苫小牧漁業協同組合	苫小牧産ほっき貝のPR、漁師の仕事説明及び魚食普及	時期:2020年7月、2021年1~2月 場所:市内小学校(2校) 方法:学校での出前講座(7月)、コロナウイルス感染症の影響により出前講座せず、小学校の生徒から質問をもらい、回答(1~2月)	
胆振	苫小牧漁業協同組合	漁師の仕事説明及び魚食普及	時期:2020年7~10月 場所:子ども食堂(市内3カ所) 方法:未利用魚の提供、料理教室及び出前講座	
胆振	白老牛肉まつり実行委員会	白老牛PR・地元生産者と消費者の交流の保持 姉妹都市交流及び道内他市町村との地域連携	例年6月開催の白老牛肉まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したが、「ミニ牛肉まつり」と題して地元生産の白老牛焼ぎ肉の販売、野菜の直売を実施した。 開催時期:9月21日・22日 開催場所:ポロトミントラ	約600人
胆振	JAとまこまい広域白老支所	生産者と消費者の交流の保持	開催時期:12月 開催場所:ポロトミントラ	
胆振	水産物消費拡大推進事業実行委員会	地場水産物の消費拡大、魚食の普及を図るため、魚食普及PR事業を企画・実施し、地域水産物の振興に寄与する	開催時期:9月12日 開催場所:ポロトミントラ	
胆振	いぶり中央漁業協同組合	地場水産物の消費拡大、魚食の普及を図る	ホッキ貝約100kgを提供 開催時期:10月7日 開催場所:町内小中学校(ふるさと給食「ほっきごはん」に使用された)	

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
日高	ひだか漁業協同組合／特産品販売所の運営等	地場水産物のPR、販売と地産地消の推進を目的とした取り組み	①直売所の運営 「道の駅みついし」に隣接する地場水産物を中心とした販売店舗の通年運営	—
日高	三石地域マリビジョン協議会／出前授業	当町の主要産業の一つである水産業について理解を深めてもらうため、地域で営まれている漁業を中心に、出前授業を実施し、その一環として、地域で漁獲される水産物を知ってもらい、食育や地産地消の推進を図ることを	◇三石小学校 ・日時:令和2年12月7日 ・対象:5年生 27名 ・内容:①座学「新ひだか町の漁業」について 講師:ひだか漁業協同組合三石青年部 ②体験学習として、当日水揚げされた魚や漁具を持ち込み、見たり触れたりしてもらい体験を取り入れている。	36
日高	三石地域マリビジョン協議会／地産地消活動	地元水産物の情報を町内外に発信し、PRと地産地消の推進を目的とした取り組み。	①三石マリビジョン通信の発行 当協議会の活動や水産物の情報を機関紙として年2回程度不定期発行している。また、町のホームページにも掲載している。 ②「みついしおさかなマップ」の発行 地域で水揚げされる生鮮魚の紹介や地場水産物を取扱い提供している飲食店や店舗を掲載したマップを作成し、役場庁舎や道の駅などの町内の公共施設や掲載店等で配布している。 ③SNSの運用 Facebookを活用し、地元水産業に関する様々な情報を発信している。	—
渡島	福島町／ウニ汁給食(学校給食)	・地元で獲れるウニを学校給食で提供し、地産地消に努める。	日時:令和2年7月10日(金) 場所:福島小学校、吉岡小学校、福島中学校 ・町立の小中学校に給食にウニお吸い物を提供。 キタムラサキウニ(福島町産):福島吉岡漁業協同組合より提供)	約220人
渡島	福島町／陸上養殖アワビの学校給食での提供	・日本初の陸上養殖技術を活用した「あわび陸上養殖事業」のPRと地産地消に努める。 ・地元でとれた食材を味わい、食べものに興味関心を持つことを目的とする。	日時:令和3年2月19日(金) 場所:福島町立吉岡小学校、福島町立福島小学校、福島町立福島中学校 地場産メニュー:福島産あわびと椎茸の炊き込みご飯 日時:令和3年3月9日(火) 場所:福島町立吉岡小学校、福島町立福島小学校、福島町立福島中学校 地場産メニュー:福島産あわび入り海鮮クラムチャウダー	約220人×2回
渡島	福島町／陸上養殖アワビの保育所給食での提供	・日本初の陸上養殖技術を活用した「あわび陸上養殖事業」のPRと地産地消に努める。 ・地元でとれた食材を味わい、食べものに興味関心を持つことを目的とする。	日時:令和3年3月18日(木) 場所:認定こども園福島保育所 地場産メニュー:福島産あわびの煮物	約70人
檜山	せたな町北檜山町農協青年部「水稻農業体験学習」	町内の小学3年生を対象に、1年間を通した水稻の農作業体験を実施することにより、お米や町の基幹産業である農業に興味・関心を持ってもらう。	○実施日時・内容 5月:田植え体験(コロナで中止) 6月:水稻に関する学習会 9月:生育観察(スケッチ) 10月:稲刈り、脱穀、精米作業 ○対象:北檜山小学校3年生	30名
檜山	せたな町新函館農業協同組合若松基幹支店「水稻農業体験学習」	町内の小学生を対象に、1年間を通した水稻の農作業体験を実施することにより、お米や町の基幹産業である農業に興味・関心を持ってもらう。	○実施日時・内容 5月29日:田植え体験(手作業) 9月23日:稲刈り作業体験 11月9日:収穫祭(自分たちで育てたお米を実際に食べる) ○対象:若松小学校全校児童	8名
檜山	せたな町新函館農業協同組合若松基幹支店「料理教室・食育事業」	せたな町の農畜産物・体に良い食事について学ぶ。	○実施日時:令和2年11月25日 ○内容 「せたなの食を知ろう!作ろう!食べよう!」をテーマに食育教室を実施。スープカレー「札幌らっきょ」の井出店主を招き、せたな町農畜産物の素材を活かしたスープカレーを作り、実食する。 そのほかにも、農家・JA職員・栄養士からも食育に関する事業を実施。 ○対象:北檜山小学校5年生・若松小学校5年生	26名
檜山	せたな町久遠地区藻場保全活動組織総合学習内での取組	水産多面的機能の理解・増進	○実施日時:令和2年8月25日 ○場所:久遠漁港内・大成中学校 ○内容 漁業者が講師となり、せたな町大成区の漁業及び磯焼け対策への取り組みについて学習した後、盛漁期であるウニ漁体験を実施。引き続き、ウニの剥き身体験、郷土料理であるウニ汁の調理を行った。 ウニの剥き身体験では、身の色の黒いウニと綺麗な黄色かったウニを観察し、コンブ(藻場)の必要性を学習した。 ○対象:大成中学校1年生	11名
上川	美瑛町農業協同組合青年部対象:町内小学生	1年を通じて作物に携わることで、作業の面白さと難しさを体験してもらえただけではなく、食べ物に対する感謝の気持ちや、食文化、食材への理解を培うことを目的としている。	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、1校のみ農業体験の実施を予定していたが、悪天候により中止となった。	

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
上川	美瑛町農業協同組合 ○親子で学ぼう! あぐりキッチン 教室inびえい	札幌市近郊及び都市圏の児童(小・中学生)とその父兄等を対象とした農業体験ツアーとして収穫体験を行い、消費者の美瑛町農畜産物への興味・関心を促す。 また、農業体験ツアーの中に美瑛町農畜産物をふんだんに使った調理体験を取り入れることで、消費者に向けて、美瑛町農畜産物がいかに安心・安全であるかを訴えかける機会とする。	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し中止となった。	
上川	美瑛町農村女性グループ「ネットワークすずらん」	美瑛産農畜産物を使用した加工研究や宮様国際スキーマラソン交歓会の料理提供などを通じ、地産地消の推進や美瑛産食材のPRを図っている。	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、宮様国際スキーマラソンの開催が中止となったが、最低限の回数で研修会を実施した。	
上川	JA北ひびき青年部和寒支部 子供農業体験事業	地元特産品である越冬キャベツの栽培体験を行い「食育」の知識を高めてもらう為に実施	和寒小学校3年生が対象、農協青年部が毎年事業として実施し、和寒町活性化センター内圃場において播種から収穫まで年間4回実施。 1回目:6月中旬 播種作業 2回目:7月中旬 定植作業 3回目:11月中旬 収穫作業(切り取り・越冬準備作業) 4回目:1月下旬 掘り取り作業(雪の下からの掘り取り)	25人
上川	北はるかもち米生産組合美深支部 小学生農業体験学習	学校と連携した農業体験や環境保全活動を通じて、地域の子供たちへの食育啓発、地域農業の魅力や環境の大切さ、親しむ心を育てる。	対象:美深小学校5年生 開催日時:10月 開催場所:町内農家ほ場及び美深小学校 開催内容:稲刈り体験(10月) 協力機関:美深町、JA北はるか等	32名
宗谷	JA稚内青年部	酪農の魅力 食の大切さについて知ってもらうため	2月22日(稚内高校) 3月5日(大谷高校)にて実施 酪農家の1日の流れ、酪農家になるにはどうすればいいか等説明	約120名
オホーツク	きたみらい農業協同組合/田植え体験	田植えを体験し、作物の育て方を学習する。栽培・収穫までを通し、作物が出来るまでを体験し学習	時期:6月 概要:北見市でとりまとめ、依頼のあった小学校に出向き、一緒に稲の植え付けをしながら指導。	約70名
オホーツク	きたみらい農業協同組合(北見地区農業振興連絡協議会)/給食食材等の提供及び食農教育パンフレットの配布・作成	地元農畜産物への関心を深め、地産地消を推進する。	(時期、場所、概要、特記事項など) 時期:令和3年2月5日 概要:地元の市立保育園・市立学校に向け給食食材(玉葱、馬鈴薯)を提供。併せて食農教育資料としてパンフレット・マスクケースを各市立学校に配布。	保育園児約470名、児童約5,100名
オホーツク	きたみらい農業協同組合/地場産もち米を使用した鏡餅贈呈	地産地消の促進・啓発	時期:令和2年12月25日 場所:北見市、訓子府町、置戸町 概要:当JAで生産された今年度産の「きたゆきもち」を使った鏡餅を1市2町に贈呈。市・町舎出入口に展示。	関係者10名未満
オホーツク	JAとことろ、JAとことろ青年部/食材提供、青年部小学校食育授業	常呂の食と農を理解し、農業に興味・関心を持っていただきたい 作物がどのように作られ消費されていくかを学ぶ	○JAとことろ ・町内小中学校、保育所に「常呂産玉葱400kg」「常呂産小豆を加工したレトルトぜんざい360パック」「常呂産の小麦粉(きたほなみ)を使用したうどんの乾麺200袋」を北見市を通じて寄贈。11/19 ・子ども向け農業誌「ちゃぐりん」を町内小学校3校に寄贈(毎月) ○JAとことろ青年部 令和2年10月6日 31名 ・青年部役員が北見市常呂町の畑で、町内3校の小学生3、4年生を対象とした食育授業を行った。(馬鈴薯・小豆・サツマイモの収穫体験)	左記
オホーツク	JAオホーツク網走 青年部 「親子のふれあいアグリスクール」	小学校児童やその家族を対象とし、網走・東藻琴の「地元の農業」の体験等を通じ、『農』や『食』の大切さを知ってもらう事や、家族の大切な時間を過ごしてもらうため実施する。	○時期~8月から12月 ○場所~JA本所、web配信 ○概要 ①農産物加工体験(ハロウィン南瓜ランタン作り) ②料理教室(地場産食材郵送、webにて料理動画配信)	家族10組
オホーツク	JAオホーツク網走/ 学校給食関係者を対象とした農畜産物研修会、学校給食への食材提供	学校給食関係者を対象とした地元農畜産物生産に関わる研修会の実施や学校給食へ地元食材を提供することで、農畜産物の新鮮さ・美味しさを知ってもらい、生産者の厳正な生産管理から食の安全性が保たれている事を理解してもらう。	学校給食へ食材提供 ・8/31を「やさいの日」と称し、多くの野菜を使用した献立が考案され、JAで食材提供。(R2.8月と11月に2回実施) ・オホーツク網走和牛ハンバーグの提供。(R2.11月実施) ・東藻琴牛ローストビーフの提供。(R2.12月実施)	不明

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
オホーツク	網走漁業協同組合 青年部	鮭に関する体験学習活動	・対象:小学生、低中高学年 ・時期:鮭定置網漁期の9月中旬から11月中旬まで ・場所:各小学校、調理室 ・内容:最初に鮭が生まれてから回帰するまでの流れを説明し環境保全の大切さを促す、次に実際にどのように獲れているかDVDを用いて説明、最後にその日に獲れた鮭を捌き、切り身やいくらを作り説明する。令和2年度は網走市内4校、大空町2校実施しました。	150名
オホーツク	網走漁業協同組合 女性部	魚食普及活動	・対象:高校生 ・時期:11月末 ・場所:日本体育大学付属高等支援学校、調理室 ・内容:女性部員指導のもと、高校生に実際に魚に触れてもらい捌きました。4品ほど調理し、料理を高校生に実食させました。	30名
オホーツク	JAつべつ青年部	草取り、生育観察、収穫までの一連の作業を通し、食物の生育過程を学びながら、食の大切さ、感謝の気持ちを育む	6月 畑づくり、苗植え(かぼちゃ) 場所:町内の農場 7月 草取り、生育観察 場所:町内の農場 9月 収穫体験 場所:町内の農場	延べ71名
オホーツク	しれとこ斜里農業協同組合青年部/収穫体験	農業の楽しさを伝える	令和2年9月に、小学3年生を対象とした、馬鈴しょ、人参の収穫体験を実施	約60名
オホーツク	JA清里町/食農教育活動「清小楽しいキッズスクール農園」	次世代を担う子どもたちが、農作業を通じて農業と食の繋がりを学び、農業の素晴らしさ・大切さを理解してもらうこと。	JA青年部で管理している畑にて、総合学習の時間にて小学校児童が馬鈴薯の生育と観察を行い、収穫したものを給食の時間にて自分たちで食べる。	37名
オホーツク	JAこしみず青年部	本町の基幹産業である農業について、植付・収穫・調理体験を通じて子供たちに農業に対する理解と食のつながり、および意欲向上を図る。 ※R2年はコロナのため植付・調理体験は中止。	■収穫体験■ 【対象者】小清水幼稚園、小清水保育所、へき地保育所(年中・年長) 【時期】10月13日、14日、15日 【参加者】幼稚園(園児26名、引率5名)、小清水保育所(園児47名、引率2名)、へき地保育所(園児15名、引率4名)、青年部員(6名)、JA職員(1名) 【内容】じゃがいもの収穫体験 【場所】青年部管理ほ場	不明
オホーツク	湧別町農協青年部	農作物の栽培により、食への関心・興味をもってもらう。	湧別小学校で開催(1、6年生対象) 小学校の授業に青年部が訪問し、子供たちと一緒に作業をしながら指導・助言を行う。 ・5月下旬 植え付け(じゃがいも) ・9月中旬 収穫 ・11月中旬(じゃがいもの配布) ・会場 湧別小学校	不明
オホーツク	JAオホーツクはまなす農業協同組合/道産牛肉「オホーツクはまなす牛」の消費拡大(紋別市・滝上町・西興部村)	オホーツクはまなす農協管下、ホルスタイン牛肥育生産者6戸で生産出荷されている道産牛肉「オホーツクはまなす牛」を、地区内(紋別市・滝上町・西興部村)の学校給食の食材として提供し、給食メニューで活用してもらうことにより、地元の安全安心な食材である道産牛肉(ホルスタイン牛)への関心を高めてもらうとともに、地区内の児童・生徒に農畜産業への関心を深め、将来的な農畜産業の担い手としての食育活動を支援するため、実施した。	実施日:令和2年12月9日(水) 給食:ハヤシライス	対象者:児童数・生徒数126名、教職員49名、合計数175名
オホーツク	JAめまんべつ青年部	農作業を通じて、「食の大切さ」と「農業」に関心をもってもらう。	場所:町有地を賃借し行っている。(オホーツクNOSAI横) 時期:7月植付け、10月収穫 対象:女満別幼稚園の年長 概要:6支部ある青年部を3グループに分け、大根、枝豆、ひまわりの作付を行った。幼稚園の授業の一環として取り組んでもらい、作物ができるまでの一連の過程を体験してもらった。	80名
十勝	帯広市川西農業協同組合青年部/農作物種子の配布	市内小学校等に農作物(メークイン、大豆、スイートコーン)の種子を無償提供し、農業体験を通じて食の生産に対する関心や理解を深めてもらう。	時期:令和2年5月下旬 場所:帯広市農業技術センター 対象:帯広市立小学校24校の児童及び教員 社会医療法人 北斗 十勝自立支援センター介護老人保健施設 かけはし	不明
十勝	JAおとふけ/ ・わくわく農業体験 JA木野/ ・帯広大谷短期大学との連携	地場産品や音更町の農業をより知ってもらうことを目的に開催。	1わくわく農業体験 農産物の収穫体験や調理、農協施設見学、トラクター試乗等、食農教育を通じて生産者と地域住民との信頼関係を図る ※新型コロナウイルス感染症防止対策の為、中止。 2帯広大谷短期大学との連携 帯広大谷短期大学と地域連携協定を結び、農業体験や地場産品を使用したレシピ開発を行い、新たな食と農の情報を発信している。 ※新型コロナウイルス感染症防止対策の為、中止。	1わくわく農業体験:0名 2大谷短期大学との連携:0名

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
十勝	十勝・新得フレッシュ地鶏事業協同組合	食育を通じた地産品のPR	新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、新得地鶏の販売及び消費が低迷している。 このような状況を少しでも解決するために、国の事業を活用し、近隣7町の学校給食に新得地鶏を提供し、PRを行った。 また、通常の肉鶏との飼育の違いや地鶏の定義をパンフレットにし、子供達に理解増進を図り食育を行った。	9000人
十勝	JAさらべつ青年部	児童・園児に農作物の種植えるから収穫、調理までの一連の食育活動を体感してもらおうことを通じて、育てる大変さ、作って食べる楽しさ等、食の大切さを伝える。	播種から収穫までを一連の食育活動として実施することで、児童・園児の食に対する興味・関心を深めることができた。また、普段自分たちが育ててくれない野菜なども取り扱うことで自らの食に対する知識を深めることもできた。 農園での作業以外にも子牛とのふれあい体験や乳搾り体験なども行ったことで、幅広い分野での食育活動を実施することができた。	22名
十勝	大樹漁業協同組合女性部/食育事業	地元水産物を通して食の重要性などの学習を支援する。	時期 令和2年9月28日(月) 対象者 大樹小学校4年生47人 内容 ・秋サケ定置網漁やサケの説明 ・サケフレークや秋アジ鍋の調理実習 など	60人
十勝	JA十勝池田町青年部食育事業	町内の小学生と保護者等を集め、野菜のは種から収穫を行う。収穫した野菜を実際に食べ、作物の育つ過程の楽しさや収穫の喜びなどを体験してもらう。	□対象:町内の小学生等 □場所:JA池田内のほ場 □内容: 5月…畑準備、は種(スイートコーン、じゃがいも) 6月…かぼちゃ定植作業 7月…除草作業 9月…収穫作業(スイートコーン、じゃがいも、かぼちゃ)、試食 ※新型コロナウイルス感染症対応のため、小学生と保護者の参加は9月の収穫作業のみ。	8家族:19名
十勝	JA十勝高島青年部 子ども農業体験事業	・作付けから収穫までを体験してもらい、子ども達に楽しんでもらいながら、食への関心・興味・大切さを学んでもらう。	□対象:地域の小学生 □時期:令和2年4月～令和2年12月 □場所:高島小学校園場 □参加者:20名(教員含む) □内容:小学校園場での南瓜3種類、ポップコーンの植付けから収穫までの食育体験。収穫後、調理実習を行う。	20名
釧路	釧路市水産業対策協議会(事務局 釧路市水産課)「魚食普及事業」	釧路産水産物を使った料理教室等の開催を通じて、PRや魚食普及を目的に実施している。	釧路産の水産物を使った料理教室「釧路おさかな教室」の開催。市内小学生及び市民団体等を対象に釧路産水産物の調理やさばき方実習を実施し、全11回開催。	延べ435名
釧路	釧路市水産業対策協議会(事務局 釧路市水産課)「魚食普及事業」	たくさんの種類の魚を見て、触れることで、魚に興味関心を持ち、魚を好きになるとともに、給食の魚を食べることができるようになるために実施している。	時期:令和3年1月14日～2月10日(計7回)、給食提供日:令和3年2月10日 児童発達支援センターにて、野のはな園通園児を対象に平成30年度より実施。大型パネルを見ながら、様々な種類の魚について学ぶ。また、地元で水揚げされた魚を使い給食で提供し、栄養士より魚の栄養や、魚を使用した献立についての簡単な話を園児に向けて行う。	通園児51名 職員26名
釧路	弟子屈町/JA摩周湖青年部	地域の子どもたちに農業についての理解を深めてもらうため、食農教育や農業体験等の交流を実践する。	①第1回弟子屈小学校食育授業(令和2年7月8日)場所:窪内農場 ②第2回弟子屈小学校食育授業(令和2年9月23日)場所:窪内農場 ③牛乳消費拡大 町内小中学校牛乳配布(511本)(令和3年2月19日)町内小中学校 ④牛乳消費拡大 町内小中学校牛乳配布(514本)(令和3年3月5日)町内小中学校	①②延60人 ③④1026人分
根室	ねむろ水産物普及推進協議会(愛称:まるごと根室)/浜の母ちゃん直伝!根室おさかな料理教室開催事業	魚食の普及	根室産水産物の魚食普及・消費拡大を図るため、根室内4漁業協同組合女性部が講師となり、根室内での料理教室を実施。 (令和2年度 料理メニュー) いわしの梅肉ロール揚げ、たらあんの揚げ、いかめし、ほっきのフライ	22名 (内訳)受講者16名 関係者6名
根室	ねむろ水産物普及推進協議会(愛称:まるごと根室)/浜の母ちゃん直伝!根室おさかな漬物教室開催事業	魚食の普及	根室産水産物の魚食普及・消費拡大を図るため、根室内4漁業協同組合女性部が講師となり、根室内での漬物教室を実施。 (令和2年度 漬物メニュー) ますのはさみ漬、秋鮭の飯寿司、こまいの切り漬、さんまの飯寿司	82名 (内訳)受講者60名 関係者22名
根室	野付漁協女性部	食育普及と地元食材消費拡大のため、調理指導を行い子供たちが魚食への興味を持つきっかけを提供する。	【講師】野付漁協女性部役員 7名 【対象者】別海町野付中学校 1年生 【場所】野付中学校家庭科室 【日時】令和2年10月29日(木) 【内容】地域食材(サケ、ホタテ)を使った調理実習	7名
根室	別海町漁協青年部(野付漁協青年部、別海漁協青年部)/別海町漁協青年部出前授業	サケ定置網漁業への取組、ロープワーク等の実演を通じて、漁業への理解を深めるとともに、魚食普及活動の一環として体験授業を実施。	【講師】野付漁協青年部員、別海漁協青年部員 【対象者、実施日】 ①西春別小学校3・4学年 7名 10月13日 ②別海中央小学校4学年 68名 10月23日 ③上風連小学校5・6学年 12名 10月30日 ④上西春別小学校5学年 28名 11月2日 ⑤中西別小学校5学年 11名 11月4日 ⑥野付小学校6学年 17名 11月9日 ⑦中春別小学校5学年 18名 11月19日	概要(対象者)のとおり
根室	羅臼町 羅臼漁協協同組合 女性部	地元の新鮮な魚介類を使用した料理教室を通じ魚食への関心を深め、地産地消へ繋がる事を目的とする。	<羅臼高校料理教室(水産教室のカリキュラムとして)> 日時 令和 2年11月17日(月)10時45分～12時35分 場所 羅臼高校 家庭科調理室 参加 生徒6名 教員2名(女性部員5名) 内容 4品調理 ホタテとイカの海鮮塩焼きそば、スケソのすまし汁、かまぼこ揚げギョーザ、ホタテのバター焼き	6名 子供のみ

(2) 農林水産業団体以外の取組

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
空知	砂川市/砂川市さくら保育園	野菜作りを通じて、育ちや収穫といった一連の作業を体験し、実際収穫したものを味わう。	6月頃より年中・年長児が園庭内の畑で土おこしと土づくりをし、きゅうり・トマトの苗を植えた。草取り、水やりといったお世話を定期的にを行い収穫・試食をした。	20人(園児のみの人数)
空知	砂川市/砂川市ひまわり保育園	野菜作りを通じて、育ちや収穫といった一連の作業を体験し、実際収穫したものを味わう。	年中・年長児が園庭内の畑で土おこしと土づくりをし、きゅうり・トマトの苗を植えた。草取り、水やりといったお世話を定期的にを行い収穫・試食をした。	29名(園児のみの人数)
空知	砂川市/空知太保育所	野菜作りを通じて、育ちや収穫といった一連の作業を体験し、実際収穫したものを味わう。	6月頃より年中・年長児が園庭内の畑で土おこしと土づくりをし、きゅうり・トマトの苗を植えた。草取り、水やりといったお世話を定期的にを行い収穫・試食をした。	20名(園児のみの人数)
空知	深川市保健推進委員会 調理講話	保健推進委員会が会員を対象に糖尿病や高血圧などの生活習慣病や介護予防をテーマに研修会を開催する。	○生活習慣病予防講習会 「免疫力を高める料理で夏を乗り切ろう」 令和2年7月21日 健康福祉センター「デ・アイ」 参加者32名	32名
空知	栗山町グリーン・ツーリズム推進協議会 農業体験受入れ	農家での農作業体験を通じて、食と農の理解を深め、都市農村交流を図る。	□時期: 通年 □場所: 町内 □対象: 道内の高校生 □概要: 農家での農作業体験 道内高校生 宿泊 12人	12名
石狩	札幌市中央卸売市場水産協議会/生鮮食料品販売促進事業	食育を推進するとともに、小売店の活性化及び卸売市場の健全な発展に資することを目的とする。	①小売店等地区講習会 保育園に生魚を持って訪問し、園児に触れさせ、さばき方や簡便な調理方法の講習会を行い給食で提供。保育園19か所実施。 ②食育セミナー(札幌市中央卸売市場青果部運営協議会との共催) 札幌市内の消費者を対象に、子育て・働き盛り世代の食生活改善、食育を重視するセミナーを3回(9月・10月)実施。	①1480名 ②189名
石狩	札幌市中央卸売市場青果部運営協議会/消費拡大対策事業	野菜・果物に対する消費者の理解を深め、消費の拡大と小売店の健全な発展を図ることを目的とする。	①食育セミナー(札幌市中央卸売市場水産協議会との共催) 札幌市内の消費者を対象に、子育て・働き盛り世代の食生活改善、食育を重視するセミナーを3回(9月・10月)実施。 ②出前食育料理教室 小学校5,6年生を対象に、食育と市場の役割などの授業と調理実習を実施。小学校2校で5回(10月)実施。	①189名 ②161名
石狩	江別市食育推進協議会 小学生食育事業 小麦追跡学習	江別市は「麦の里えべつ」として全国でも知られるよう、小麦は江別を代表する農産物となっている。 この学習を通し、地元産業・農業への興味関心を高める。	①小麦に関する事前学習(見学前:学校) ②小麦畑見学・製粉・製麺出前授業(7月上旬:生産地、生産工場) ③調理体験(10~11月)	6年生児童 30名前後
胆振	NPO法人お助けネット	食に対する関心と感謝の気持ちの醸成、共食、地域の食文化の継承を目的とする。	野菜作り、収穫、試食、干し野菜作り、動物とのふれあい(収穫野菜をエサとして飼育)、地域特有の作物の調理、試食	
胆振	一般社団法人白老モシリ/白老町 「アイヌ民族漁文化と自然との関わり方学習」(イオル事業)	アイヌ民族の伝統文化について、児童生徒等を対象に体験学習を通して、理解を促進するとともに、自然との共生と循環型社会の創造について学ぶ	時期: 毎年 10月 (2日間) 場所: 地方港湾白老港外防波堤から西へ100m四方の区域 協力機関: いぶり中央漁業協同組合 体験学習: カムイノミ(伝統儀式)体験、地曳網体験、サケの解体体験、伝統食調理体験、伝統食試食体験	150名
胆振	保育園・認定こども園	あいさつや食事マナーに関する啓発	・保育活動や食育指導を通して、「あいさつ」「食事のマナー」「食への関心を持つ」指導を行う。	
胆振	保育園・認定こども園	歯の健康の推進	・児童のむし歯を予防し、歯・口腔の健康の保持増進を図るため、フッ化物洗口を実施。 対象: 町内保育園、認定こども園の4・5歳児※保護者希望による	
胆振	社会法人白老町社会福祉協議会	生活習慣病の発症・重症化の予防	・一人暮らしの高齢者等への配食サービス 実利用人数R3.3末現在 31名(登録者数 40名)	

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
オホーツク	団体名:がぶりかるちゃー事業実施委員会/ 名称:がぶりかるちゃー事業「家族いもほり体験会」 (北見市)	農作物収穫体験を通じ、生産者と消費者の交流促進をはかることで農業振興を推進するほか、北見市民の農業に対する理解を深めることを目的とする。	開催日:令和2年8月8日(令和2年度) 場 所:北見田園空間情報センター 概 要: 抽選で選ばれた北見市民150組約600名を対象に北見田園空間情報センター横圃場でのじゃがいも(男爵)の収穫体験及びじゃがいもの試食として豚汁の提供、農業関連のパネル展、シカ肉ジンギスカンの試食、生産者による朝取り野菜の直売などを実施。実施委員会は市内建設業者、JA、官公庁等により構成される。昭和63年から始まり、令和2年度で計33回目の開催となる。過去事業としては、料理コンテストや収穫祭、食に関するフォーラムなどを開催し、平成14年度から現在の形式に至る。 ■H23年度参加者 142組 523名 ■H24年度参加者 148組 568名 ■H25年度参加者 147組 530名 ■H26年度参加者 145組 559名 ■H27年度参加者 149組 538名 ■H28年度参加者 141組 481名 ■H29年度参加者 166組 622名(第30回記念で申込者全員を受け入れ) ■H30年度参加者 148組 573名 ■R元年度参加者 144組 560名 ■R2年度参加者 104組 412名	左記
オホーツク	網走市食生活改善協議会/ 研修・視察	1.食生活に関する管内外の施設や団体等との交流により、会員の資質向上を図る。 2.研修会に参加することで会員の知識向上を図る。	1. 視察・研修 2. 養成講座におけるスキルアップ研修への参加	15名
オホーツク	網走市食生活改善協議会/ 親と子の食育教室(親子チャレンジクッキング)	親子で楽しく調理をし、食べ物の大切さ、食べることの大切さについて知る。	1.親子で調理を楽しむ 2.食べる楽しさを伝える	13名
オホーツク	網走市食生活改善協議会/ 鮭まるごと料理教室	地場産の鮭を用いた料理の普及、啓発。	1.鮭の裁き方 2.丸ごと食べられる調理方法の紹介 3.調理実技・試食	13名
オホーツク	網走市食生活改善協議会/ 市民健康展:食生活改善推進員コーナー	食による健康に関する情報を発信、普及する。	1.「野菜の力で減塩を」をテーマとし、塩の展示、350gの野菜を使った料理の展示 2.あばしり版食事バランスガイドの普及	80名
オホーツク	網走市/若者世代の料理教室	若者世代への食育。調理と栄養バランスのとれた献立を通して食べることの大切さ、健康の関連性を知る。	1. 栄養バランスと減塩に配慮した調理実技 2. 試食をしながら食育について意見交換する。	12名
オホーツク	網走市食生活改善協議会/ 乳製品の料理教室	日本人に不足しがちなカルシウムを補給するために、乳製品を使用した料理の紹介をする。	日本食生活協会から配布される冊子を利用し、実技料理、講話の内容の参考にする。 ・乳製品を使用した4品の料理の調理・試食 ・カルシウムについて管理栄養士が講話。	12名
オホーツク	網走市・網走市観光協会/ 大曲湖畔園地農作物収穫体験	農作物収穫体験	観光客及び修学旅行生、市内保育園児によるアスパラ・ミニトマト・トウモロコシ・じゃがいもの農作物収穫体験 (5月～9月:網走市 大曲湖畔園地にて実施) ※新型コロナウイルスの影響によりR2年度は修学旅行生受入・じゃがいも収穫体験なし	575名
十勝	いただきますカンパニー/出前食育講座	ワークショップを通じて安全安心な農産物の生産に向けた生産者の取り組みを伝えることで、食の安全安心に対する理解を促進する。	①お砂糖の食育授業 時期:令和3年1月～2月 場所:十勝管内の小学校 対象:小学校児童	1,252人
十勝	帯広大谷短期大学 ・OOJCオープンカレッジ 音更町消費者協会 ・地場産品の料理講習会	食への関心と地域の食材への理解と料理のたのしさを知ってもらうことを目的に開催。	1OOJCオープンカレッジ 外部講師、大谷短期大学教授等による社会人を対象とした食にまつわる講座の開催。 ※新型コロナウイルス感染症防止対策の為、中止。 2地場産品の料理講習会 地場産品の料理講習会を行い消費拡大に勤める。 ※新型コロナウイルス感染症防止対策の為、中止。	1オープンカレッジ:0名 2料理講習会:0名
釧路	地産地消くしるネットワーク(釧路管内の生産者・流通業者・支援団体等で構成)	地元への愛着心を高めることに努めながら、「質のよい商品やサービスを地元で育て地元で消費」する地産地消の取組を継続し域内循環を進める。	①地産地消イベントへの実施 実施数 3回 ②地産地消親子体験イベント 実施回数2回(1回18人、1回12組24人) ③地産地消についての出前授業の実施 ・生産者系出前授業 5件・251人 ④学校給食等での地場産品利用拡大を支援	左参照
釧路	釧路市消費者協会 「食品ロス削減パネル展」	食品ロス削減推進。	食品ロス削減推進月間である10月に「食品ロス削減パネル展」を開催。 (環境事業課協力)	
釧路	地域包括支援センター 釧路市公認介護予防サポーター 「介護予防継続教室(地域介護予防活動支援事業)」	高齢者が地域の身近な場所、釧路市介護予防プログラム「わかがえりレッスン」を継続受講し、要介護・要支援状態になることを予防・遅延する。	釧路市介護予防プログラム「わかがえりレッスン」の1つとして、口腔トレーニングを実施。	3293
釧路	標茶消費者協会	出前講座を通じ、健全な食生活に関する啓発や健康づくりに関与することを目的に実施する。	味噌づくり出前講座(令和3年3月1日、3月7日) ・一般町民を対象に、安全な食生活の大切さを学びながら自家製味噌づくりの出前講座を行った。	8名

4. ボランティア団体が主体となって取り組んでいる事例

振興局名	団体名／名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
空知	砂川市食生活改善協議会	学童保育所通所児童・保護者に向けた食育資料の配布を通し、朝食の重要性を伝える。	9/28～9/30 市内5カ所の学童保育所に配布	児童225名 指導者26人
空知	歌志内市食生活改善推進協議会 親子ふれあい料理教室 ※市保健福祉課共催	親子が料理体験を通じて食への関心と理解を深め、望ましい食生活を送ることを目的とする	対象: 小学校全児童 時期: 9月 内容: およこの食育教室テキスト配付 (例年、調理実習を実施しているが、2年度はテキスト配布のみ)	56名
空知	歌志内市食生活改善推進協議会 広報活動／おすすめ健康料理	食に関する情報の普及啓発を行い、食に興味を持ち、健康意識の向上を図る。	研修会調理実習レシピから選択し、市広報に年2回掲載 6月(豆苗ともやしの豚肉重ね蒸し)、2月(鮭のみそクリーム煮)	全戸配付
空知	歌志内市食生活改善推進協議会 食育教室 ※市保健福祉課共催	園児が作る楽しさ食べる喜びを感じる機会をつくこと、また家庭の食育への波及効果をあげるために実践につながるきっかけをつくることを目的とする。	対象: 認定こども園の園児と保護者 時期: 9月、11月、3月 内容: ①おにぎり作り ②だしの学習、みそ汁作り ③野菜の栄養の学習、ドレッシングとサラダ作り 材料の一部を配付し、家庭でおさらいをしてもらうことで、保護者を巻き込んでの食育につながった。	園児58名、60世帯
空知	農天氣の会	①子どもたちに農業の良さを知ってもらおう。 ②子どもたちに食べ物の作られる過程を知ってもらおう。 ③食べ物を大切にすることで、生き物への優しい心を養ってもらいたい。	【実施日】 6～11月 (第1回6/11(木)、第2回6/15(月)、第3回8/21(木)、第4回9/14(収穫・試食)、11/25(加工)※第4回はコロナ禍対応により2回に分ける。) 【場 所】 メロン栽培ハウスまたは小学校 【対象者】 沼田小学校4年生 【内 容】 体験学習(事前学習、定植体験、生育観察、皿敷き体験、収穫体験・試食)	12名
空知	沼田町食生活改善協議会 低栄養予防講習会	要介護状態の予防とその発症を遅らせるため、栄養に関するセルフケア能力向上のための知識を得ることが出来る。	【実施日】 令和2年11月20日(金) 【場 所】 健康福祉総合センター「ふれあい」すこやかホール 【対象者】 65歳以上の町民(介護予防事業参加者) 【内 容】 会員が具だくさん卵焼きを作り、参加者に試食してもらった	16名
空知	沼田町食生活改善協議会 親子食育教室	幼児期及び学童期に親子で正しい食習慣を身につけることによって、健康増進を図る。	【実施日】 令和2年12月19日(土) 【場 所】 健康福祉総合センター「ふれあい」調理室 【対象者】 町内在住の幼児・小学生とその保護者 【内 容】 テリーヌチーズケーキを作り、持ち帰ってもらった	25名
石狩	札幌市食生活改善推進員協議会(北区)／ 食改善展	パネルや料理の展示及び試食提供等を行い食を通じた健康づくりの情報提供を行う。	時期: 9月29日～30日 場所: 北区民センターロビー	280人
石狩	千歳市食生活改善協議会 食生活フェア	食生活改善普及運動月間である9月に、市民に身近なスーパーを会場に食と健康、食生活改善に関する情報提供を行うことにより、適切な食生活の実践に繋げる機会とする。	【実施日時】 令和2年9月11日(金) 10時～15時 【実施場所】 ちとせモール 1階センター広場 【対象者】 スーパーを利用する市民 【実施内容】 1 野菜1日摂取目標量350gの計量体験、野菜料理レシピ	70人
石狩	千歳市立富丘中学校PTA／ 弁当の日	生徒に食べ物の大切さ、感謝の心を伝える。	【日時】 令和2年11月24日(火) 【内容】 生徒自身が考案し、調理した弁当を持ち寄る。	514人

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
石狩	石狩トーククラブ 他2団体 子ども食堂	子ども達が、放課後等に食事及び学習等を通して安心して過ごせる居場所づくりを進めることにより、地域一丸となって子どもの育ちを支援する。	開催日:各団体、各月1回開催 対象:幼児~大人も可 内容:食事の調理提供、食に関する様々なことを学ぶ機会づくり、共食の場の提供	延べ432人
石狩	当別町食生活改善推進協議会 小学生への食育授業	健康的な食生活の普及・啓発	対象:①当別町内の小学生 ②当別町内の小学生を持つ保護者 時期:①9月、10月 ②12月 場所:当別小学校、西当別小学校 内容:①市販のおやつに含まれている糖分量を示した掲示物②朝食の必要性について記載されたプリントの配布 ※①・②とも当別町福祉部保健福祉課、当別町立当別小学校栄養教諭と協議しながら作成	①524人 ②515人
石狩	新篠津村食生活改善協議会 ○夏休み子どもクッキング	○こどもの頃から食と栄養に興味を持ってもらい、正しい食生活及び料理をすることの楽しさを知るきっかけを作る。	○時期:令和2年8月 ○場所:新篠津村立新篠津小学校 ○対象:小学5年生 ○概要:おやつレシピセット♪プレゼント(レシピ2種類、ホットケーキミックス粉)	20
石狩	新篠津村食生活改善協議会 ○おやこの食育教室	○おやこで食事をする事により、食事に興味を持ってもらい、バランスの良い食べ方、食事のマナーなど、適切な食習慣を身につけるきっかけとなる場所を提供	○時期:令和3年1月 ○場所:新篠津村立新篠津小学校 ○対象:小学6年生 ○概要:おやこの食育教室教材プレゼント(レシピ、ランチョンマット、パンダナ)	21
石狩	新篠津村食生活改善協議会 ○キッズ☆キッチン	○食育目標「食べる力」(5つ)のうち、「食事を味わって食べる」「一緒に食べたい人がいる」「食事づくりや準備に関わる」ことの大切さを学ぶ。	○時期:令和2年10月 ○場所:新篠津村保健センター ○対象:保育所年長児 ○概要:おやつレシピセット♪プレゼント(レシピ2種類、ホットケーキミックス粉)	20
石狩	新篠津村食生活改善協議会 ○野菜350g普及事業	○健康的な食生活の普及	○時期:令和2年12月 ○概要:広報誌に「野菜350g」についての記事を掲載	-
石狩	新篠津村食生活改善協議会 ○伝達料理講習会	○健康的な食生活の普及	○時期:令和2年12月 ○概要:広報誌に野菜レシピ(3品)紹介	-
胆振	伊達市食生活改善協議会/「食改さんおすすめレシピ」の作成・配布	コロナ禍において自宅で過ごす時間が増えていることから、地元食材を利用した手軽なレシピを市民に配布し、家庭での食生活見直しの機会に繋げる。	・過去に学んだレシピから、好評だったものを選んで作成。 ・主な配布先:道の駅、伊達市農協、保健センター、子育て支援センター、市内高等学校 その他、会員より地域住民へ直接配付 ・レシピは市ホームページ及びフェイスブックに掲載し周知。	2,255部 (配布数)
胆振	厚真町食生活改善推進協議会 冬季栄養健康教室	町民の高齢化に伴い、特に罹患率の高い高血圧、脂質異常、糖尿病について正しい知識を普及し、生活習慣病の予防・改善に努める。	【時期】 令和3年1月から3月(5回) 【実施内容】 調理実習、栄養士・保健師講話 【場所】 厚真町総合ケアセンターゆくり、各自治会館 【対象】 全町民	51名
胆振	厚真町食生活改善推進協議会 食改協だより	学習活動で得た知識を全町民へ普及する。	【時期】 令和2年8月・1月(2回) 【内容】 レシピ等の掲載 【対象】 全町民	
檜山	江差町食生活改善推進協議会	シニア世代の食育	一品でバランスのとれるレシピの調理実習(そば粉のガレット、1月開	19
檜山	江差町食生活改善推進協議会	園児向け食育	園児向けの食育教室。米粉のクレープづくり(3月開催)。	19
檜山	上ノ国町食生活改善協議会 「高校食育教室」	郷土料理の調理実習を実施することで、「食」の大切さを学び、豊かな心を育てる。	【実施日】令和3年3月8日、9日 【対象者】上ノ国高校1、2年生 【講師】食生活改善協議会員 【内容】郷土料理の調理実習 【メニュー】鮭だしソーメン	12 15
檜山	せたな町 総合型スポーツクラブ せたな 「有機農法による稲作体験と生き物観察」	町内希望小学生などを対象に、1年間を通じた有機栽培水稻の農作業体験を実施することにより、お米に大切さを学ぶと共に、有機農法ならではの生物との共存なども学ぶ。	○実施日時・内容 6月:田植え体験 7月:除草作業体験、生き物調査 10月:稲刈り体験 ○対象:町内希望小学生など	4名
上川	名寄市食生活改善協議会 「食育教室」	①同じ仕事をする仲間での食に対する意識向上を促す ②男性を対象に食や健康についての意識向上を促す ③児童クラブに通う児童に対し、食の大切さを伝える	●開催場所・日時・内容 ①職場 令和3年2月13日 参加5名(清掃従業員) 健康に配慮した料理のレシピ本と関連のランチョンマットを配布し、栄養等に関する講話を実施 ②食改善協会員宅 令和3年2月26日 参加10名(男性) 健康に配慮した料理のレシピ本と関連のランチョンマット、ビタミンC補給として、果物も配布し、栄養等に関する講話を実施 ③ 風連児童会館 令和3年3月5日 健康に配慮した料理のレシピ本、果物等を配布し、栄養等に関する講話を実施	5名 10名 38名

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
上川	名寄市消費者協会 「味噌作り」	地産地消で安全安心な味噌を作る	●開催場所・時期 名寄市農畜産物簡易加工施設「あぐりん館」 令和2年10月26～28日 ●開催内容 味噌・豆腐作り	12名
上川	なよろ食育推進ネットワーク	名寄市の「食育推進計画」の具体化として実践している教育ファーム事例を、行政を始めとして教育、農業、食関係者に報告するとともに、食育ネットワークの活動報告や他地域の学校における食育・教育ファーム事例の情報提供を通して、名寄市が掲げている、健康で住みよいまちづくりおよび食育の推進に向けた啓発活動に寄与する。	1. 教育ファーム活動支援 ①名寄市内小学校5校へ、農作物の栽培から収穫、加工調理などの食育活動を支援。 毎年、教育関係者や団体等にも案内し、5校の代表児童による報告会を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とし、報告書を各関係機関や団体等へ配布	
留萌	苫前町食生活改善協議会/おやこ料理教室	子どもの体験学習を通して豊かな感性を培い、心と体のバランスのとれた人格形成に寄与する	実施日: 令和2年11月1日(日) 対象者: 町内の3歳～小学2年生とその保護者 開催場所: 苫前町公民館 協力機関: 苫前町教育委員会(社会教育課) 内容: 調理実習、栄養講話 実施方法: 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため調理会場を2つに分けて実施。また、喫食せずお持ち帰りとした。 メニュー: パナナ入りふんわりバンケーキ、フルーツパバロア 講話: おやつについて 講師: 町管理栄養士 参加者の感想、意見: 子どもたちがワクワクしながら作れてよかった。5歳の子も調理にちゃんと参加できて楽しそうだった。短時間で作れてよかった。おやつではなくごはん系がいい。	27名
留萌	苫前町食生活改善協議会/骨と筋肉のための料理教室(生涯骨太クッキング事業)	日本人の20～50代の世代で摂取不足が目立つカルシウムは不足するとロコモティブシンドローム、高血圧や動脈硬化などを招くため、カルシウム摂取に効率の良い製品の摂取の普及を図る	実施日: 令和2年9月26日(土) 対象者: 一般成人 開催場所: 苫前町公民館 共催: 苫前町教育委員会(社会教育課) 内容: 栄養講話、運動講話・実技 モデル献立: ごはん、さば缶のハンバーグきのこあんかけ、プロセスチーズの白和え風サラダ、根菜とおからのみそ汁 栄養講話: 骨と筋肉を作る栄養素について、モデル献立に使用されている食材、レシピ紹介 講師: 町管理栄養士、苫前町食生活改善協議会会長 運動講話: 「正しく学ぶ! 筋力トレーニング講座」 講師: 学校法人三幸学園札幌スポーツ&メディカル専門学校専門課長 健康運動指導士 澤田友紀氏 参加者に配布: ヨーグルト、さばの水煮缶	8名
宗谷	浜頓別町食生活改善協議会「おさかな料理講習会に係る食に関するアンケート調査」	近年、若い世代の食への関心が低下しており下処理に手間のかかる魚介類の摂取量も低下してきている。そこで、魚介類を使った料理を身近に感じられるよう、浜頓別でも手に入りやすい食材や魚の缶詰を使った簡単な料理を紹介し、魚介類を日々の食事に取り入れやすくすることを目的とする。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため講習会は中止とし、重点対象である子育て世代の食生活の実態を把握し、次年度以降の参考とするため食に関するアンケート調査を実施する。	実施日: 令和2年11月6日 対象: 浜頓別町子ども園入園児の保護者 内容: アンケート調査を行い、アンケート結果と魚介類を使ったレシピを配布した。 アンケート回収率: 51.4%	70名
オホーツク	楽し～な (置戸町)	・乾燥野菜の試作・活用 ・地産地消の推進 ・オリジナルレシピ開発	農閑期(冬期間)を中心に、農家・酪農家の主婦の皆さんが集まり、置戸の農畜産物などを活用して、①乾燥野菜の試作・活用、②オリジナルレシピ開発に取り組んでいる。 活動をサポートするために、食のアドバイザーも関わっている。	5名
オホーツク	置戸の未来を考える会 (山メン研究会)	・「楽し～な」の乾燥野菜を活用したメニュー開発 ・安全で安心な食の探求 ・新しい形の防災食 ・オケクラフトと食のトータルコーディネート	令和2年10月に、馴染みのある野菜を乾燥野菜にして、おにぎりの具材として混ぜ込んだ。手軽に「見たことのない一品」に変わった。 赤ちゃんからお年寄りまで、食欲不振や病気であっても食べられるよう、自然由来の材料からおにぎりにかける出汁をとった。 携帯性・保存性が重視される防災食に、栄養面や彩りの要素をプラスした。 食卓に、地元の器(オケクラフト)や、容器カバー(置戸産羊毛を使った手芸品)を取り入れ、オシャレな食事に変わった。	5名
オホーツク	食生活サポーター ヘルシースプーン会 (湧別町)	健康や食事に関する正しい知識を習得し、自身の生活や食事に生かすとともに、地域への支援につなげる。	時期: 通年 場所: 保健福祉センターほか 内容 ・健康や食事に関する講習会: 2回 ・近隣市町村の食生活改善推進員合同研修会へ参加: 1回	14名

振興局名	団体名/名称	目的	概要(時期、場所など)	参加者数
十勝	帯広市/コミュニティ講座	市民が生涯にわたって「食」に関心を持ち続けられるよう啓発していくもの	市内各小学校区単位に設置されているボランティア団体「生涯学習推進委員会」が主体となって随時実施。料理教室・講話等を通じて食育を推進。	10名
十勝	幕別町食生活改善協議会/食改さんとつくるアイデア料理教室	減塩とバランスの良い健康食の普及と本協議会の活動PRを図る。	時期:9/28(幕別地区5人)、9/30(札内地区5人) 場所:幕別(保健福祉センター)、札内(百年記念ホール)・内容:コロナ対策を行い、食生活改善協議会が主体となって企画・調理指導を実施。託児を用意し、子どもも喜ぶ野菜たっぷりバランス食をテーマに実施した。家庭料理のコツなど伝えることができ、参加者からも、手軽なメニューなので家でも作ってみたい、薄味の目安も参考になったという声も多く好評であった。次年度も実施する。	町民10名
釧路	釧路市食生活改善協議会(北海道食生活改善推進員協議会から受託)「生涯骨太クッキング」	高齢者の低栄養はフレイルやロコモティブシンドロームに繋がることから、予防のための調理実習やロコトレにより正しい情報の提供を行う	令和2年度音別地区一般介護予防事業「元気でいんでない会」の参加者に対し、食育教材等を配布。	23
釧路	釧路市食生活改善協議会(北海道食生活改善推進員協議会から受託)「親子食育事業」	「食育5つの力」をテーマに、家庭において健康づくりの基礎となる食習慣について考える機会を作る。	音別小学校を通じて全校児童に対し、食育教材の配布と食育用媒体の展示を実施。	38
釧路	釧路市食生活改善協議会「キクイモ普及活動」	音別町の特産品であるキクイモの普及を図る。	釧路市社会福祉協議会音別支所より講師依頼のある家族介護教室のなかでキクイモの活用法や効能について紹介。	10
釧路	釧路町食生活改善協議会・男性のための料理教室・いきいきシニアクッキング	・男性が自ら調理を行い、調理の楽しさ、食と健康に関する知識を身につける。 ・60歳以上町民対象に、生活習慣病予防、介護予防等を意識した食事の技術と知識を身につける	◎男性のための料理教室/令和2年11月9日/保健福祉センターあいばー /たこの炊き込みご飯他 ◎いきいきシニアクッキング/令和2年10月12日/保健福祉センターあいばー/豚肉と白菜の重ねチーズ蒸し焼き他	2名 3名
釧路	厚岸町食生活改善協議会 親と子の食育教室	児童の健康な体と心を育てることを目的に食育の推進を図る	【時期】夏休み(8月12日) 【場所】厚岸町社会福祉センター 【対象】小学生と保護者 【内容】食育講話(3色食品群、食事のマナーについて) 調理実習(実習の注意事項、献立説明・調理・試食・後片付けの順で実施)	4名
釧路	厚岸町食生活改善協議会 食生活教室	食を通して地域に密着した健康づくりの推進活動の充実強化を図る	【時期】11月6日 【場所】尾幌酪農ふれあい館、門静地区 【対象】地区婦人部 【内容】野菜の目標摂取量の展示、減塩をテーマにした健康講話、減塩を基本にカルシウムがたくさん摂れるレシピの紹介と配布。	尾幌10名 門静6名
釧路	待合室「みちくさ」運営委員会/子ども食堂(弟子屈町)	子どもの居場所づくりおよび食への関心を高める。	町内の生産者や企業に食材の提供を働きかけ、第3土曜日に開催。年11回実施。/待合室「みちくさ」で実施。	3304人
釧路	白糠町食生活改善協議会	・親子で楽しく調理をする ・それぞれの対象に必要な食事内容を知る	○おやこ食育教室 時期:10月 場所:白糠町保健センター 内容:調理実習(肉巻きチーズおにぎり他)と食育についての講話を実施している 対象:子育て支援センターを利用している乳幼児と保護者 茶路へき地保育園を利用している親子	21名
根室	根室市食生活改善協議会/骨粗鬆症予防啓発	・骨粗鬆症予防のため、カルシウムのとり方などの食事方法について啓発する。	・内容 骨粗鬆症の集団検診にて、受診者にカルシウムが豊富な料理のレシピを配布し、食事についての相談を行う。	46名
根室	根室市食生活改善協議会・根室市市民福祉部保健課/食育の日の啓発活動	・「食育の日」の啓発を通して、健康な食生活の実践を呼びかける	・内容 「食育の日」をテーマとした記事を市広報に掲載(8月) 地場産品を使用したレシピ(鮭の漬け焼き)を紹介した。	
根室	別海町消費者協会/牛乳・乳製品消費拡大事業	牛乳・乳製品の知識や料理法を講習会等の事業を通じて普及し、牛乳・乳製品の地産地消と消費拡大、併せて健全な食生活に関する啓発や健康づくりに寄与する。	実施日:令和2年9月29日、令和2年10月7日 場 所:別海町乳製品加工研修施設 内 容:チーズ作り	10名
根室	別海町消費者協会/牛乳・乳製品消費拡大事業	牛乳・乳製品の知識や料理法を講習会等の事業を通じて普及し、牛乳・乳製品の地産地消と消費拡大、併せて健全な食生活に関する啓発や健康づくりに寄与する。	実施日:令和2年11月10日、令和2年11月13日 場 所:別海町農漁村加工体験施設 内 容:パン作り	19名
根室	別海町消費者協会/第15回牛乳パッケージイメージデザインコンクール	牛乳消費拡大の一環として、町内の小学生を対象に、牛乳パッケージのイメージデザイン募集を実施することにより、乳製品への興味・関心を高める。	募集:令和2年12月~令和3年1月 審査:令和3年1月27日	188名